三菱重工

ビル空調システム

室内ユニット

技 術 資 料

天井埋込形4方向吹出し小容量（FDTC）

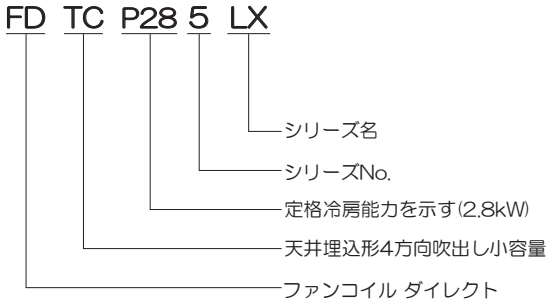
本資料は室内ユニットに関する事項を記載しております。
記載事項以外については，2016・2017年冷熱ハンドブック設計・施工編およびサービス編をご覧ください。

4-529-1-D
'18-8 発　行

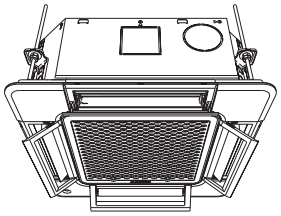
目　次

1. 仕　　様（運転特性）…… 2
2. 外　形　図 …… 5
3. 電気配線図 …… 8
4. 気流分布 …… 9
5. 運　転　音 …… 13
6. 塗　装　色 …… 14
7. 防振設計用参考資料 …… 15
8. 据付関連事項 …… 16
9. マイコン運転制御機能 …… 63
10. 電装品故障診断要領 …… 87
11. 別売品 …… 123

● 形式名称の見方



1. 仕　　様

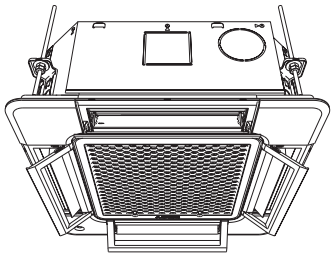
項目 ＼ 形式						
				FDTCP225LX	FDTCP285LX	FDTCP365LX
電源				単相 200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力		kW	2.2	2.8	3.6
	暖房能力			2.5	3.2	4.0
定格冷房時の顕熱比				0.66	0.66	0.65
運転音	パワーレベル（冷/暖）		dB(A)	P急：49/49，急：48/46，強：46/43，弱：43/39		P急:54/53,急:52/50,強:48/46,弱:43/40
	音圧レベル			P急：35，急：32，強：29，弱：25		P急：39，急：36，強：31，弱：26
外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	本体：248 × 570 × 570, パネル：10× 620× 620		
製品質量			kg	本体：13, パネル：3.0		本体：14, パネル：3.0
空気熱交換	形式			アルミフィン&銅チューブ式		
	冷媒制御器			電子膨張弁		
送風装置	形式・台数			ターボ式（モータ直結）× 1		
	風量		m^3/min	P急：9，急：8，強：7，弱：6		P急：10，急：9，強：8，弱：6
	機外静圧		Pa	0		
	電動機	定格出力	W	50 × 1		
	エアフィルタ			プラスチックネット（洗浄可能）		
	新鮮空気取入口			側板を利用して可能（100 × 100 ダクト接続）		
運転調整	操作スイッチ			RC-DX3B，RC-D4G		
	温度調節			マイコン式サーモスタット		
	表示			液晶表示〈リモコン〉		
	表示灯			緑色：運転，赤色：点検〈リモコン〉		
加湿器・加熱器	補助電気ヒータ			——（組込不可能）		
	温水・蒸気ヒータ			——（組込不可能）		
	加湿器			——（組込不可能）		
高性能フィルタ				——（組込不可能）		
遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P, CnTA：2P）を保有（室内基板上）		
外部制御用出力機能				——		
遠方表示用出力機能				運転表示・異常表示出力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）		
保護機能				ファンモータ：マイコン式過負荷保護，フロートスイッチ，凍結防止サーモ		
冷媒封入量			kg	——		
防振装置				送風用電動機：防振ゴム		
防音・断熱材				外板：吸音断熱材内貼		
配管寸法（室内側）	冷媒配管（外径）	液管	mm	φ 6.35（フレア接続）		
		ガス管		φ 9.52（フレア接続）		φ 12.7（フレア接続）
	排水管			VP25（I.D.25，O.D.32）の排水管接続可能		
IPコード				IPX0		

注(1)　冷房・暖房能力および電気特性はJIS B 8616：2015条件によります。
(2)　パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し天井内部分は本体高さに含まれます。
(3)　運転音（パワーレベル）は，日本工業規格（ JIS B 8616：2015 ）に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4)　運転音（音圧）は，日本工業規格（ JIS B 8616：2006 ）に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。
　　実際に据付けた場合は，周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

■パネル（別売品）

パネル形式	パネル色	（マンセル近似）	ワイヤレスキット形式
TC-PSAE-5AW	ファインスノー	(8.0Y9.3/0.1 近似)	LA-TC-5W

PJF000Z496

項目 ＼ 形式					
				FDTCP455LX	FDTCP565LX
電源				単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力		kW	4.5	5.6
	暖房能力			5.0	6.3
定格冷房時の顕熱比				0.66	0.66
運転音	パワーレベル（冷/暖）		dB(A)	P急：58/57，急：54/53，強：52/50，弱：45/43	P急：60/60，急：58/57，強：54/52，弱：48/46
	音圧レベル			P急：43，急：39，強：36，弱：28	P急：47，急：43，強：39，弱：31
外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	本体：248 × 570 × 570，パネル：10× 620× 620	
製品質量			kg	本体：14，パネル：3.0	
熱交換器	空気形式			アルミフィン＆銅チューブ式	
	冷媒制御器			電子膨張弁	
送風装置	形式・台数			ターボ式（モータ直結）× 1	
	風量		m^3/min	P急：12，急：10，強：9，弱：7	P急：14，急：12，強：10，弱：8
	機外静圧		Pa	0	
	電動機	定格出力	W	50 × 1	
	エアフィルタ			プラスチックネット（洗浄可能）	
	新鮮空気取入口			側板を利用して可能（100 × 100 ダクト接続）	
運転調整	操作スイッチ			RC-DX3B，RC-D4G	
	温度調節			マイコン式サーモスタット	
	表示			液晶表示〈リモコン〉	
	表示灯			緑色：運転，赤色：点検〈リモコン〉	
加湿器・加熱器	補助電気ヒータ			―（組込不可能）	
	温水・蒸気ヒータ			―（組込不可能）	
	加湿器			―（組込不可能）	
高性能フィルタ				―（組込不可能）	
遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CnT：6P，CnTA：2P）を保有（室内基板上）	
外部制御用出力機能				―	
遠方表示用出力機能				運転表示・異常表示出力用コネクタ（CnT：6P）を保有（室内基板上）	
保護機能				ファンモータ：マイコン式過負荷保護，フロートスイッチ，凍結防止サーモ	
冷媒封入量			kg	―	
防振装置				送風用電動機：防振ゴム	
防音・断熱材				外板：吸音断熱材内貼	
配管寸法（室内側）	冷媒配管（外径）	液管	mm	φ 6.35（フレア接続）	
		ガス管		φ 12.7（フレア接続）	
	排水管			VP25（I.D.25，O.D.32）の排水管接続可能	
IPコード				IPX0	

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性はJIS B 8616：2015条件によります。
(2) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し天井内部分は本体高さに含まれます。
(3) 運転音（パワーレベル）は，日本工業規格（ JIS B 8616：2015 ）に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧）は，日本工業規格（ JIS B 8616：2006 ）に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。
実際に据付けた場合は，周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

■パネル（別売品）

パネル形式	パネル色	（マンセル近似）	ワイヤレスキット形式
TC-PSAE-5AW	ファインスノー	（8.0Y9.3/0.1 近似）	LA-TC-5W

PJF000Z496

運転特性

区分＼容量	225形	285形	365形	455形	565形
消費電力（kW）	0.03	0.03	0.04	0.05	0.06
運転電流（A）	0.28	0.28	0.42	0.48	0.60

注(1) 上表は JIS B 8616：2015 条件によります。
(2) 上表の値は冷房・暖房運転共通です。

使用範囲

適用地域		組合せ室外ユニットに示す。
設置場所 （室内ユニット）		外形図に据付スペースに関する制限を記載しております。
室内ユニットの雰囲気（天井裏）温度・湿度		露点温度２８℃以下，相対湿度８０％以下
冷房運転	室内吸込空気温度	湿球温度２４℃以下　（室外ユニット使用範囲に示す　冷房使用範囲参照）
暖房運転	室内吸込空気温度	乾球温度３０℃以下　（室外ユニット使用範囲に示す　暖房使用範囲参照）
電源電圧	電圧変動	定格電圧 ２００V±１０％以内
	始動時の電圧降下	定格電圧 ２００Vの１５％
適合配線	電源	2.0mm^2 ～ 3.5mm^2
	信号線	シールド線：太さ 0.75mm^2 を使用する場合は 1500m まで シールド線：太さ 1.25mm^2 を使用する場合は 1000m まで シールド線以外を使用する場合は、太さ 2.0mm^2 とし、2000m まで
	リモコン線	0.3mm^2 ～ 2.0mm^2
冷媒配管の断熱		相対湿度が７０％を越える天井内等では、厚さ２０mm 以上の断熱が必要になります。
ドレン配管の断熱		相対湿度が７０％を越える天井内等では、厚さ１０mm 以上の断熱が必要になります。

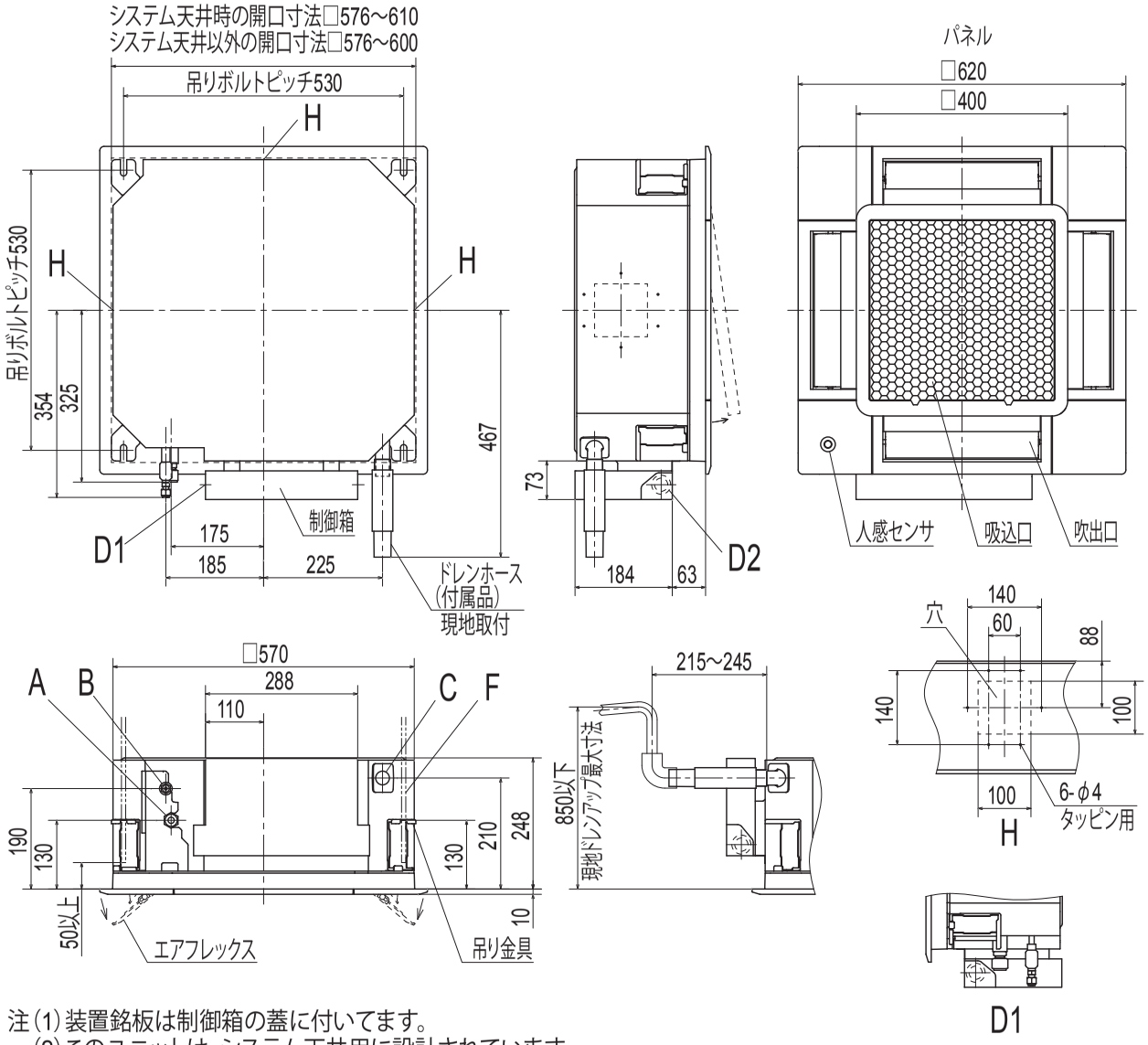
注(1)次のような場所への設置は行わないでください。
1）可燃性ガスの漏れる恐れがある場所。
2）硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等、機器に影響する物質の発生・滞留する所。
3）調理場や機械工場など、油の飛沫や油煙・蒸気の立ち込める場所。
4）電磁波・高周波の発生する機器の近く。
5）海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
6）煙突の煙がかかる場所。
7）カーボン繊維や金属分・パウダー等が浮遊する場所。
8）化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所。
9）車両・船舶等移動するものへの設置。
10）積雪の多い所
11）標高 1000m 以上の場所。
12）洗たく室等 水が掛かる場所。室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。
13）ワイヤレス仕様で使われる場合受信部に影響のある光線が飛び交う所。
14）天井内温度、湿度が３０℃・８０％ＲＨを越えると思われる場合は、断熱材を追加してください。

2. 外形図

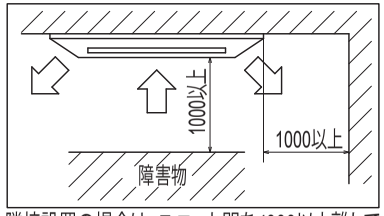
(1) 室内ユニット 全機種

●記号一覧

記号	内容		
	機種	P22,28	P36,45,56
A	冷媒ガス側配管	φ9.52 (フレア)	φ12.7 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	
C	ドレン配管	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D1	電源線取入口		
D2	リモコン線・通信線取入口		
F	吊りボルト	M10またはM8	
H	吹出分岐ダクト接続口	φ125	



据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

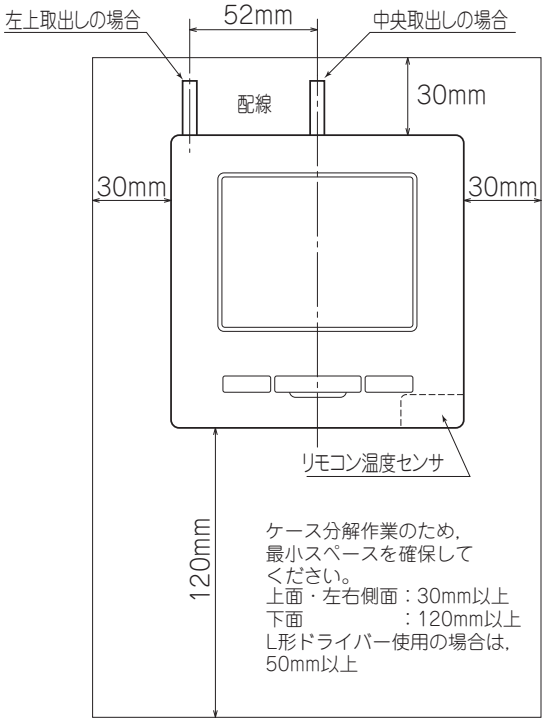
注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。
(2)このユニットは、システム天井用に設計されています。
もし、システム天井以外に据付ける場合は、制御箱側に点検口を設置してください。

PJF000Z499A

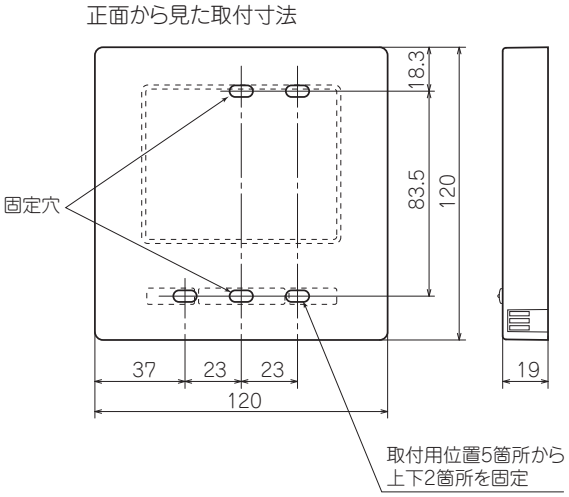
(2) リモートコントローラ

(a) RC − DX3B

設置スペース



リモコン取付寸法



リモコンコードを延長する場合の注意　**最大総延長600m**

●リモコンコードは0.3mm²×2心です。

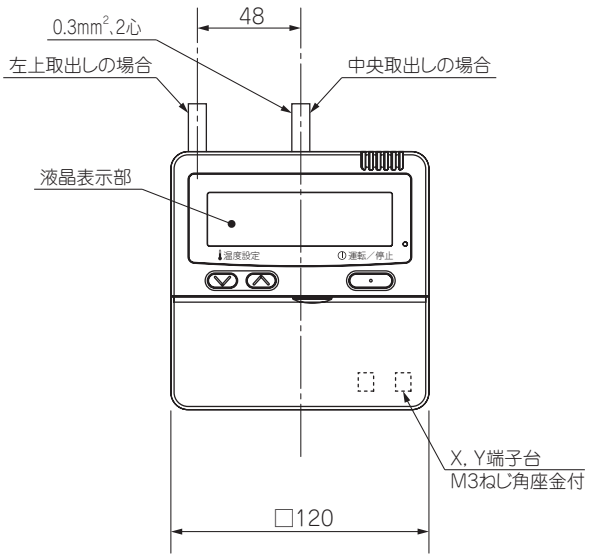
延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は，下記サイズに変更してください。ただし，リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし，リモコン外部の近傍で配線接続により，サイズを変更してください。配線接続する際は，水分等が浸入しないような処置を行ってください。また，配線の接続は，接触不良のないように確実に行ってください。

100〜200m以内…0.50mm²×2心
〜300m以内…0.75mm²×2心
〜400m以内…1.25mm²×2心
〜600m以内…2.00mm²×2心

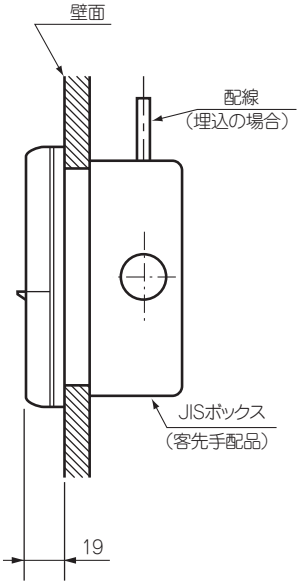
PJZ000Z332

(b) RC − D4G

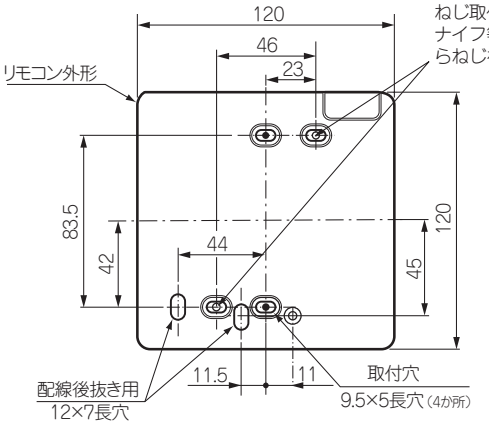
配線露出取付



配線埋込取付



リモコン取付寸法



注（1）使用可能JISボックス JIS C 8340
- ▸1個用スイッチボックス
  （左図 ● 印穴使用）
- ▸2個用スイッチボックス
  （左図 ○ 印穴使用）

（2）リモコン用取付ねじ
M4×2本

リモコンコードを延長する場合の注意 **最大総延長600m**

●リモコンコードは0.3mm²×2心です。

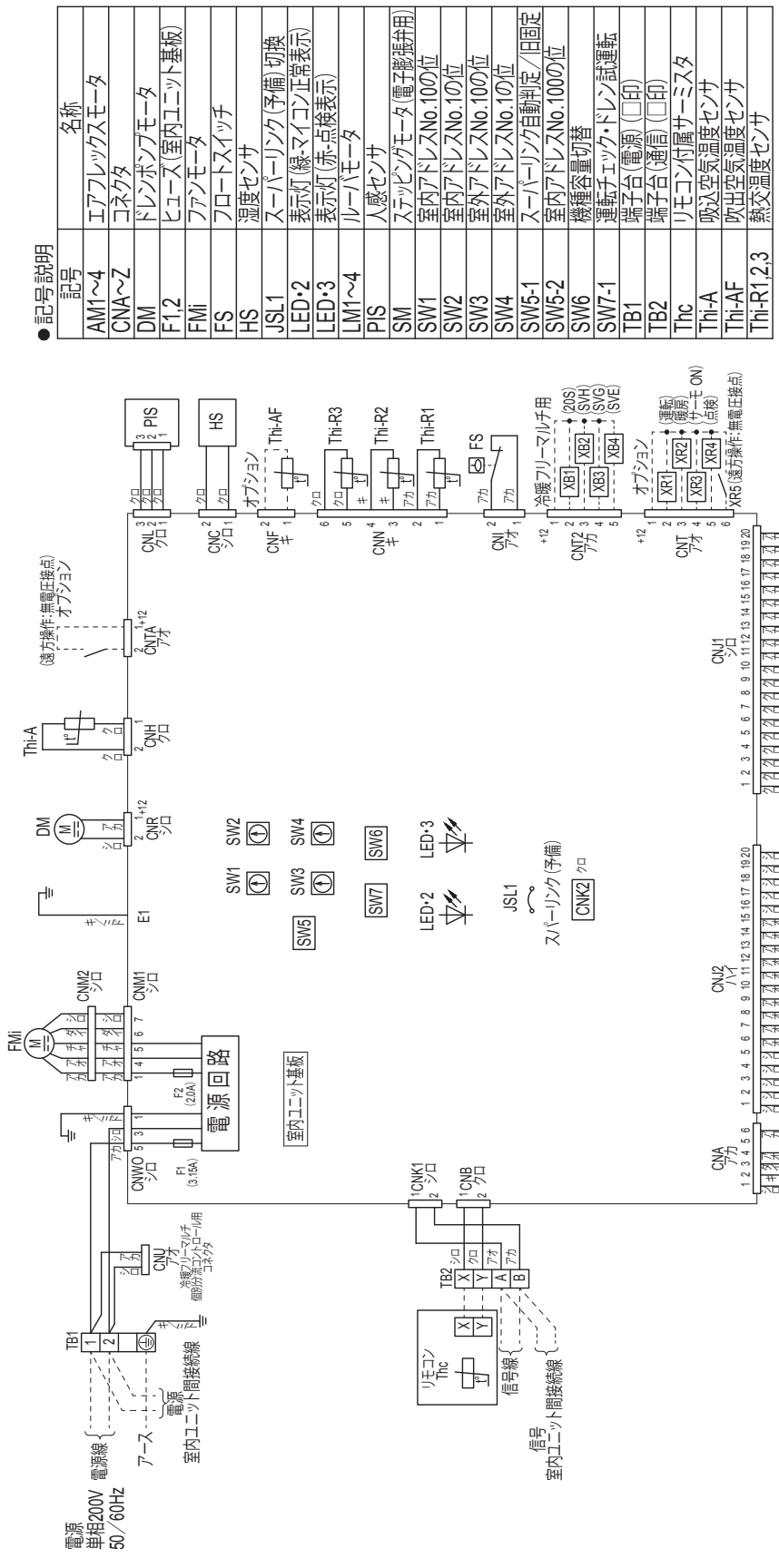
延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は，下記サイズに変更してください。ただし，リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし，リモコン外部の近傍で配線接続により，サイズを変更してください。配線接続する際は，水分等が浸入しないような処置を行ってください。また，配線の接続は，接触不良のないように確実に行ってください。

100～200m以内…0.50mm²×2心
～300m以内…0.75mm²×2心
～400m以内…1.25mm²×2心
～600m以内…2.00mm²×2心

PJZ000Z290

3. 電気配線図

全機種



記事 1.- - - -は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(電源線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、信号線)です。
3.室内外接続線(信号線)および室内ユニット間接続線(信号線)は、
・シールド線、太さ0.75mm²を使用する場合は1500mまで
・シールド線、太さ1.25mm²を使用する場合は1000mまで
・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm²とし、2000mまで
4.リモコン配線は0.3mm²X2心を使用してください。
5.リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

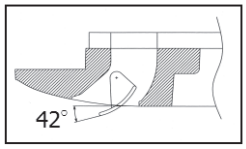
PJF000Z502

4. 気流分布

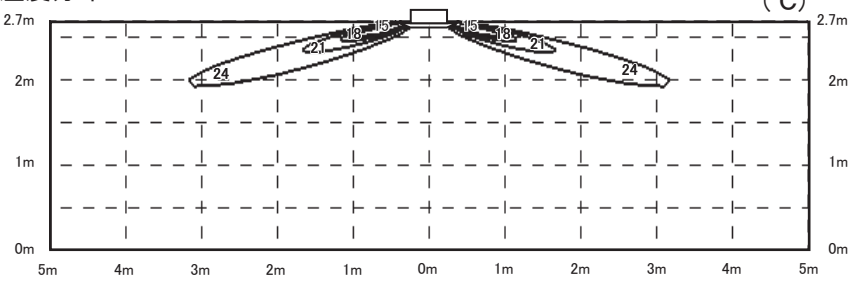
FDTCP225,285LX

冷房　風量: P 急

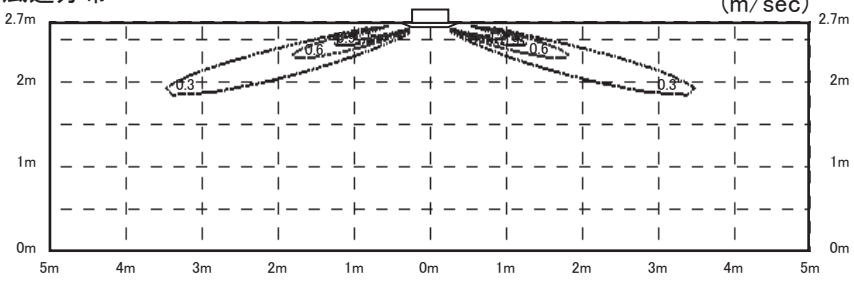
ルーバ位置



温度分布

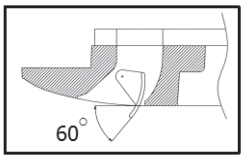


風速分布

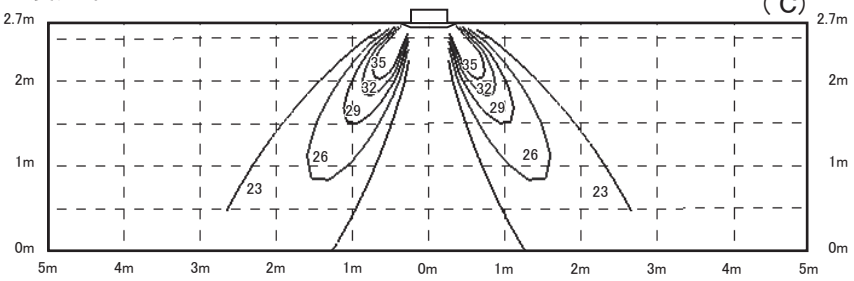


暖房　風量: P 急

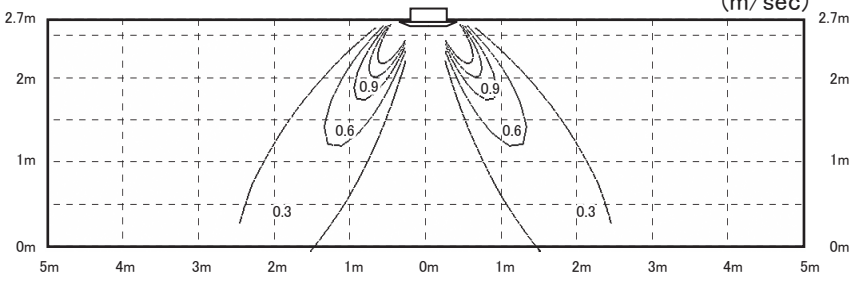
ルーバ位置



温度分布



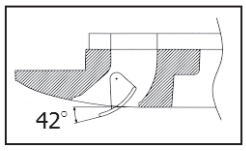
風速分布



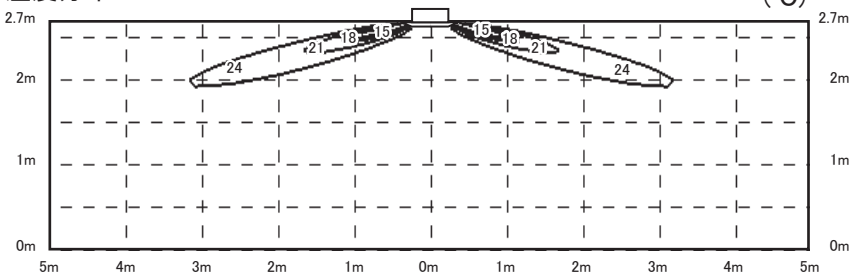
FDTCP365LX

冷房　風量: P 急

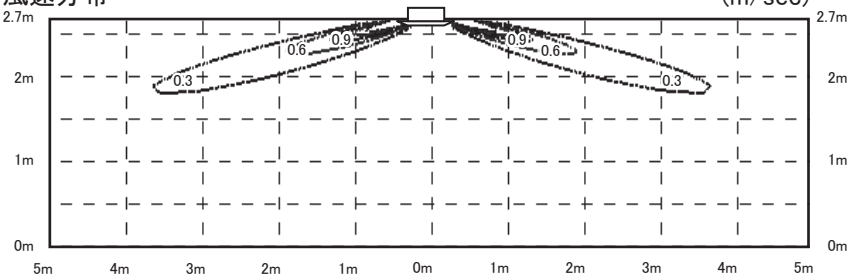
ルーバ位置



温度分布 (℃)

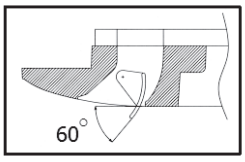


風速分布 (m/sec)

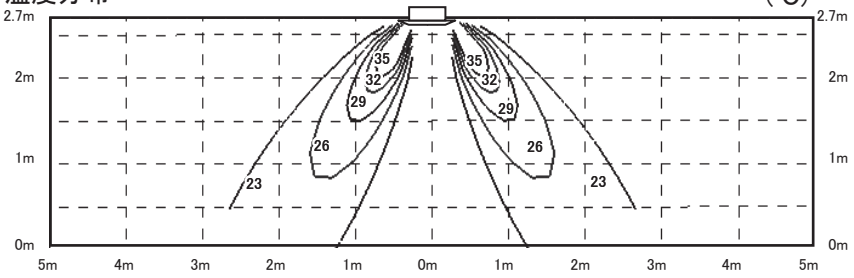


暖房　風量: P 急

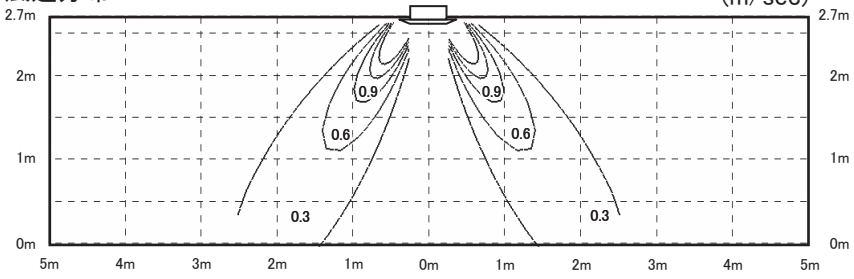
ルーバ位置



温度分布 (℃)



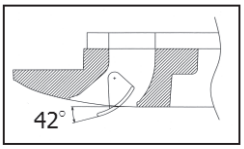
風速分布 (m/sec)



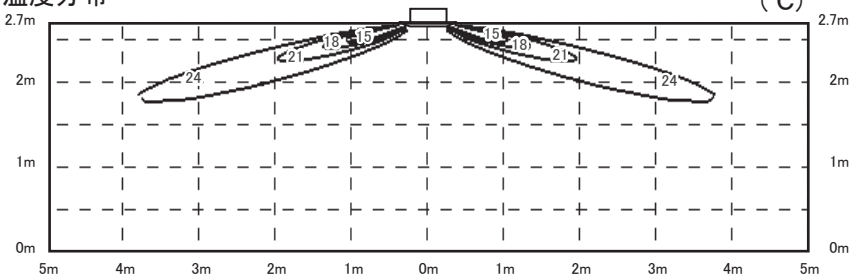
FDTCP455LX

冷房　風量: P 急

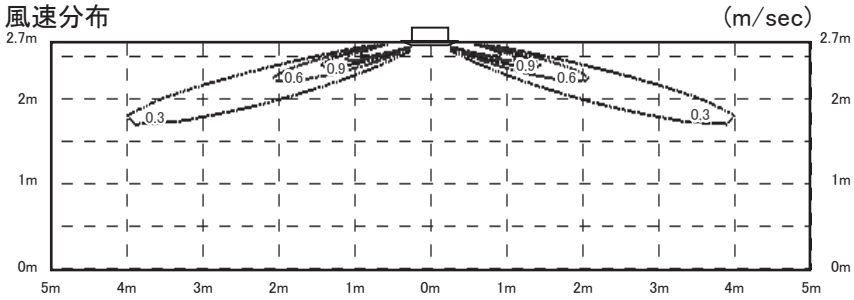
ルーバ位置



温度分布 (℃)

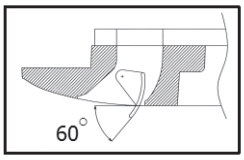


風速分布 (m/sec)

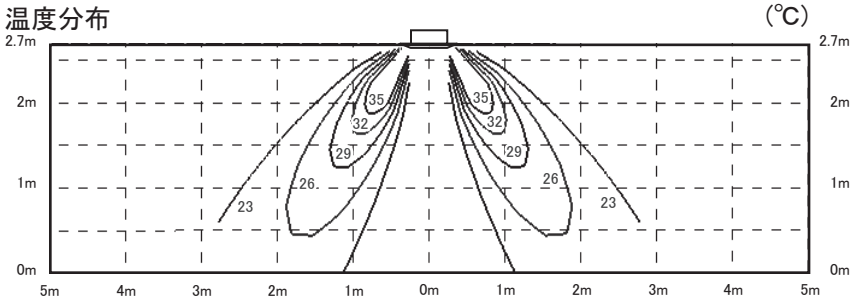


暖房　風量: P 急

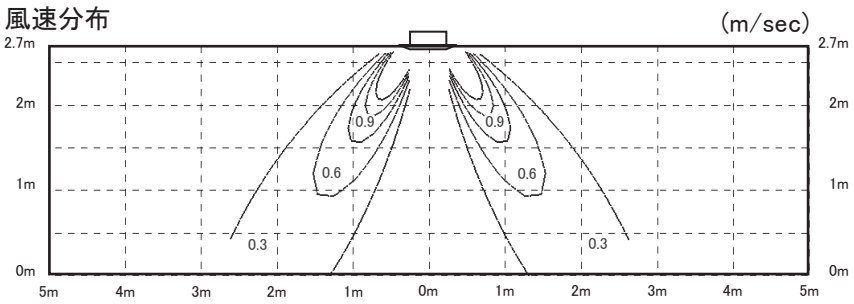
ルーバ位置



温度分布 (℃)



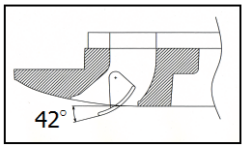
風速分布 (m/sec)



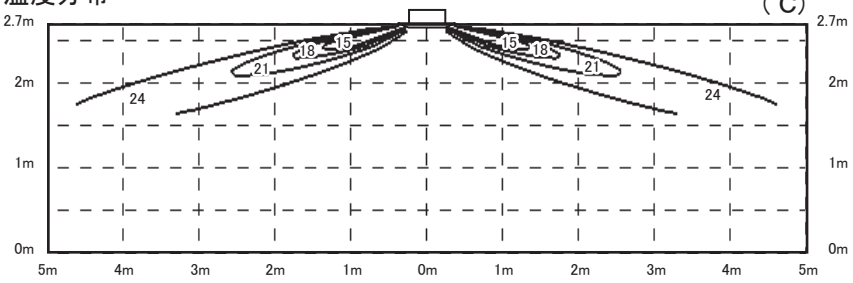
FDTCP565LX

冷房　風量: P 急

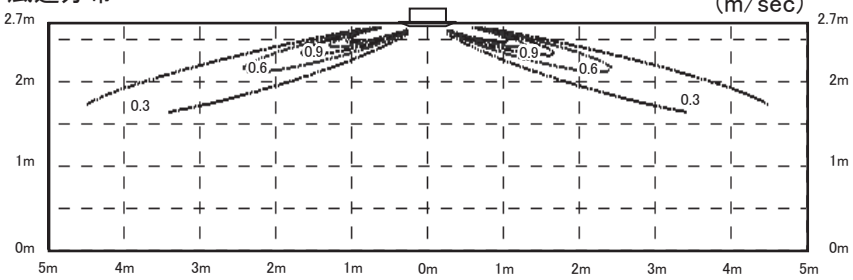
ルーバ位置



温度分布

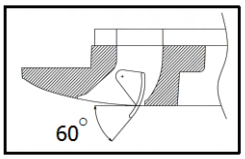


風速分布

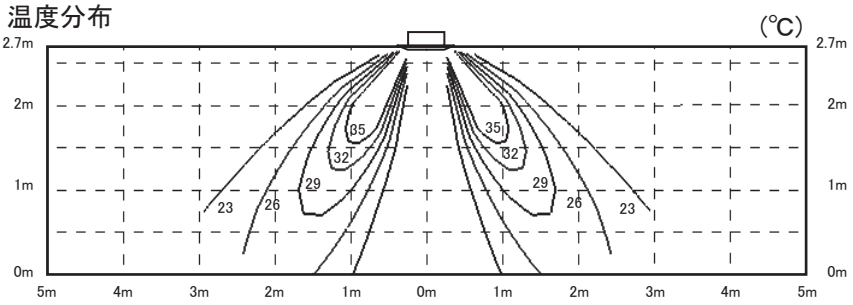


暖房　風量: P 急

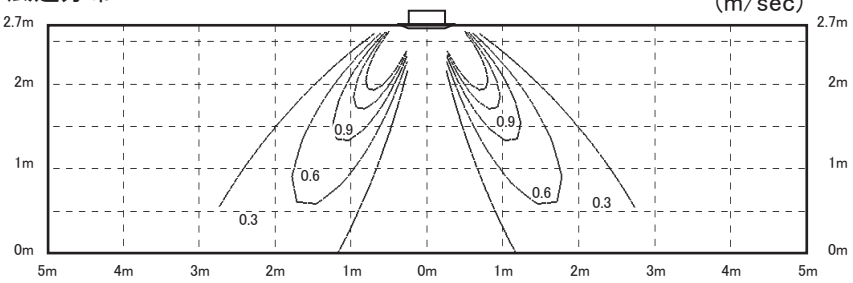
ルーバ位置



温度分布



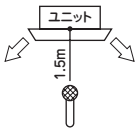
風速分布



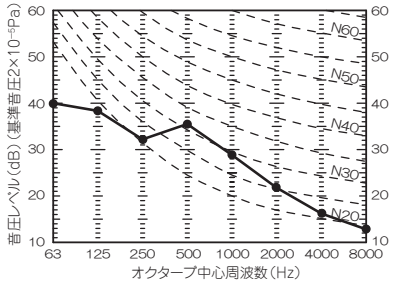
5. 運 転 音

運転音は，JIS規格に準拠し，無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は，周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。

（測定条件：JIS B 8616· 冷房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方1.5m）

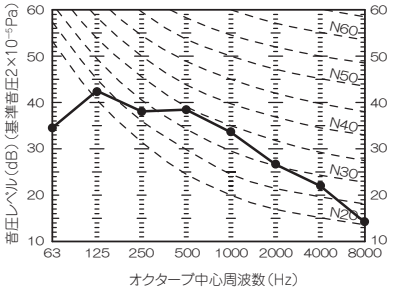


FDTCP225，285LX



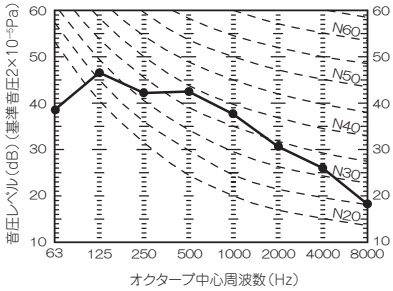
注(1)　暖房時もほぼ同じです。

FDTCP365LX



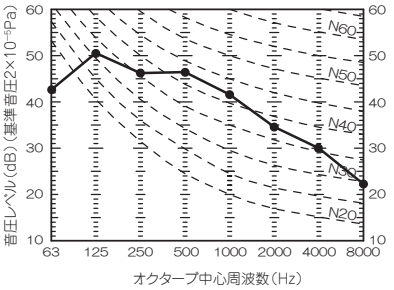
注(1)　暖房時もほぼ同じです。

FDTCP455LX



注(1)　暖房時もほぼ同じです。

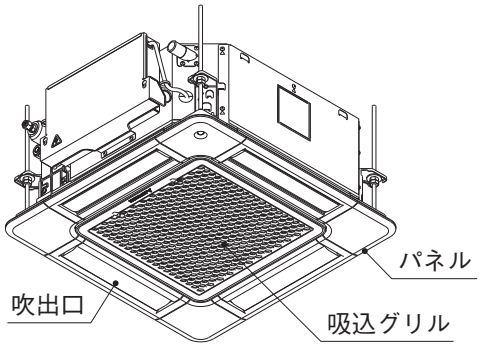
FDTCP565LX



注(1)　暖房時もほぼ同じです。

6. 塗 装 色

(1) **パネル**



(2) **パネル形式**

・全形式共通

パネル形式	パネル色
TC-PSAE-5AW （エアフレックス）	ファインスノー（マンセル 8.0Y9.3/0.1 近似）

7. 防振設計用参考資料

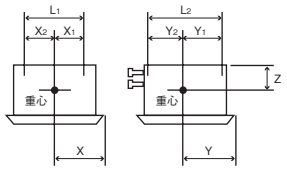
(1) 耐震データ

単位 : mm

形式＼項目		製品外形寸法 幅×奥行×高さ	製品質量 (kg)	重心位置(1)								
				幅方向				奥行方向				高さ
				X	X_1	X_2	L_1	Y	Y_1	Y_2	L_2	Z
FDTC	P225LX	620×620×258	16	314	269	261	530	335	310	220	530	77
	P285LX											
	P365LX											
	P455LX		17									
	P565LX											

注(1) L_1(X_1, X_2), L_2(Y_1, Y_2)寸法は据付ボルトの位置を示します。

FDTC 形
225 ～ 565



(2) 防振データ

形式＼項目		送風機回転数(1)(min-1)
FDTC	P225LX	600
	P285LX	
	P365LX	700
	P455LX	820
	P565LX	935

注(1) P急運転時の値です。

8. 据付関連事項

(1) 室内ユニット

(a) 室内ユニットの据付

PJF012D500

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内ユニット）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用を使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●エアコンの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

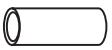
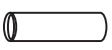
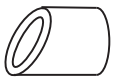
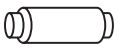
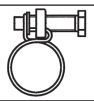
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

①据付前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品　　○付属品

室内ユニットを移動させるときは吊り金具（4か所）を持ち、他の部分（特に冷媒配管、ドレン配管および樹脂部品）には、力を加えないでください。

付属品

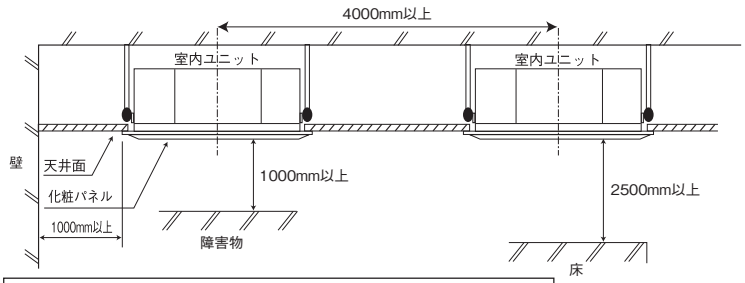
室内ユニット吊り込み用		冷媒配管用			ドレン配管用			
平座金（M10）	レベルゲージおよび平座金仮固定	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	バンド	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	ドレンホース	ホースクランプ
								
8個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個
吊りボルト用	室内ユニットの位置調整及び吊り込み時の補助用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
　据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
　据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。
（本室内ユニットはJIS露付条件（室内:27℃/85%RH、天井裏:32℃/80%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。）
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４ｍ以上離して設置してください。

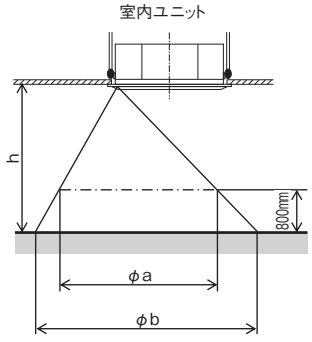
室内ユニット据付スペース

●室内ユニットー壁、室内ユニットー室内ユニット間など、間隔がとれない場合は、そちら側の吹出口をしゃ風しショートサーキットしないことを確認してください。
●**据付高さは2．5m以上としてください。**



埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続か所の点検が可能なように点検口などを設けてください。

人感センサ検知範囲の目安



天井高さ　h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①　φa [m]	約 4.5	約 6.4	約 7.6
検知範囲②　φb [m]	約 6.4	約 8.3	約 9.5

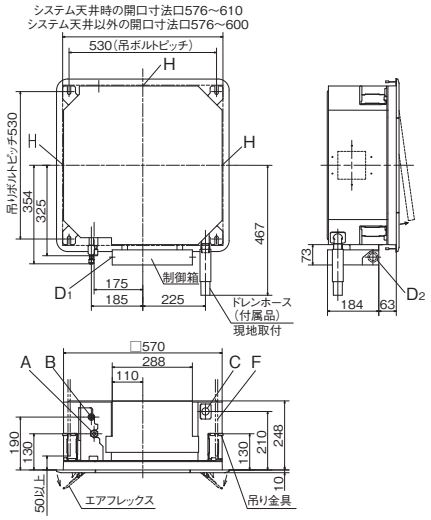
吹出パターンの設定

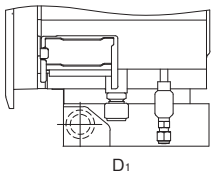
●部屋の形や据付位置に最適な吹出方向を４方向・３方向・２方向から選定してください。（１方向はできません。）
●吹出口数を変更する場合は、別売のしゃ風材を手配してください。
●２方向・３方向吹出の場合は風量「弱」での使用は避けてください。
●高温・多湿環境での２方向吹出は行わないでください。（結露・水漏れの原因になります。）
●吹出ルーバの上下位置の設定などによりさまざまな吹出パターンが設定できます。設定方法は取扱説明書をご覧ください。

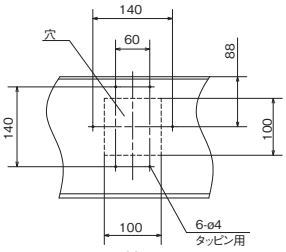
③据付準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０ or Ｍ８）を４組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置



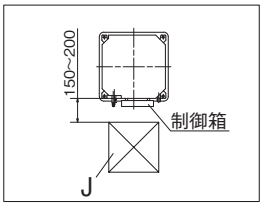




[mm]

記号	内容
A	冷媒ガス側配管
B	冷媒液側配管
C	ドレン配管
D_1	電源線取入口
D_2	リモコン線･通信線取入口
F	吊りボルト
H	吹出分岐ダクト接続口
J	点検口

点検口設置位置

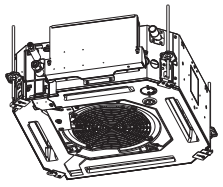


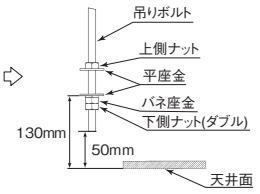
※システム天井以外の場合は制御箱側に点検口を設置してください。

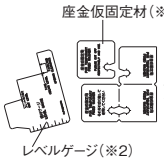
④室内ユニットの据付

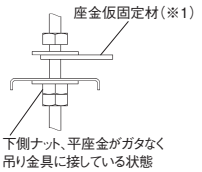
作業手順

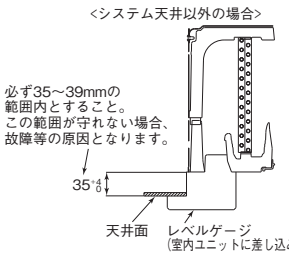
1. このユニットは、システム天井用に設計されています。
　必要ならば、一時的にＴバーを取外して、ユニットを据付けてください。
　もし、システム天井以外に据付ける場合は、制御箱側に点検口を設置してください。
2. 吊りボルト位置（530mm×530mm）を決めてください。
3. 吊りボルトは、4本使用し、1本当り500Nの引抜き荷重に耐えられるよう固定してください。
4. 吊りボルト長さは、天井面より 50mm 程度としてください。
5. 吊りボルトの下側ナット(4か所)は、天井面から 130mm 程度に仮止めしてください。
6. 吊りボルトの上側ナット(4か所)は、室内ユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障のないよう、下側ナットから十分距離を取った位置に仮止めしてください。
7. 吊りボルトの上側ナットと上側座金(各4か所)を下側ナットから十分な距離をとった状態で、座金仮固定材(※1)を吊りボルトに挿しこんでください。上側座金が落下してきません。
8. 室内ユニットを吊り込んでください。
9. 室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージ(※2)を室内ユニットの吹出口に取付け、室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。高さ調整は上側ナット(4か所)を緩めた状態で、下側ナット(4か所)で調整してください。室内ユニット吊り金具(4か所)が下側ナット，平座金にガタなく接していることを確認してください。
10. 座金仮固定材(4か所全て)を取外してください。
11. 室内ユニットの水平度を確認してください。水平度は水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。
　（室内ユニットの両端での高さ許容差は 3mm 以内）
12. 吊りボルトの上側ナット(4か所)を締付けてください。

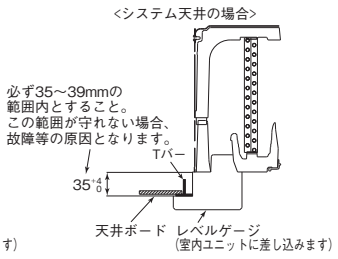


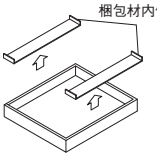


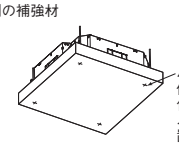












パネル取付用ボルトを使用して、梱包材を取付けてください。パネル取付ピッチと同じ位置に十のスリットがあります。



室内ユニットの養生

●パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付後に天井材を貼る場合は、梱包材 (天面ダンボール) を使用して、室内ユニットを養生してください。

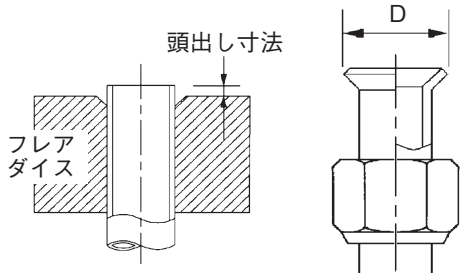
室内ユニット据付時のお願い

●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニットに無理な力がかかり変形し、パネルが組付できなかったり、ファン干渉音が発生することがあります。
●室内ユニットは必ず水平に据付、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
●パネルと天井面、およびパネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のものまたは JIS B 8607 2種適合品をご使用ください。
既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のものまたはJIS B 8607 2種適合品を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

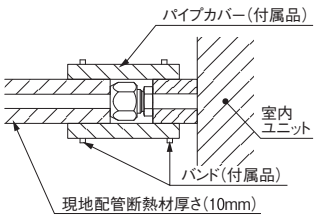
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。

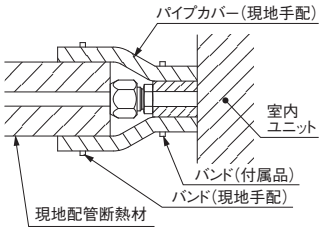
●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>



作業手順

1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外す。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

2．液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続する。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。

3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。

●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。

●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。

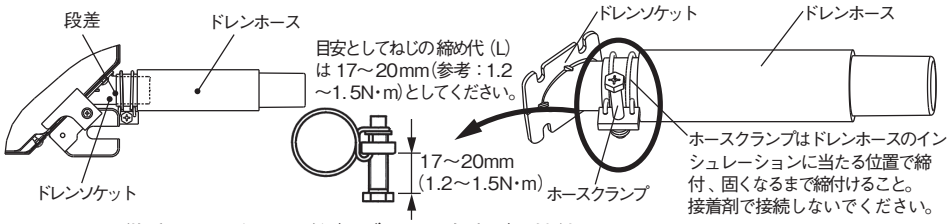
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。

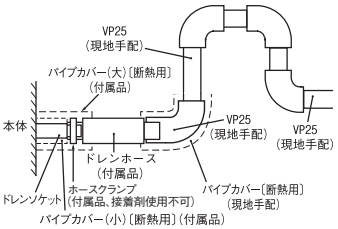
●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

⑥ドレン配管

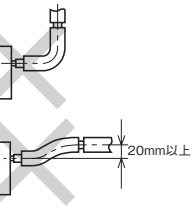
作業手順

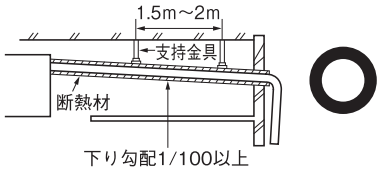
1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ソケットの段差部まで確実に挿入してください。
   その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
   ●接着剤使用不可
2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3. ねじを数回回転させて締付が固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。

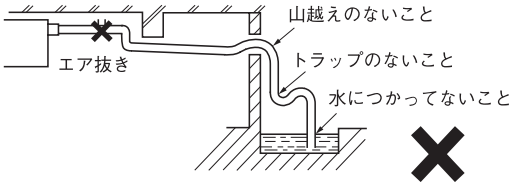


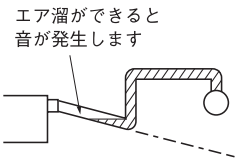


4. VP25用継手やエルボー、配管（いずれも現地手配）を接続してください。
   ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。
   ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
   乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
   ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。
   故意に曲げたり、引張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
5. ドレン配管は下り勾配（1／100以上）としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。
   途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
   ●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニッ ト近傍で配管を固定してください。
   ●エア抜きは絶対に設けないでください。

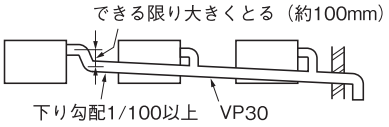








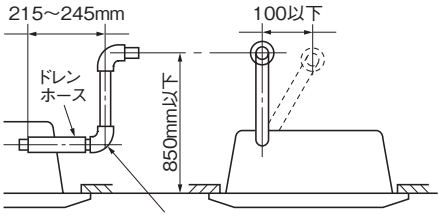
   ●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。
   また集合配管はVP30以上を使用してください。



6. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
   ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
   ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より850mmまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

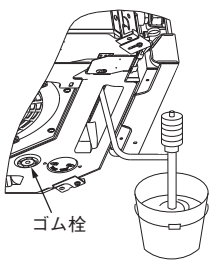


ドレン排水テスト

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

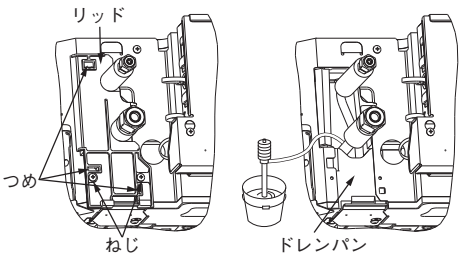
1. 室内ユニットドレンパンの中へ水を約1000cc 注水してください。注水時は、ドレンポンプなどの電機部品に水をかけないようにしてください。
   注水は、吹出口から給水ポンプなどを使用するか、冷媒配管取出部から行ってください。
2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
   ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。
3. 排水テスト後は、ゴム栓を外して水抜きを行ってください。
   水抜き確認後は、ゴム栓を元通りにはめ込んでください。ドレン配管の断熱を室内ユニット部まで完全に行ってください。
   リッドを外して注水した場合は、リッドを装着しなおしてください。

●吹出口から注水する場合



●冷媒配管取出部から注水する場合

(1) ねじ２か所を外します
(2) つめ部の引っかかりを外して、リッドを外します。



⑥ドレン配管のつづき

ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合
ドレンポンプの運転がリモコン(ワイヤード)操作により可能です。運転操作方法は、電気配線工事説明書の ドレンポンプ運転操作 をご覧ください。

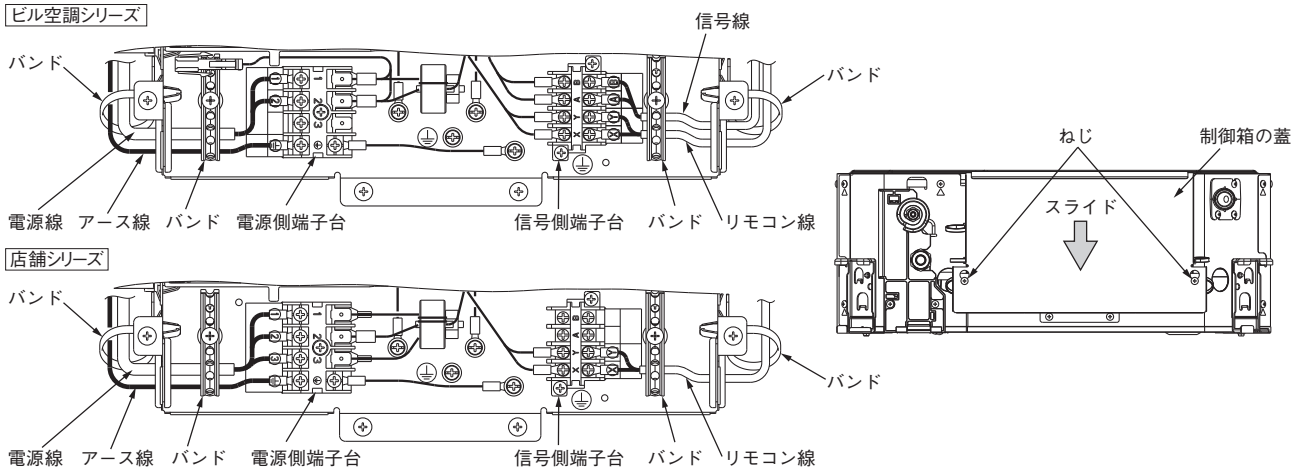
○電源が供給されている場合
室内ユニット基板上のSW7−1をONにし、かつ、基板上のコネクタCnBを抜いた後、電源ON(端子台①、②へAC200V)すると、ドレンポンプのみ連続運転します。ドレン排水確認後は、必ずSW7−1を元の状態(OFF)に戻し、かつ、基板上のコネクタCnBを差込んでください。

○電源が供給されていない場合
ドレンポンプ試運転用チェッカー(別売)でドレンポンプを運転することが可能です。操作方法はドレンポンプ試運転チェッカに付属の取扱説明書をご覧ください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」 および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。 誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1. ユニット本体の制御箱の蓋のねじ(2本)を緩めてください。
2. 制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて、取外してください。
3. 配線を制御箱内に入れ、端子台に確実に接続してください。
4. 下図のように配線をバンドで固定してください。
5. 配線を噛込まないように制御箱の蓋を取付、ねじ(2本)で締付けてください。



⑧パネルの取付

●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニットに取付けてください。
●パネルの取付方法は、パネル付属の据付説明書をご覧ください。

⑨室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

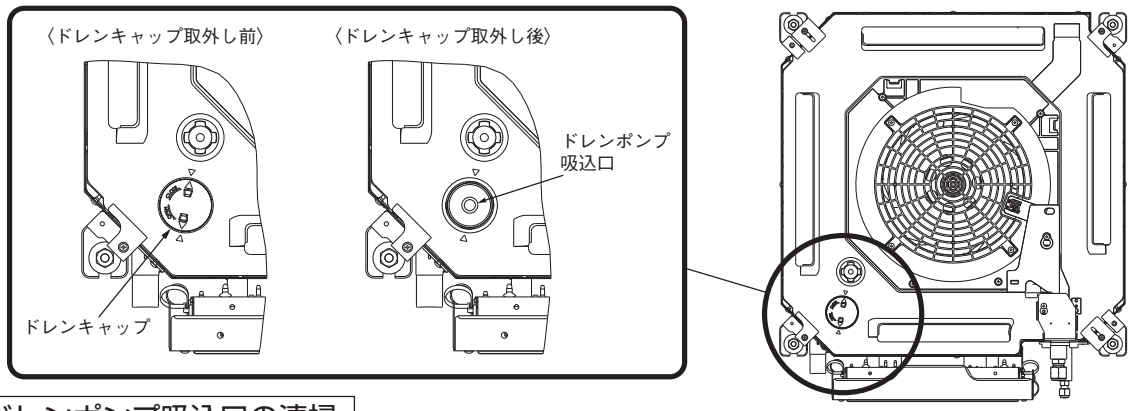
●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑩ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃（メンテナンス）

ドレンパン汚れ確認方法

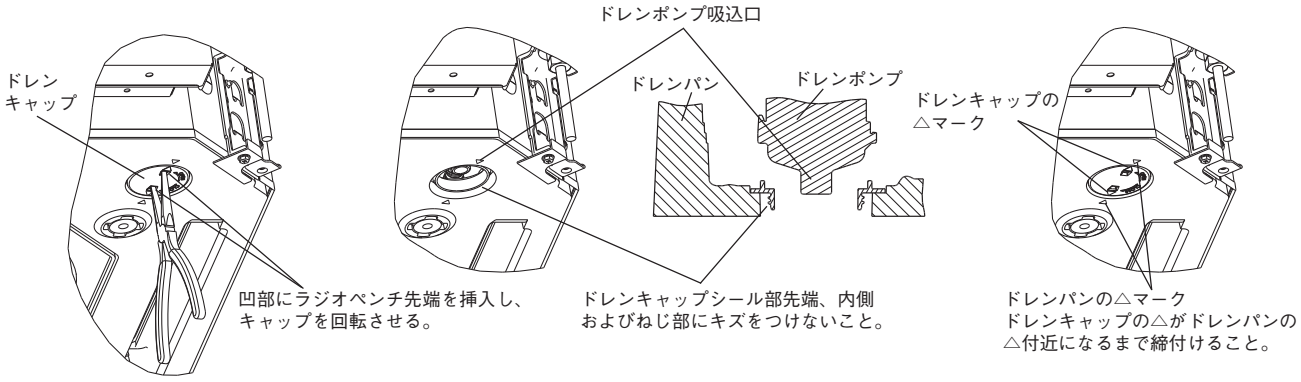
1. パネル据付説明書に従ってパネルを取外してください。
2. ドレンキャップからドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口を確認してください。汚れが多い場合はドレンパンを取外し、清掃してください。



ドレンポンプ吸込口の清掃

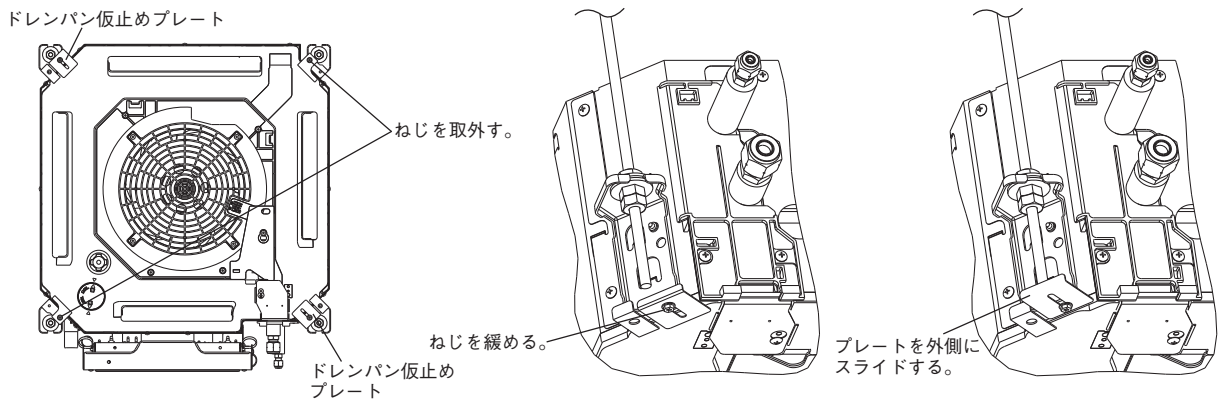
●ドレンパンを取外さず、ドレンキャップを取外すことでドレンポンプ吸込口およびその付近の清掃ができます。
●ドレンキャップを取外す前に、ゴム栓を取外してドレンパン内のドレンを排水してください。

1. ドレンキャップの凹部(2ヶ所)にラジオペンチの先を挿入し、反時計回りに約1回転するとドレンキャップを取外せます。
2. ドレンポンプ吸込口を清掃する場合はプラスチック製の道具を使用してください。金属製の道具を使用するとドレンキャップ取付部をキズつけ、水漏れの原因になります。
3. ドレンキャップを取付ける前に、流水で水洗いし、**ドレンキャップ内側の異物を取除いてください。** 異物が付着したままドレンキャップを取付けると水漏れの原因になります。
4. ドレンキャップの取付は、ラジオペンチでドレンキャップの凹部を使用して取付けてください。時計回りに約1回転させ、**キャップが回転しなくなるまで締付けてください。** キャップが1回転以上回転しない場合は正しく取付けられていません。一度、ドレンキャップを取外し、改めて取付直してください。
5. ドレンキャップ締付後、ドレンキャップの△マークがドレンパンの△マーク付近にあることを確認してください。ドレンキャップの△マークがドレンパンの△マーク付近にない場合は、増締めしてください。
6. 取外したゴム栓は確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



ドレンパン取外し時の注意事項

●ドレンパンを取外す前に、ドレンパン内のドレンを排水してください。ゴム栓を取外して排水してください。
●ドレンパンは仮止めプレートで仮止めされています。ドレンパン取付ねじ(2個)を取外し、仮止めプレートのねじ(2個)を緩めてください。仮止めプレートをドレンパンの外側にスライドしてください。ドレンパンを取外せます。
●ドレンパン取付時は、仮止めプレートを内側にスライドし、ドレンパンを仮止めしてください。その後、ドレンパン取付ねじ(2個)と仮止めプレートのねじ(2個)を締付けてください。また、取外したゴム栓は確実に取付けてください。



(b) パネルの据付

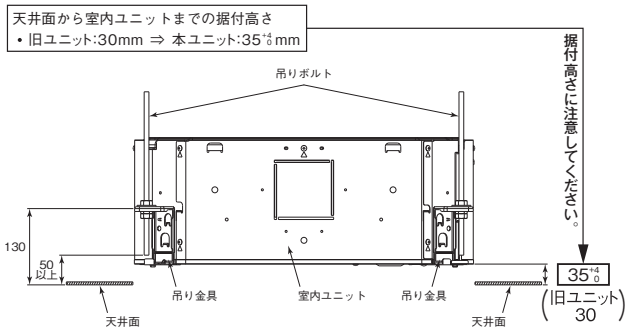
PJF012Z502

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

※ご使用前の注意点

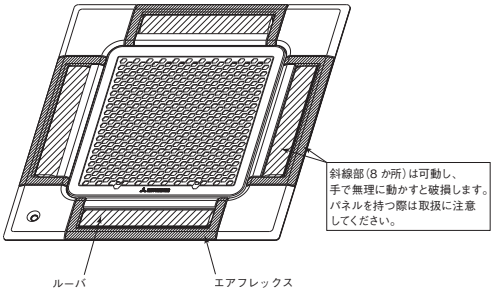
①室内ユニットの据付高さに注意してください。
また、本室内ユニットは旧ユニット（従来機）と据付高さが異なるため、注意してください。

天井面から室内ユニットまでの据付高さ
・旧ユニット:30mm ⇒ 本ユニット:35$^{+4}_{0}$mm



※室内ユニットが上記の高さに据付けられていない場合、風漏れ
による露付・露垂れや天井面の汚れ発生の原因となります。

②ルーバおよびエアフレックスは無理に動かさないでください。



⚠ 警　告

●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

エアフレックス ： ドラフト防止機能

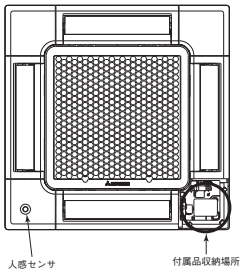
① 据付の前に

・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・次の項目を確認してください。
○パネル・リモコンのタイプ
○付属品

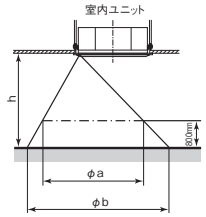
付属品

ボルト		4本	パネル取付用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
グリルフック		1個	グリル落下防止用
ねじ		4本	コーナリッド固定用

注：付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



人感センサ検知範囲の目安



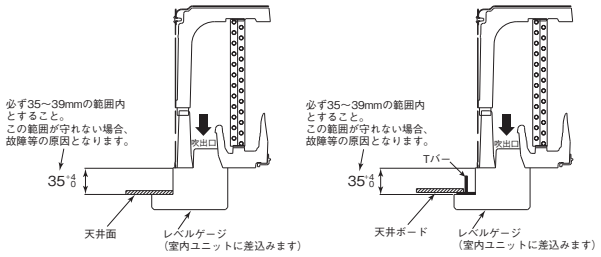
天井高さ　h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①　φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②　φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

② 室内ユニットの据付高さの確認

・室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
・室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。
・室内ユニットと天井材との取付レベルを確認してください。
・室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニットの吊込み高さを調整してください。
・レベルゲージはパネル取付前に取外してください。

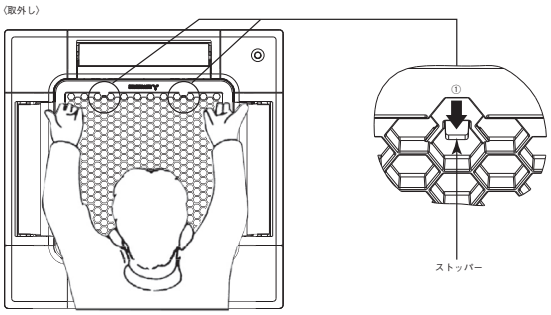
ご注意
室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

<システム天井以外の場合>　<システム天井の場合>



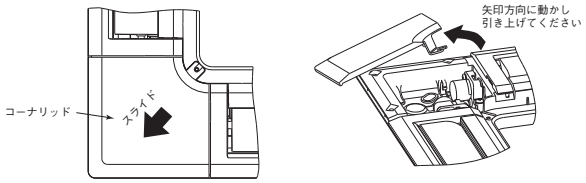
③ 吸込グリルの取外し

1．吸込グリルのストッパー（2 か所）に指をかけて矢印①の方向に押したまま吸込グリルを下方へ
引くと吸込グリルが開きます。
2．吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネルから外します。



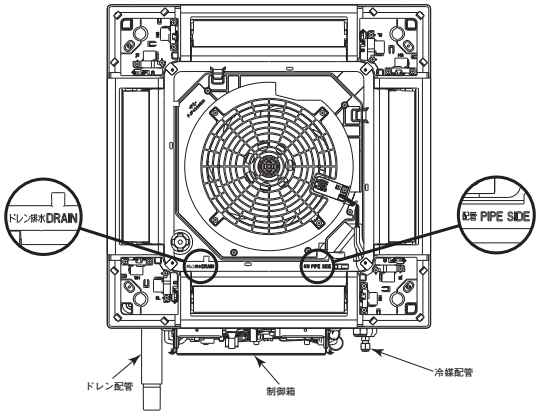
④ コーナリッドの取外し

・コーナリッドを矢印の方向へ移動させ取外してください。(4コーナとも)



⑤ パネルの取付方向

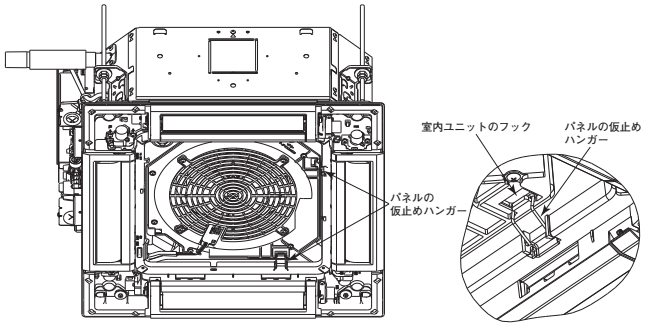
・パネルの取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。
・パネルは、下図に示す方向で取付けてください。
・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管の位置を合わせてください。



ご注意
・上図以外の方向で取付けると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。

⑥ パネルの取付

1．パネルの仮止め
・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。（2か所）
・パネルの仮止め用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊るします。

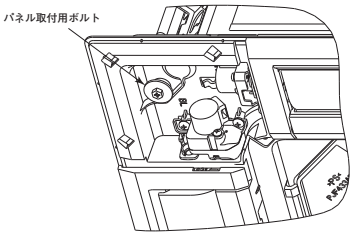


2．パネルの室内ユニットへの固定
・付属のパネル取付用ボルト4本を用いて、室内ユニットに締付けてください。

ご注意
人感センサ配線が噛込まないように注意してください。

ご注意
・吊りボルトの締込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。
・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。

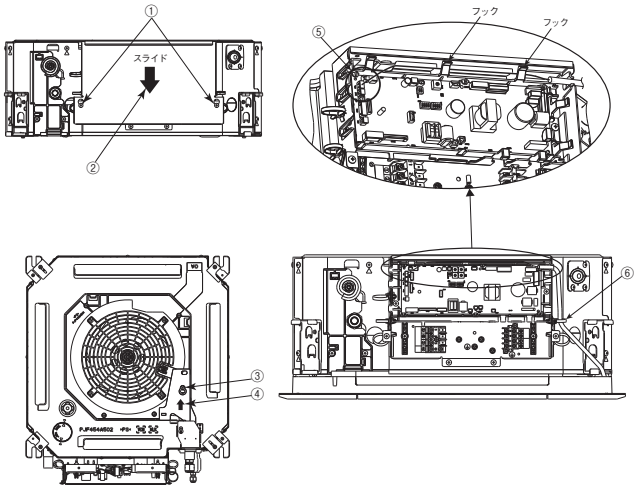




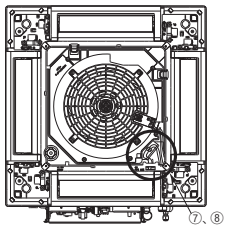
ご注意
パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付高さを調整してください。
パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が収まらないおそれがあります。

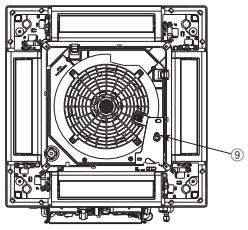
⑦ 電気配線

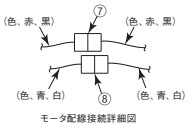
①ユニット本体の制御箱のねじ（2本）を緩めてください。
②制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて取外してください。
③配線カバーのねじを緩めてください。
④図の矢印方向に蓋をスライドさせて、配線カバーを取外してください。
⑤人感センサ配線のコネクタを制御箱内の基板のCNL（3P, 黒）に接続してください。
⑥図のように人感センサ配線をバンドで固定してください。
⑦パネル側のルーバモータ配線（配線色：赤, 黒）のコネクタを、ユニット側のルーバモータ配線（配線色：赤, 黒）のコネクタCnJ3（20P, 白）に接続してください。
⑧パネル側のエアフレックスモータ配線（配線色：青, 白）のコネクタを、ユニット側のエアフレックスモータ配線（配線色：青, 白）のコネクタCnJ4（20P, 白）に接続してください。
⑨配線が噛込まないように配線カバーを取付、ねじで締付けてください。
⑩配線を噛込まないように制御箱の蓋を取付、ねじ(2本)で締付けてください。



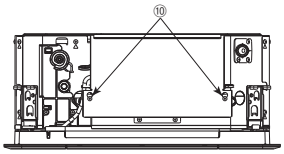
⑦ 電気配線のつづき

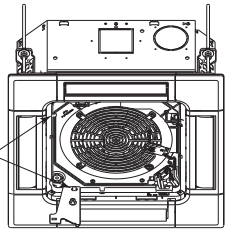






モータ配線接続詳細図

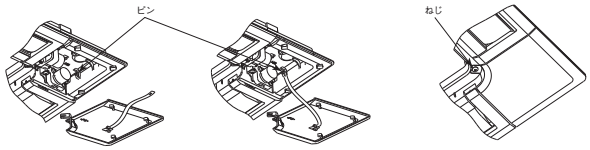




※フックに配線カバーを引掛けることで作業がしやすくなります。

⑧ コーナリッドの取付

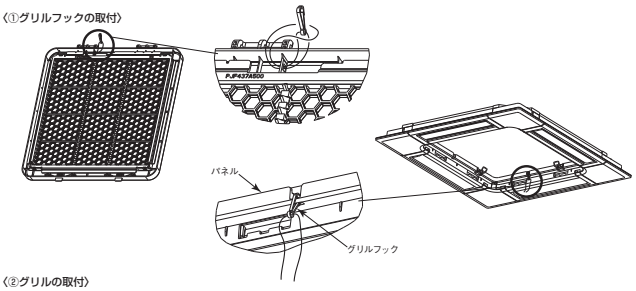
1．付属のコーナリッド落下防止用ストラップをコーナリッドのビンに折返して引掛けてください。
2．コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネルのビンに引掛けてください。
3．コーナリッドのつめ3か所をはめ、付属のねじで固定してください。



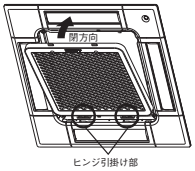
⑨ 吸込グリルの取付

パネルと吸込グリルには方向性がありません。（吸込グリルのヒンジは4辺どこでも取付可能です。）
吸込グリルの取付方法は ③吸込グリルの取外し の手順を逆に作業してください。
①グリルフックをパネルに取りつけてください。
②吸込グリルのヒンジをパネルのヒンジ挿入穴に取付けてください。
吸込グリルのヒンジを取付後、ストッパー（2か所）を押したまま、閉じてください。
両方のストッパーが確実にパネルに差込まれていることを確認してください。

〈①グリルフックの取付〉



〈②グリルの取付〉



ご注意
・グリルフックは確実にパネル本体側に取付けてください。
・吸込グリルの取付は、必ずヒンジ側から行ってください。
・吸込グリルは確実に取付けてください。取付が不十分ですと落下する恐れがあります。
・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してください。吸込グリルが落下する恐れがあります。

⑩ パネルの設定

＜ルーバの動作範囲設定（フリーフロー設定）＞
ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

＜エアフレックスの設定＞
エアフレックスパネルを取付、配線接続をするだけではエアフレックスは作動しません。
エアフレックスを作動させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、エレックスの設定を有効にしてください。（ワイヤードリモコンRC-DX3A、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。）
本モードで有効に設定すると運転開始時にエアフレックスが作動し、運転中は常時エアフレックスが開いています。また、停止時にエアフレックスは閉じます。各吹出口毎に有効/無効の設定が可能です。
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜人感センサの設定＞
エアフレックスパネルを取付、配線接続をするだけでは人感センサは機能しません。
人感センサを機能させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、人感センサの設定を有効にしてください。（ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。）
設定方法は34ページを参照してください。

⑵ リモコン据付

ⓐ ワイヤードリモコン（RC-DX3B）の場合

PJZ012D126

この据付説明書は、リモコン関連の据付方法・注意事項を記載しております。
室内ユニット・室外ユニット・他に付属の説明書と合わせてご覧ください。
正しく工事していただくために、工事前に、必ずこの説明書をよくお読みください。



1．安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠警告　誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意　誤った取扱をしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告	
❗	**●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。** ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
❗	**●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。** 据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
❗	**●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。** 当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
❗	**●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。** 強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
❗	**●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。** 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
❗	**●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。** 感電、故障や動作不良の原因になります。
⃠	**●改造は絶対にしない。** 感電、火災、故障の原因になります。
❗	**●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。** 修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
⃠	**●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。** 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液･特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下･腐食による感電、火災、故障の原因になります。
⃠	**●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。** 感電、火災、故障の原因になります。
⃠	**●洗濯室など水のかかる所では使用しない。** 感電、火災、故障の原因になります。
⃠	**●ぬれた手で操作しない。** 感電の原因になることがあります。

⚠警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●リモコンケーブル引込口をパテでシールする。
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。
また、水分が浸入すると画面表示不良の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●リモコンの上ケースおよび USB 端子カバーを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠注意

●リモコンを下記場所に設置しない。
(1) リモコンの変形・誤動作・故障の原因になる場合があります。
・直射日光のあたる場所。
・周囲温度が 0℃以下、40℃以上になる場所。
・取付面に凹凸のある場所。
・取付部が強度を有しない場所。
(2) リモコン内部部品へ水分が付着し、画面表示不良の原因になります。
・リモコンが結露する湿度の高い場所。
・水がかかる場所。
(3) リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合、正確な室温を検知できない場合があります。
・部屋の平均的な温度を検知できない場所。
・熱源の影響を受ける場所。
・ドアの開閉による室外空気の影響を受ける場所。
・直射日光やエアコンから吹出した風が直接当たる場所。
・壁面温度と室内温度の差が大きい場所。
(4) 室内ユニットにラクリーナパネルを使用する場合、昇降動作を確認できない場合があります。
・室内ユニットが見えない場所。

●パソコンに USB で接続する場合、専用のソフトウェアを使用する。
パソコンに他の USB 機器とリモコンを同時に接続しない。
リモコン・パソコンの誤動作・故障の原因になります。

2．部品確認

下記が付属されています。

付属品	リモコン本体、木ねじ(φ 3.5 × 16)2 本、取扱説明書・据付工事説明書

現地手配部品は、以下です。各々の据付方法に従い準備してください。

品　名	所要量	記　事
スイッチボックス 1 個用　または　2 個用(JIS C 8340)	1	壁面に直接据付ける場合は不要です。
薄鋼電線管（JIS C 8305）	必要量	
ロックナット・ブッシング (JIS C 8330)	必要量	
モール(JIS C 8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です。
パテ	適量	隙間シール用
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル(0.3mm^2×2線)	必要量	100mを超える場合は右表

延長距離が100mを超える場合リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm^{2}以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線する際は水分等が浸入しないような処置を行ってください。

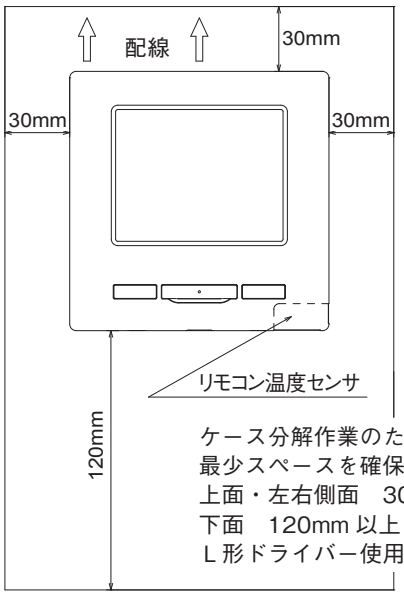
200m 以内	0.5mm^2 × 2 心
300m 以内	0.75mm^2 × 2 心
400m 以内	1.25mm^2 × 2 心
600m 以内	2.0mm^2 × 2 心

3．据付場所

図の設置スペースを確保してください。
また、据付方式は「スイッチボックスを使用」の場合、「壁面に直接据付」の場合の選択が可能です。
配線取出方向は「背面」、「上面中央」または「上面左」の場合の選択が可能です。
据付方式と配線取出場所を考慮のうえ、据付場所を決めてください。

室内ユニットにラクリーナパネルを採用される場合は、グリルの昇降が確認しやすい場所としてください。

設置スペース

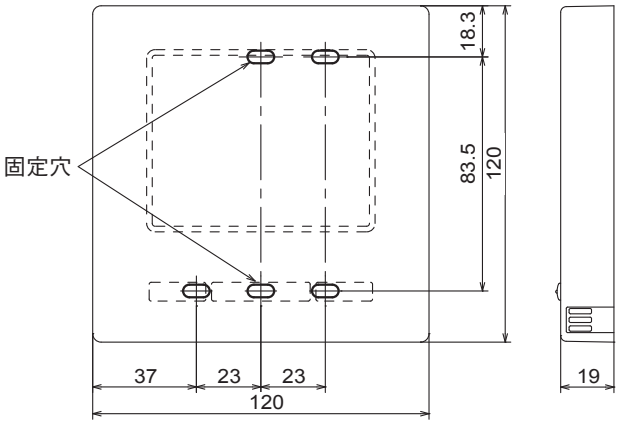


ケース分解作業のため
最少スペースを確保してください。
上面・左右側面　30mm 以上
下面　120mm 以上
L 形ドライバー使用の場合は、50mm 以上

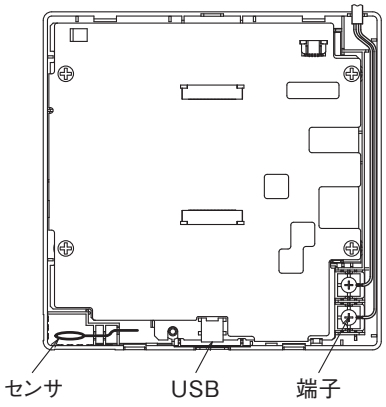
4．据付・配線工事

リモコンの据付・配線工事は下記に従って実施ください。

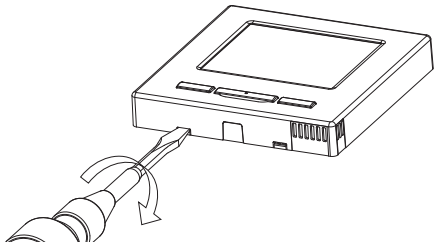
正面から見た取付寸法図



裏面から見た基板面

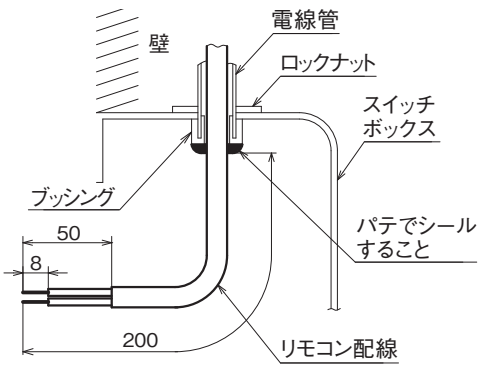


リモコンの上下ケースを組立後、再度取外す場合
・リモコン下面の凹部にマイナスドライバー等を挿込んで軽くねじって外してください。ケースを傷つけないよう、ドライバー先端にテープなどを貼ることをおすすめします。
取外した上ケースは 、水分・ゴミが付かないようにしてください。



スイッチボックスを使用する場合（配線方向「背面」の場合）

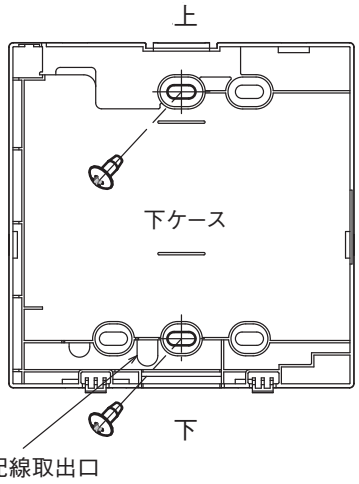
①スイッチボックスとリモコン配線をあらかじめ埋込んでおきます。
リモコン配線引込口はパテでシールしてください。



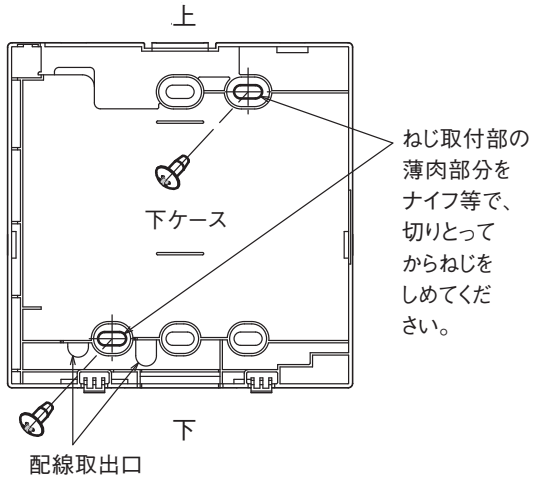
4．据付・配線工事（つづき）

②下ケースに配線を通した後、スイッチボックスに２箇所固定してください。

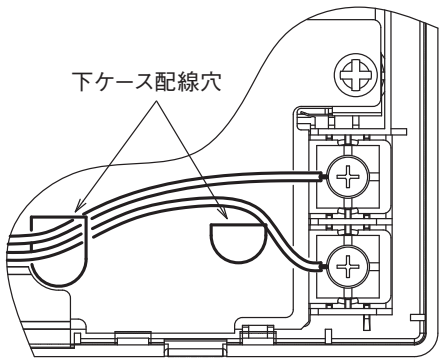
1個用
スイッチボックス
の場合



２個用
スイッチボックス
の場合

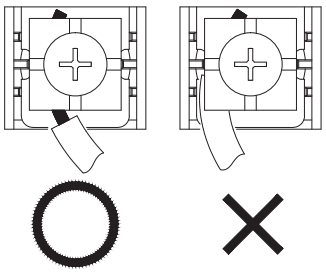


③リモコン端子 X, Y と室内ユニットの端子 X, Y を接続してください。配線 X、Y の極性はありません。リモコン上ケース端子ねじで配線を固定してください。
④リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。



配線接続時のご注意

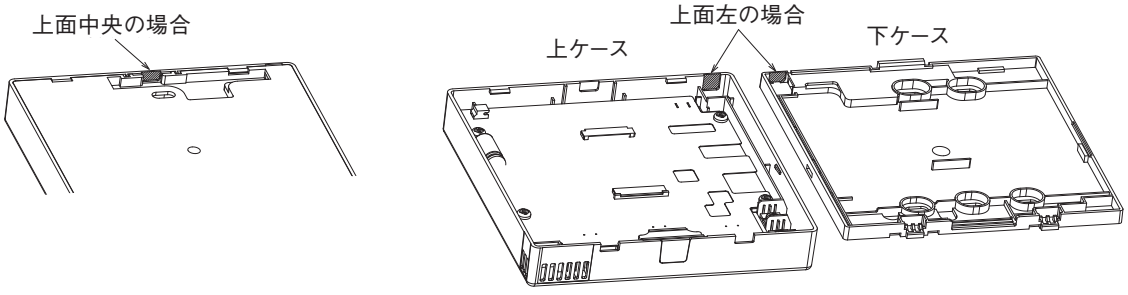
リモコンケース内を通る配線は 0.5 ㎟以下とし、シースをかみこまないように接続してください。
配線接続は、手締め（0.7N･m 以下）で行ってください。
電動ドライバーを使用すると、故障や変形の原因になることがあります。



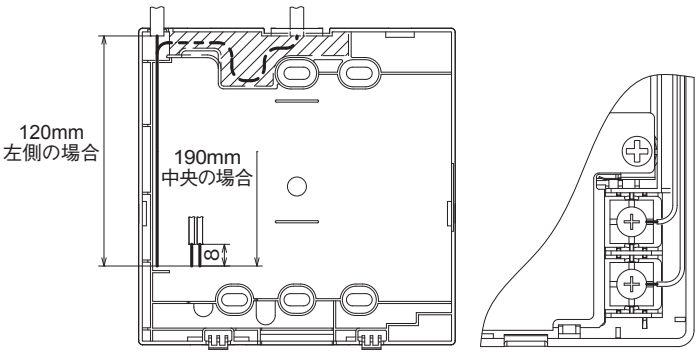
スイッチボックスを使用しない場合（配線取出「上面中央」「上面左」の場合）

①ケース薄肉部を配線太さに合わせ切取ってください。

上面中央の場合は、上下ケース分解前に切取ってください。基板内部への影響が少なく作業がやり易くなります。
上面左の場合は、基板内部への影響を与えないように切取ってください。破片が内部に残らないように注意してください。

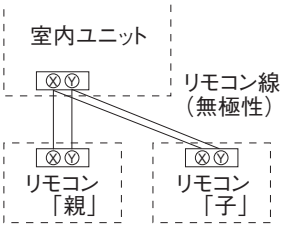


②リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で平らな面に固定してください。
③上面中央の場合はケース背面に配線を通してください。（斜線部分）
④リモコン端子 X, Y と室内ユニットの端子 X, Y を接続してください。配線 X、Y の極性はありません。リモコン上ケース端子ねじで配線を固定してください。
⑤リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。
⑥①で切り取った部分をパテでシールしてください。



5．複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台または1グループに対して最大2個までのリモコンを接続できます。
片側が親リモコン、反対側が子リモコンになります。
右表のように子リモコンは操作できる機能に制限があります。



6 項の操作で「親」「子」の設定をしてください。

○：操作可能、×：操作不可

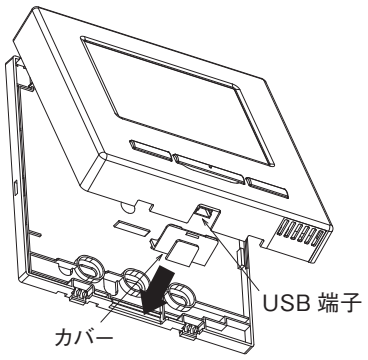
リモコン操作			親	子
運転 / 停止、設定温度切換、風向切換・オートスイング、風量切換　操作			○	○
エアフレックス ON/OFF			○	×
ハイパワー運転、省エネ運転			○	○
室外静音制御			○	×
便利機能	フリーフロー設定		○	×
	エアフレックス（風よけ）設定		○	×
	タイマー設定		○	○
	おこのみ設定		○	○
	ウィークリータイマー		○	×
	るす番運転		○	×
	換気		○	○
	言語切換設定		○	○
	室外静音制御		○	×
	見てみて		○	×
	消費電力量表示		○	×
省エネ設定			○	×
お手入れ	フィルターサインリセット		○	○
	グリル昇降		○	○※
	お掃除パネル操作		○	×
ユーザー設定	初期設定		○	○
	管理者設定	操作制限設定	○	×
		室外静音タイマー	○	×
		設定温度範囲	○	×
		温度設定刻み切換	○	×
		設定温度表示切換	○	○
		リモコン表示設定	○	○
		管理者パスワード変更	○	○
		スイッチ機能変更	○	○

※リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、子リモコンから室内ユニットの選択はできません。全台同時に昇降します。

リモコン操作				親	子
サービス設定	据付設定	据付日登録		○	×
		サービス情報入力		○	○
		試運転		○	×
		ダクト機静圧補正		○	×
		自動アドレス変更		○	×
		親室内機アドレス設定		○	×
		バックアップ制御		○	×
		人感センサー設定		○	×
		グリル昇降操作		○	○
	リモコン設定	リモコン親子設定		○	○
		吸込センサー制御		○	×
		リモコンセンサー		○	×
		リモコンセンサー補正		○	×
		運転モード選択		○	×
		温度設定単位		○	×
		ファン速度		○	×
		外部入力設定		○	×
		上下ルーバ制御		○	×
		左右ルーバ制御		○	×
		換気設定		○	×
		停電補償		○	×
		設定温度自動設定		○	×
		風量自動設定		○	×
	室内設定			○	×
	サービス・メンテナンス	エアコン No. 表示		○	○
		次回点検日		○	×
		運転データ表示		○	×
		点検表示	異常履歴表示	○	○
			異常時運転データ表示・消去	○	×
			定期点検リセット	○	○
		室内設定保存		○	×
		特殊操作	室内機アドレス消去	○	×
			CPU リセット	○	○
			初期化設定	○	×
			タッチパネル調整	○	○
		室内機容量表示		○	×
		お掃除パネル点検		○	×

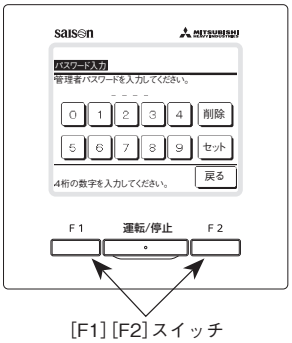
お知らせ　パソコン接続について

USB コネクタ（mini-B）を介してパソコンからの設定が可能です。
上ケース下面カバーを外して接続してください。
使用後はカバーを元の位置にはめてください。
接続には、専用のソフトが必要です。
詳細は、ホームページを参照してください。



お知らせ　パスワード初期化

管理者パスワード（日常使用する項目設定用）と
サービスパスワード（据付・試運転・メンテナンス用）があります。
○管理者パスワード初期値は、0000 です。設定変更ができます（取扱説明書参照）。
　管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で［F1］［F2］スイッチを同時に5秒長押しするとパスワードは初期化されます。
○サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。
　管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受付られます。



［F1］［F2］スイッチ

おねがい

1 つのリモコンに複数台の FDT、FDTC を接続する場合、パネルの種類をエアフレックス機能のあるパネルか、標準パネルのどちらかに統一してください。

6．電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

・親子が設定されていない場合⇒(1)

・親子が設定されている場合　⇒(2)

(1)　**親子が設定されていない場合**

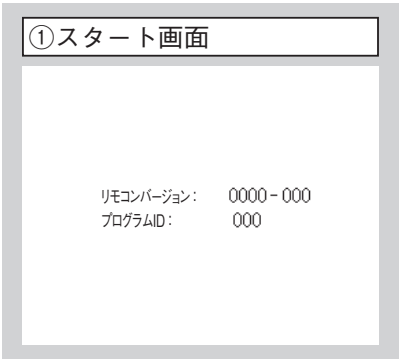
①⇒②親子入力画面を表示します。

枠で囲まれた 親 子 どちらかをタッチしてください。初期設定作業を開始します。

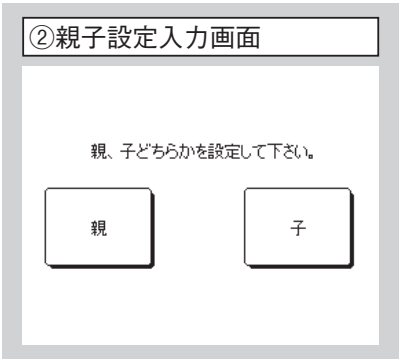
誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。(8. リモコン機能設定④)

室内ユニット1台または、1グループに、2個の eco タッチリモコンが接続されている場合、1個目を 親 で設定開始すると 2個目は自動で 子 になります。

①スタート画面



②親子設定入力画面



ご注意

リモコン1台の場合は、親 をタッチしてください。
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。

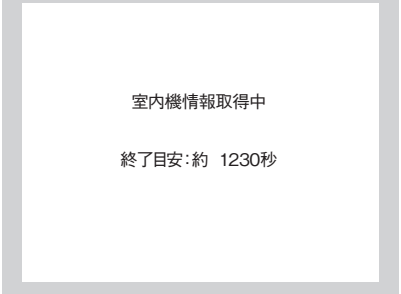
親を選択した場合　③⇒④⇒⑤の順で画面が遷移します。

子を選択した場合　①⇒⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

③室内機検索中



④室内機情報取得中



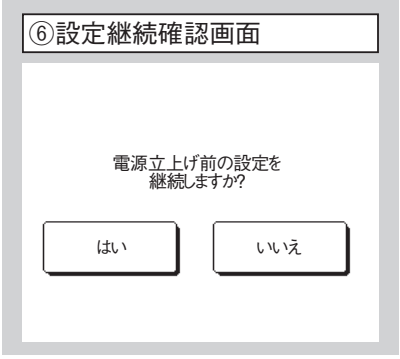
⑤ TOP 画面



通信が 10 分間確定しない場合、赤 LED が点滅します。

(2)　**リモコンの親子設定がされている場合**

⑥設定継続確認画面

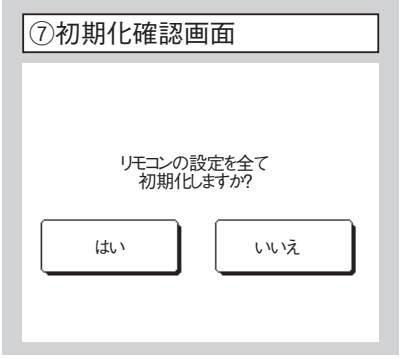


はい　⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

いいえ　⑦に画面が遷移します。

表示が 15 秒間タッチされない場合は はい 継続を認識して⑤画面に変わります。

⑦初期化確認画面

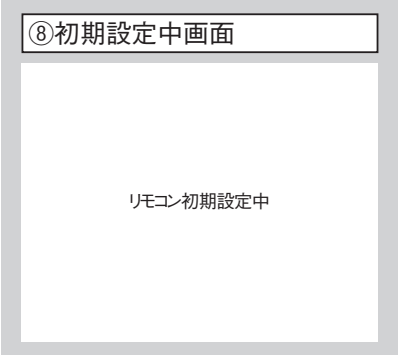


はい　①⇒②の順で画面が遷移します。

いいえ　⑥に画面が遷移します。

初期化すると出荷状態に戻ります。

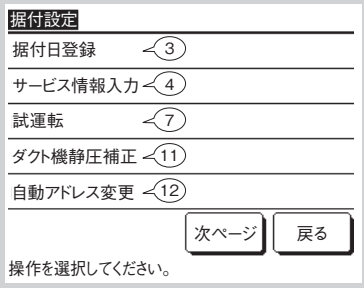
⑧初期設定中画面



7．据付設定　試運転

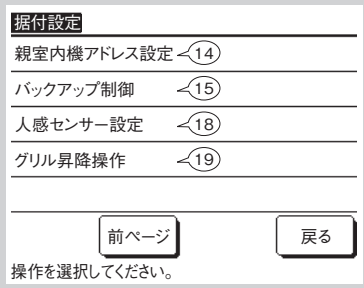
ＴＯＰ画面　メニュー　⇒　サービス設定　⇒　据付設定　⇒　サービスパスワード

①据付設定メニュー＃１



選択した画面に移ります。

②据付設定メニュー＃２



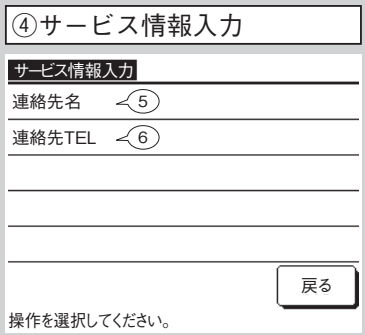
選択した画面に移ります。

③据付日登録



▲ ▼で設定してください。
セットで登録されます。

④サービス情報入力



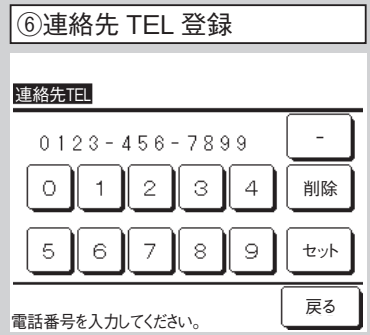
お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。

⑤連絡先名登録



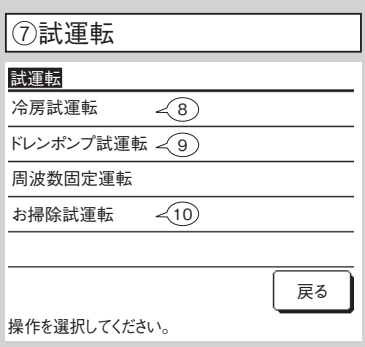
連絡先名を半角 26 文字相当以内で入力し、セットボタンをタッチしてください。数字、英字、カナ、漢字、キリル文字、中国文字での入力ができます。

⑥連絡先 TEL 登録



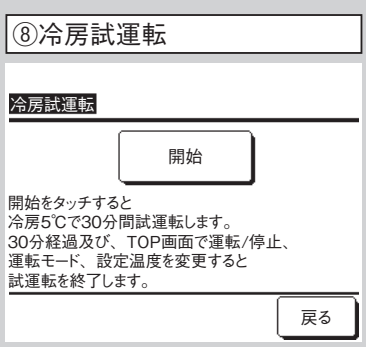
連絡先電話番号を 13 文字以内で入力し、セットボタンをタッチしてください。

⑦試運転



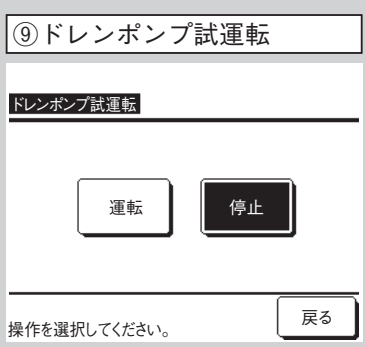
選択した画面に移ります。

⑧冷房試運転



冷房の停止中に操作可能です。室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を 30 分間 5℃に下げて運転します。

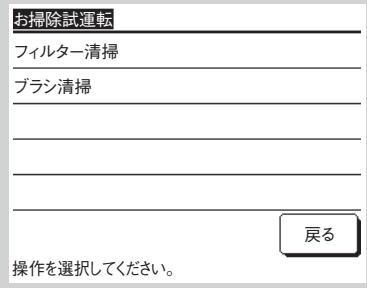
⑨ドレンポンプ試運転



ドレンポンプのみで運転が可能です。

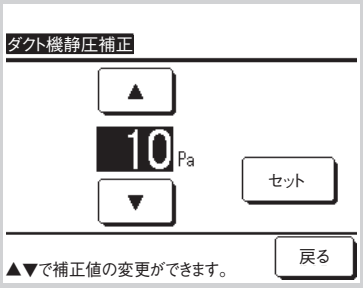
7．据付設定　試運転（つづき）

⑩お掃除試運転



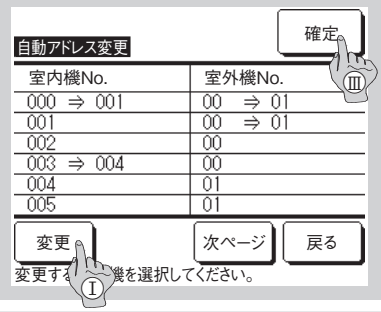
FDT お掃除パネルを組合せる場合に操作できます。
詳細は、お掃除パネルの説明書をご覧ください。

⑪ダクト機静圧補正

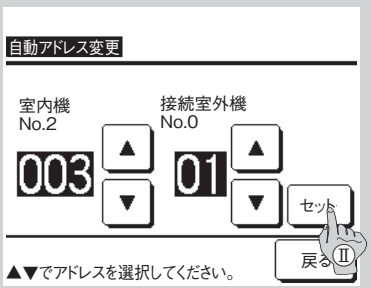


機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニットを組合せる場合に操作できます。機外静圧を選択し、セットボタンをタッチしてください。

⑫自動アドレス変更

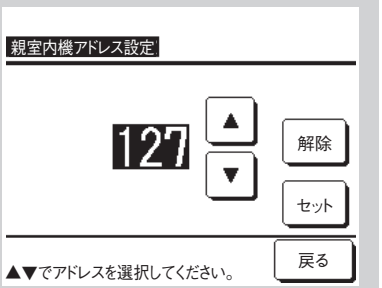


⑬自動アドレス変更



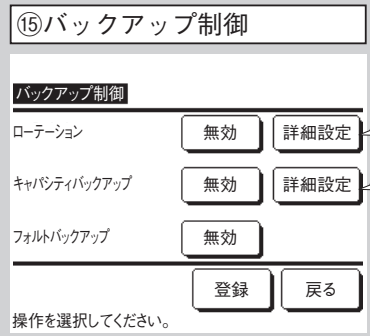
個別発停マルチシリーズで使用の際に自動アドレス設定で登録されている場合に操作できます。
室内ユニット毎の室内外アドレスを変更するための機能です。室内ユニットを選択して
① 変更 をタッチすると⑬に画面が遷移します。
Ⅱ セット をタッチすると⑫に画面が遷移し、新アドレスが表示されます。
Ⅲ 確定 をタッチすると登録されます。

⑭親室内機アドレス設定



個別発停マルチシリーズで親室内ユニットのみ、冷房 - 暖房運転モードの選択を許可します。子とする室内ユニットに対し、親室内機アドレスを設定します。親室内機アドレスが設定された子室内ユニットは、親室内ユニットの設定に追従します。

⑮バックアップ制御



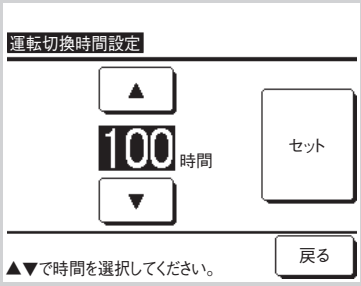
1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）が接続されている時に、以下の制御が可能です。

1. ローテーション：2 台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
2. キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を 1 台⇔2 台へ切り換えます。
3. フォルトバックアップ：室内ユニット 2 台中 1 台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう 1 台の室内ユニットが運転を開始します。

有効 / 無効 を選択し（ 無効 をタッチすると 有効 に変わります。）、 登録 ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。

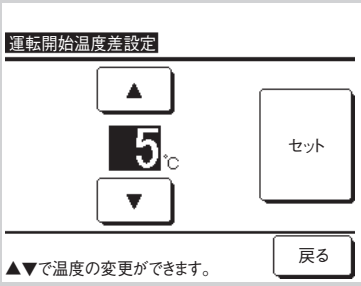
7．据付設定　試運転（つづき）

⑯ローテーション詳細設定



ローテーションの運転を切り換える時間を設定します。
1 ～ 999 時間の間で 1 時間刻みで設定可能です。
時間切換後、セットで仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って登録をタッチしてください。

⑰キャパシティバックアップ詳細設定

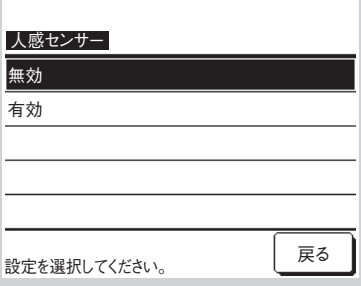


キャパシティバックアップの 1 台⇔ 2 台を切り換える設定温度と室温の温度差を設定します。
2 ～ 5℃の間で 1℃刻みで設定可能です。温度切換後、セットで仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って登録をタッチしてください。

バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切り換わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバック制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバック制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内ユニット2台（2グループ）の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内ユニットが先に運転開始します。

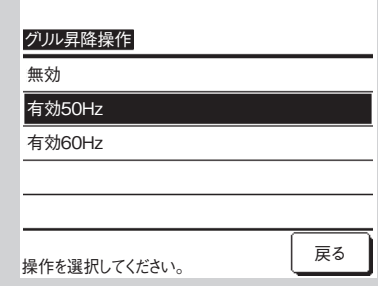
⑱人感センサー設定



リモコンに接続されている室内ユニットの赤外線センサーの 有効 / 無効 かを選択します。

・ 人感センサーを採用のお客様は上記の設定を行ってください。
人の活動量を検知させたい室内ユニットを有効にしてください。
赤外線センサー（人感センサー）設定が無効の場合には、人の活動量を検知しないため赤外線センサー制御（パワーセーブ、オートオフ）を行いません。
・ 4 形以前の室内ユニットは、赤外線センサー(人感センサー)設定を有効にできません。
赤外線センサー（人感センサー）設定をタッチとすると、「操作無効です」と表示されます。

⑲グリル昇降操作設定



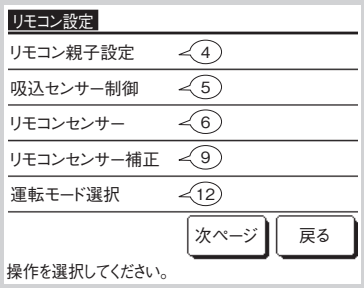
ラクリーナパネルを組合せる場合は、据付場所電源周波数をタッチしてください。

ラクリーナパネルを採用のお客様は、上記の設定を行ってください。

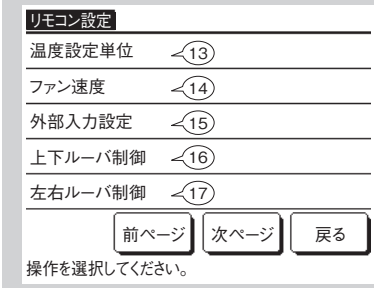
8．リモコン機能設定　お知らせ：停止中のみ操作可能

ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード]

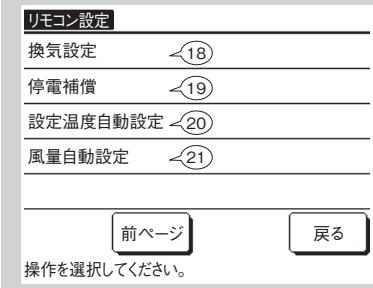
①リモコン設定メニュー＃１



②リモコン設定メニュー＃２

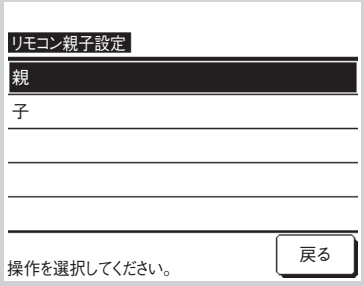


③リモコン設定メニュー＃３



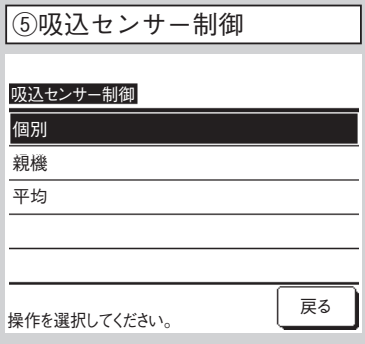
選択した画面に移ります。

④リモコン親子設定



リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

⑤吸込センサー制御

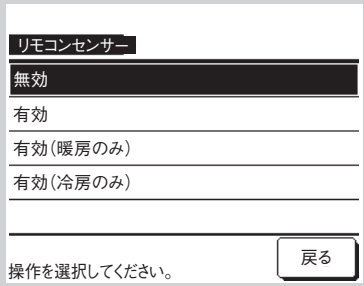


室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。
1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。

1. [個別]：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルーラル接続されている場合はプルーラル親機の吸込温度を基準とします。
2. [親機]：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。
   1 台のリモコンに、プルーラル接続が複数接続されている場合は、プルーラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
3. [平均]：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

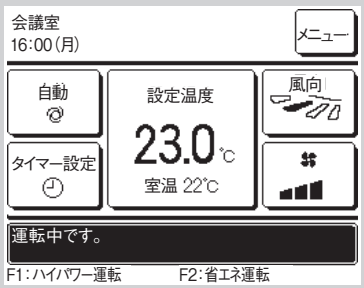
8．リモコン機能設定（つづき）

⑥リモコンセンサー



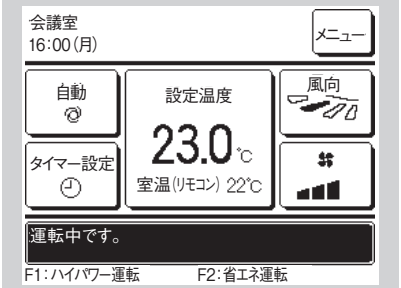
室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。
無効 室温表示は、本体側センサーになります。⇒ ⑦
有効 室温表示は、リモコン側センサーになります。⇒ ⑧
有効(暖房のみ) 室温表示は、暖房中のみリモコン側センサーになります。
有効(冷房のみ) 室温表示は、暖房以外で運転中にリモコン側センサーになります。

⑦ TOP 画面(本体側センサーの場合)



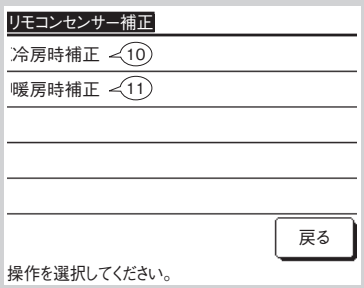
リモコンセンサー無効時は、TOP画面で“室温○℃”と表示されます。

⑧ TOP 画面(リモコン側センサーの場合)



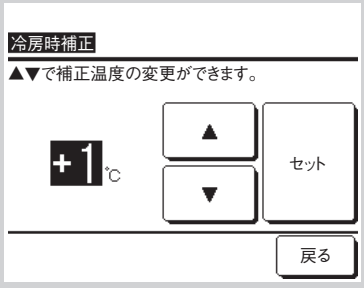
リモコンセンサー有効時は、TOP画面で“室温(リモコン）○℃”と表示されます。

⑨リモコンセンサー補正



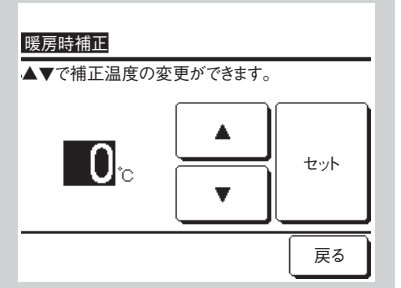
リモコンセンサー検知温度の補正ができます。
冷房時補正 ⇒ ⑩
暖房時補正 ⇒ ⑪

⑩冷房時補正



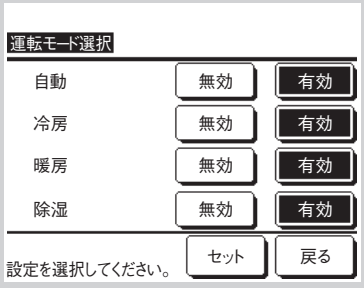
冷房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。
－３～＋３の範囲で設定します。

⑪暖房時補正



暖房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。
－３～＋３の範囲で設定します。

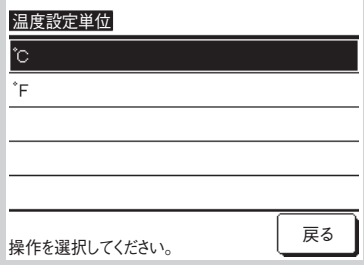
⑫運転モード選択



各運転モード毎に有効・無効を設定可能です。
冷房または暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

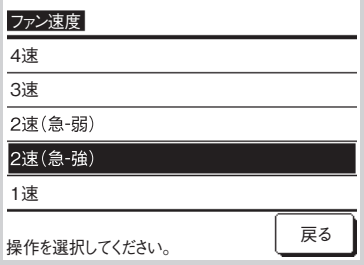
8．リモコン機能設定（つづき）

⑬温度設定単位



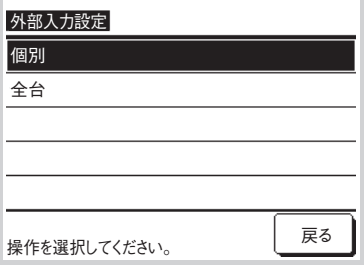
設定温度の単位を設定します。

⑭ファン速度



ファン速度選択の変更が可能です。室内ユニットにより対応できない場合があります。

⑮外部入力方式

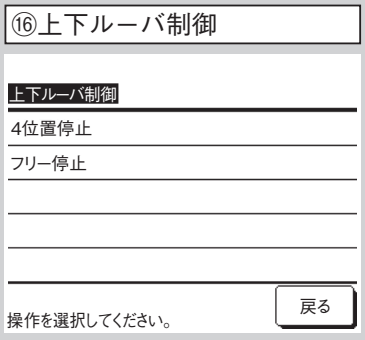


1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、運転／停止に対して CnT の入力の適用範囲を設定できます。

個別 CnT 入力された室内ユニットのみに適用されます。

全台 リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

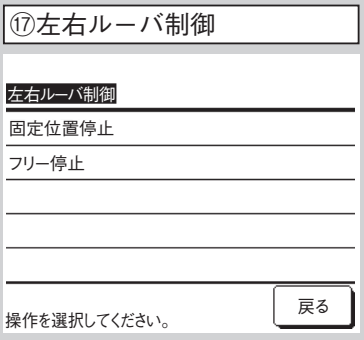
⑯上下ルーバ制御



4位置停止 上下吹出ルーバを 4 段階で設定可能。

フリー停止 リモコンＳＷ操作直後の位置に停止します。

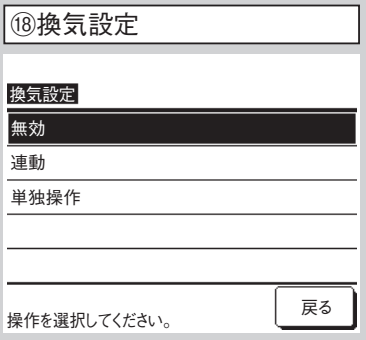
⑰左右ルーバ制御



固定位置停止 左右吹出ルーバを 8 パターンで設定可能。

フリー停止 リモコンＳＷ操作直後の位置に停止します。

⑱換気設定



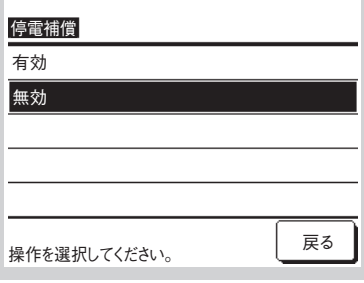
換気機器組合せの設定ができます。

無効 接続無し。

連動 エアコン運転／停止に連動し、換気出力（CnT）に出力します。

単独操作 メニューから換気を選択により換気単独で運転 / 停止出力を行います。

⑲停電補償

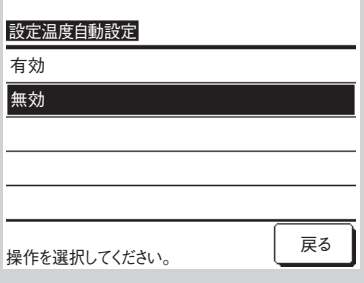


運転中に停電した場合、

有効 停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。

無効 停電復旧後、停止します。

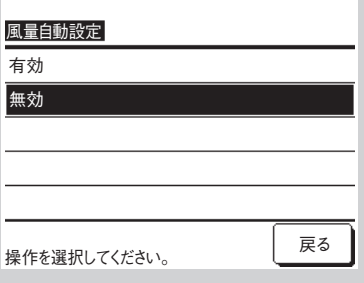
⑳設定温度自動設定



有効 室温設定画面から自動の選択が可能になります。

無効 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

㉑風量自動設定



有効 風量設定画面から自動の選択が可能になります。

無効 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

9．室内機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [室内設定] ⇒ [サービスパスワード]

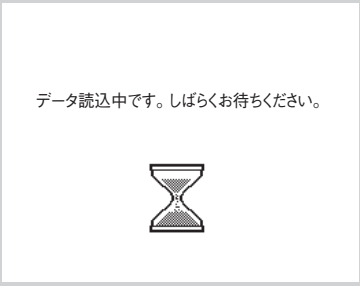
①室内機選択



②室内機選択 2



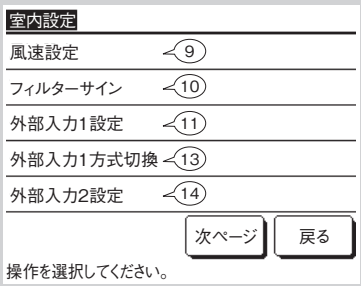
③データ読込中



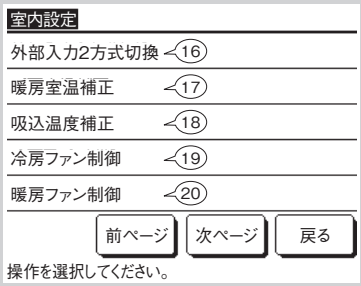
室内ユニットからデータ受信後に④に画面が切換わります

複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。
[000]～[015] 各室内ユニット毎に個別設定されます。
[全台] 全台同一設定されます。

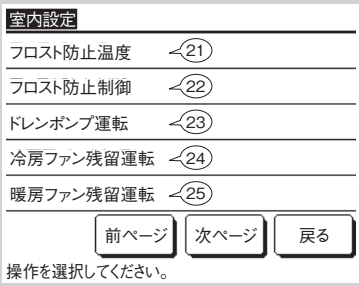
④室内設定メニュー＃１



⑤室内設定メニュー＃２

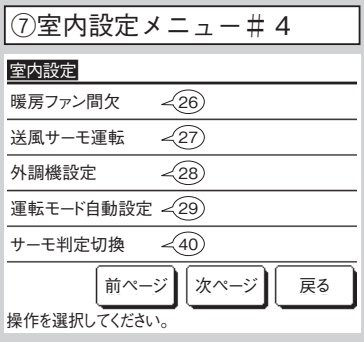


⑥室内設定メニュー＃３

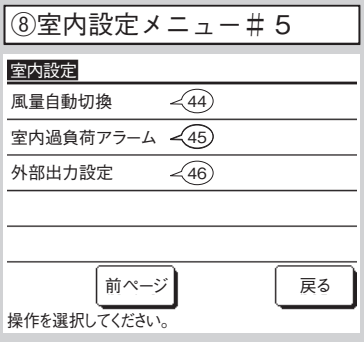


選択した画面に移ります。

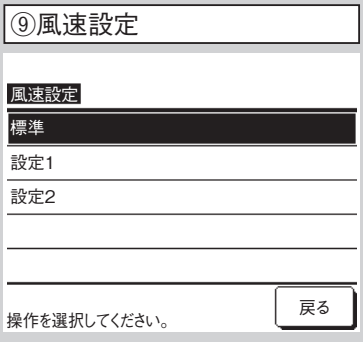
⑦室内設定メニュー＃４



⑧室内設定メニュー＃５

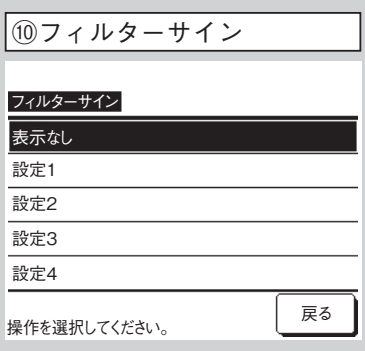


⑨風速設定



室内ユニットの風速設定を設定します。詳細は、71ページを参照ください。

⑩フィルターサイン

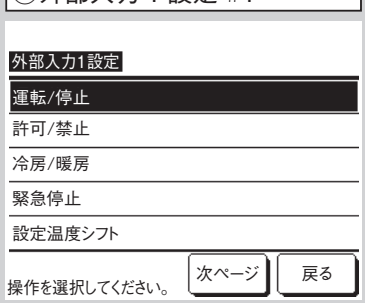


フィルターサイン点灯時間を設定します。

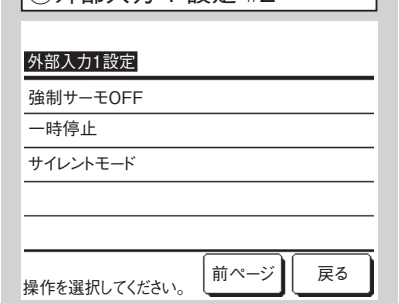
	標準	FDTお掃除
表示なし	無し	無し
設定１	180Hr	1,000Hr
設定２	600Hr	2,000Hr
設定３	1,000Hr	2,500Hr
設定４	1,000Hr後運転停止	2,500Hr後運転停止

9．室内機能設定（つづき）

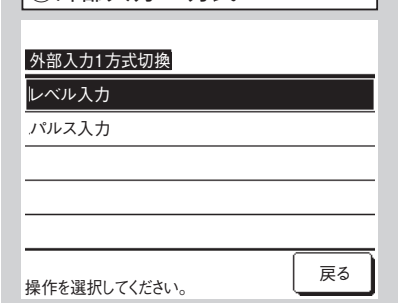
⑪外部入力 1 設定 #1



⑫外部入力 1 設定 #2



⑬外部入力 1 方式

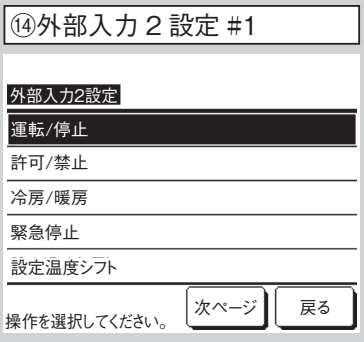


室内ユニット CnT 入力時の制御を設定します。
詳細は 、72ページを参照ください。

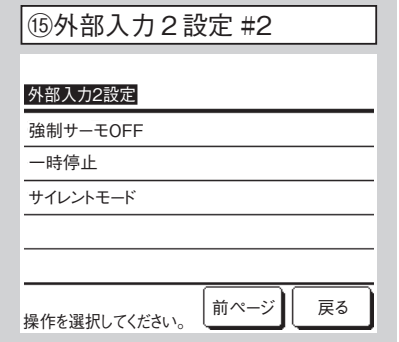
室内ユニットCnTへの入力信号方式を設定します。
詳細は 、72ページを参照ください。

外部入力 2 を装備している室内ユニットと組合せた場合に操作できます。詳細は 、72ページを参照ください。

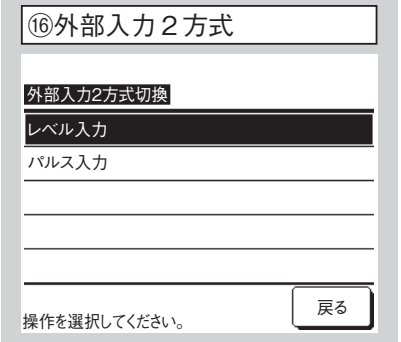
⑭外部入力 2 設定 #1



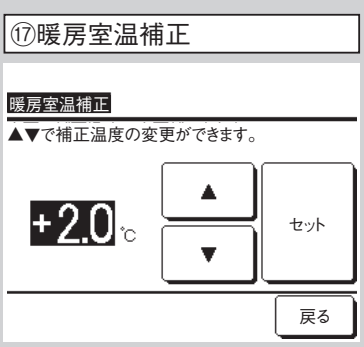
⑮外部入力 2 設定 #2



⑯外部入力 2 方式

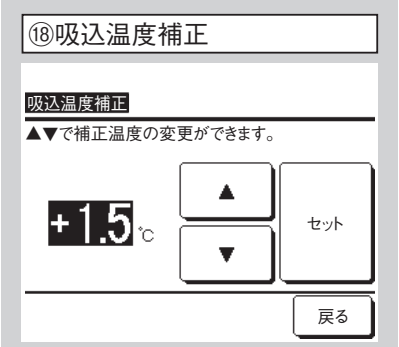


⑰暖房室温補正



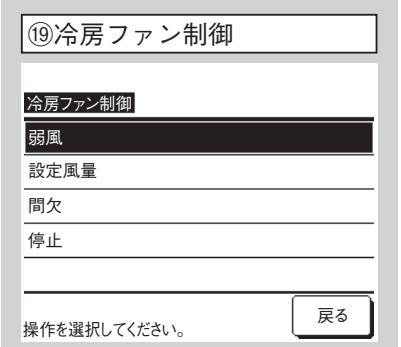
暖房サーモ判定温度を補正します。
0℃／ +1℃／ +2℃／ +3℃

⑱吸込温度補正



本体吸込センサー検知温度を補正します。
-2℃／ -1.5℃／ -1℃／ 0℃／ +1℃／ +1.5℃／ +2℃

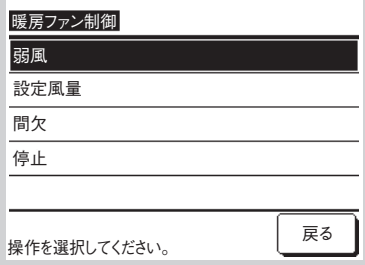
⑲冷房ファン制御



冷房サーモ OFF 中のファン速度設定
弱風　弱風運転
設定風量　サーモ ON 中と同風量
間欠　2 分Lo (ULo)運転／5 分停止
停止　停止

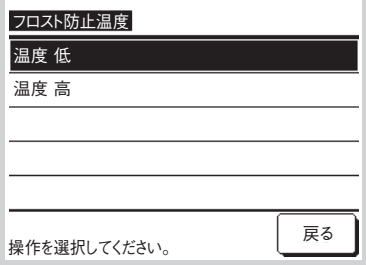
9．室内機能設定（つづき）

⑳暖房ファン制御



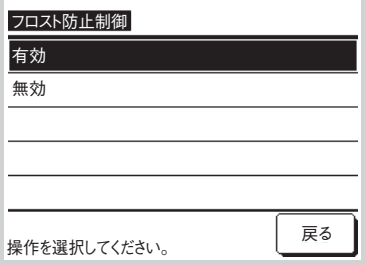
暖房サーモ OFF 中のファン速度を設定します。
弱風　弱風運転
設定風量　サーモ ON 中と同風量
間欠　2 分 Lo(ULo)運転／5 分停止
停止　停止

㉑フロスト防止温度



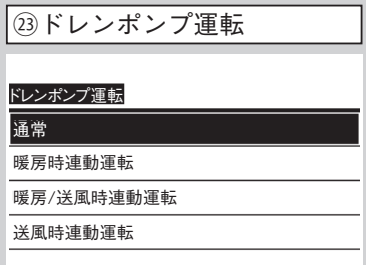
フロスト防止制御温度の切換ができます。

㉒フロスト防止制御



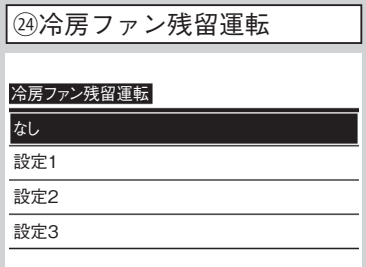
フロスト防止制御後、ファン速度が
有効　アップします。
無効　変化しません。

㉓ドレンポンプ運転



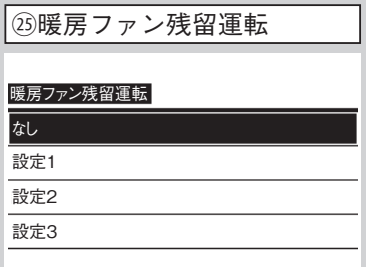
通常　冷房・除湿時に運転
暖房時連動　通常＋暖房
暖房 / 送風時連動　全運転中
送風時連動　通常＋送風

㉔冷房ファン残留運転



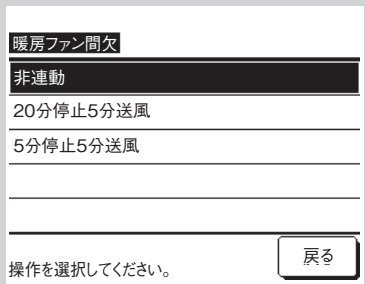
冷房運転、停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。
なし　ファン残留運転なし
設定 1　0.5 時間
設定 2　2 時間
設定 3　6 時間
※残留時間が異なる場合があります。

㉕暖房ファン残留運転



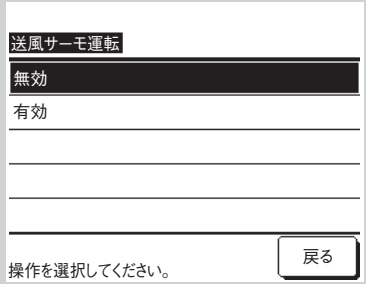
暖房運転、停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。
なし　ファン残留運転なし
設定 1　0.5 時間
設定 2　2 時間
設定 3　6 時間

㉖暖房ファン間欠



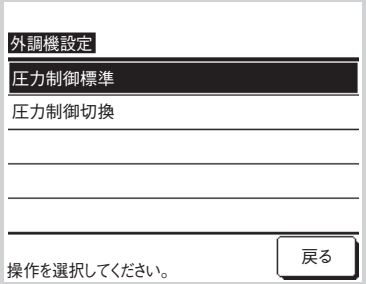
暖房運転、停止またはサーモOFF後のファン制御を設定します。
非連動　停止
20分停止 5分送風　25分毎に条件チェックして 5 分送風
5分停止 5分送風　10分毎に条件チェックして 5 分送風

㉗送風サーモ運転



サーキュレーター運転として使用する場合
無効　送風時連続運転
有効　送風時リモコンと本体の温度差を見て送風運転／停止します。

㉘外調機設定



マルチシステムにて、外調機の場合に設定します。
圧力制御標準　通常
圧力制御切換　運転中の室内ユニットが全て、この設定の場合、圧力制御値が変わります。

9．室内機能設定（つづき）

㉙運転モード自動設定

運転モード自動設定
- 自動1･2･3切換 ㉚
- 自動1関連設定 ㉛
- 自動2関連設定 ㉜
- 自動3関連設定 ㉝

戻る

操作を選択してください。

㉚自動 1･2･3 切換

自動1･2･3切換
- 自動1
- 自動2
- 自動3

戻る

操作を選択してください。

自動１　設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切換わります。

自動２　設定温度と室温の温度差及び外気温度で冷房／暖房が切換わります。

自動３　室温および外気温度で、冷房／暖房が切換わります。

運転モード自動での冷房／暖房切換方式を３方式から選択できます。
各方式の条件を設定をします。

㉛自動 1 関連設定

自動1関連設定
- 冷房切換温度 ㉞
- 暖房切換温度 ㉟

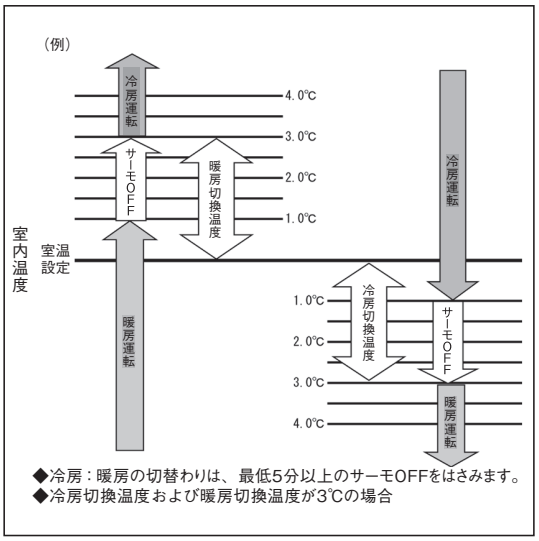
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度を設定します。
切換温度は 1 ～ 4℃の範囲で設定できます。

設定温度－冷房切換温度＜室内吸込温度の場合
⇒運転モード：冷房

設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房：暖房の切替わりは、最低5分以上のサーモOFFをはさみます。
◆冷房切換温度および暖房切換温度が3℃の場合

㉜自動 2 関連設定

自動2関連設定
- 冷房切換温度 ㉞
- 暖房切換温度 ㉟
- 冷房室外温度 ㊱
- 暖房室外温度 ㊲

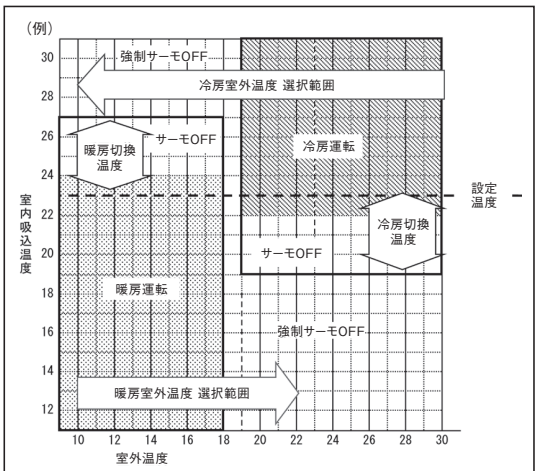
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

「設定温度－冷房切換温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

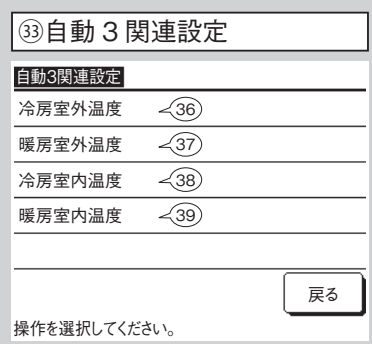
「設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房切換温度および暖房切換温度が4℃で、
冷房室外温度が19℃、暖房室外温度が18℃の場合。

9．室内機能設定（つづき）

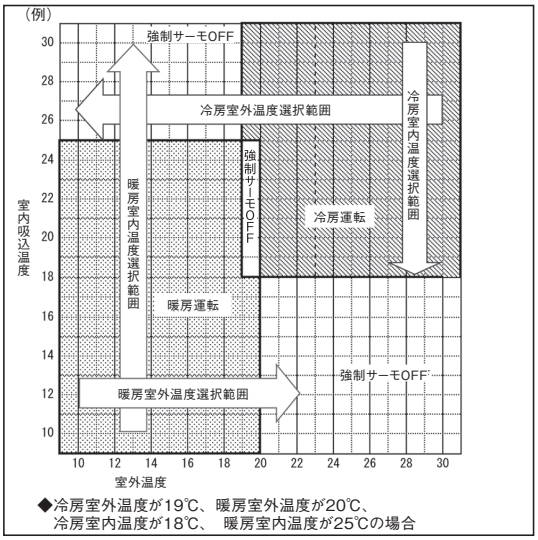
㉝自動３関連設定



冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。

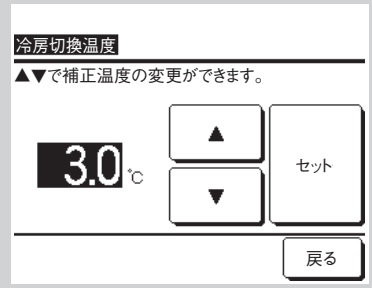
「設定した冷房室内温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

「設定した暖房室内温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房



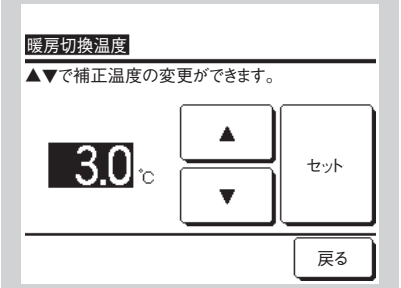
◆冷房室外温度が19℃、暖房室外温度が20℃、
冷房室内温度が18℃、 暖房室内温度が25℃の場合

㉞冷房切換温度



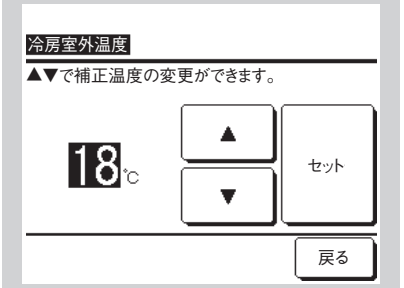
自動１、自動２で冷房切換温度を設定します。
１～４℃の範囲で設定できます。

㉟暖房切換温度



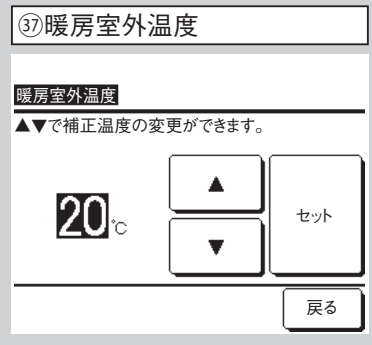
自動１、自動２で暖房切換温度を設定します。
１～４℃の範囲で設定できます。

㊱冷房室外温度



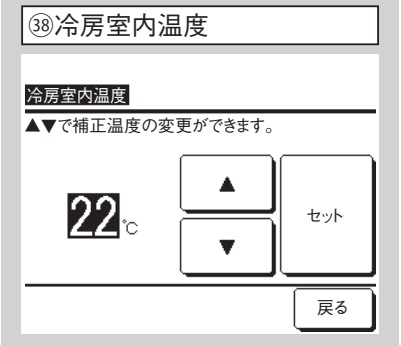
自動２、自動３で冷房室外温度を設定します。
10～30℃の範囲で設定できます。

㊲暖房室外温度



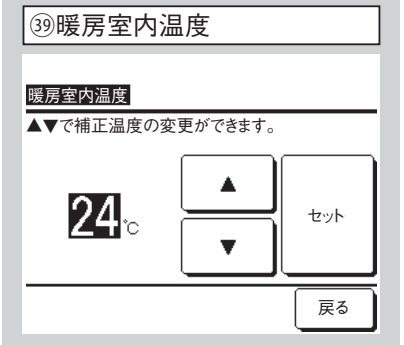
自動２、自動３で暖房室外温度を設定します。
10～22℃の範囲で設定できます。

㊳冷房室内温度



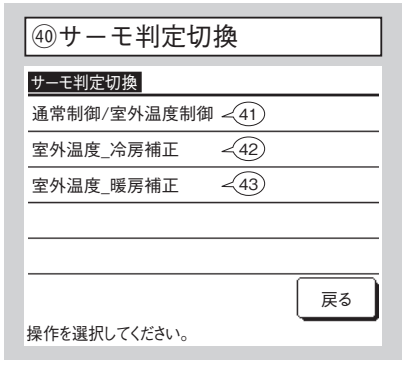
自動３で冷房室内温度を設定します。
18～30℃の範囲で設定できます。

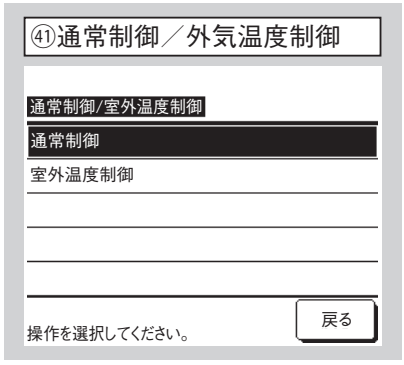
㊴暖房室内温度



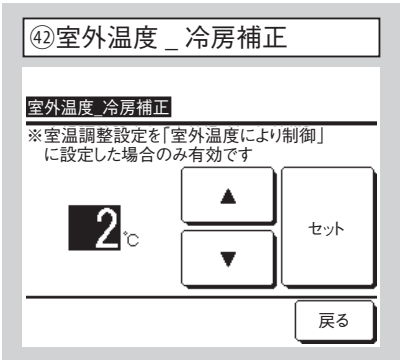
自動３で暖房室内温度を設定します。
10～30℃の範囲で設定できます。

9．室内機能設定（つづき）



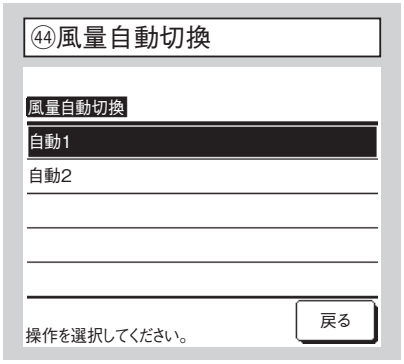


室温制御、サーモ ON ／ OFF 切換方式・条件を設定します。
通常制御　室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。
室外温度制御　室外温度±補正値と室内温度でサーモ判定します。
室温設定は無効となります。

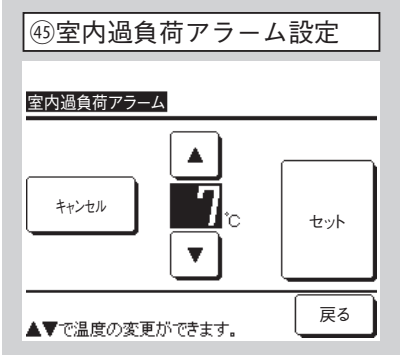




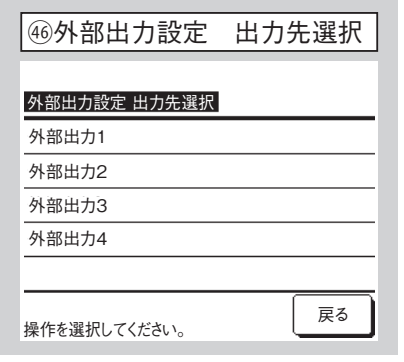
室外温度と冷房／暖房補正値によりサーモ判定します。
(a) 室外温度 _ 冷房補正：冷房中にサーモ判定します。
室内温度＞（室外温度－冷房補正値）でサーモ ON します。
冷房補正値は 0 ～ 10℃で設定できます。
(b) 室外温度 _ 暖房補正：暖房中にサーモ判定します。
室内温度＜（室外温度＋暖房補正値）でサーモ ON します。
暖房補正値は 0 ～ 5℃で設定できます。

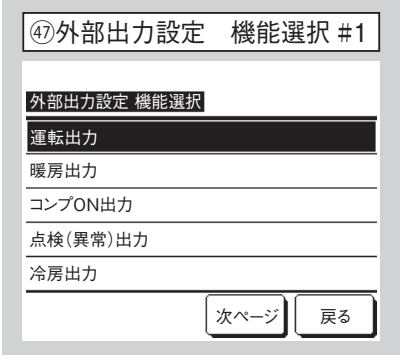


風量自動の切換範囲を設定
自動 1　急⇔強⇔弱
自動 2　P 急⇔急⇔強⇔弱



運転開始 30分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CnT-5）から過負荷アラーム信号を送信します。

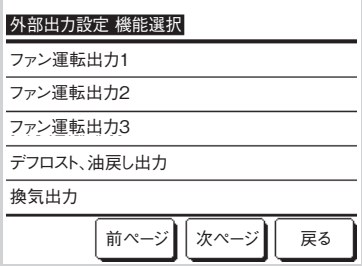




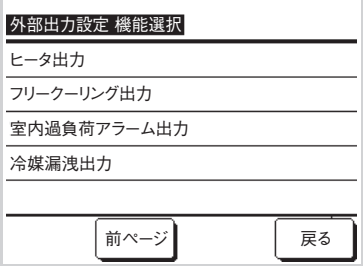
変更する出力先を選択後、選択した出力に割当てる機能を選択します。
各出力のコネクターと初期設定は下記です。
外部出力 1　CnT -2　運転出力
外部出力 2　CnT -3　暖房出力
外部出力 3　CnT -4　コンプ ON 出力
外部出力 4　CnT -5　点検（異常）出力
詳細は72ページを参照願います。

9．室内機能設定（つづき）

㊽外部出力設定　機能選択 #2



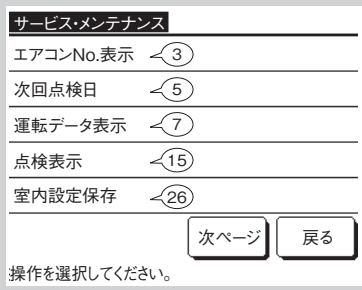
㊾外部出力設定　機能選択 #3



10. サービス・メンテ方法

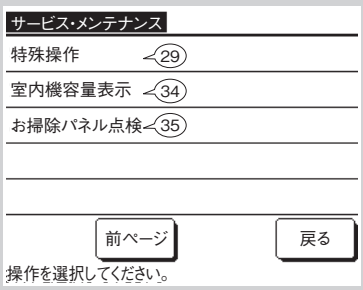
ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード]

①サービス・メンテナンス　メニュー



選択した画面に移ります。

②サービス・メンテナンス　メニュー



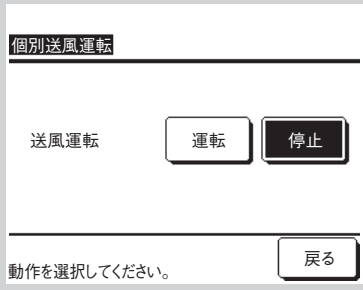
選択した画面に移ります。

③エアコン No. 表示



８台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。室内ユニット選択後[個別送風]ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。⇒④

④個別送風運転

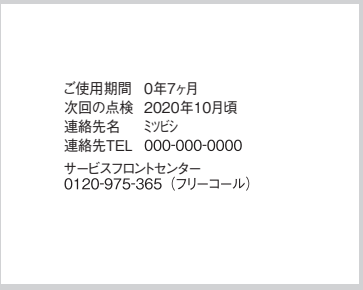


[運転] 送風運転開始。
[停止] 送風運転停止。

⑤次回点検日



⑥点検メッセージ

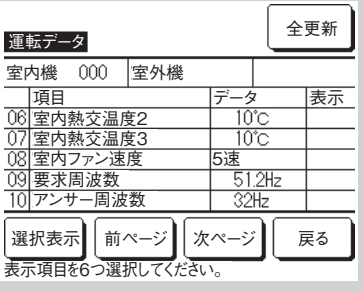


次回点検日を入力すると、点検月の運転開始／停止時にメッセージが表示されます。
表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。
[設定なし]をタッチするとメッセージは表示されません。

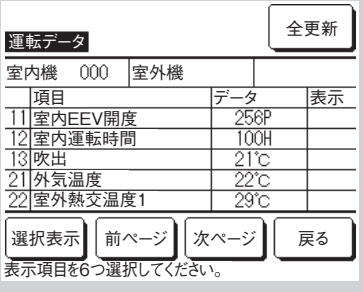
⑦運転データ画面 #1



⑧運転データ画面 #2



⑨運転データ画面 #3



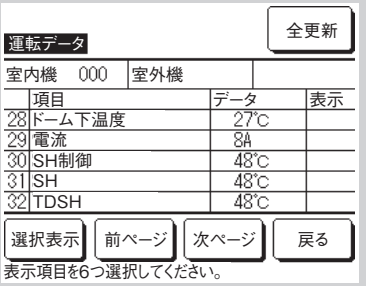
運転データが表示されます。[全更新]タッチで全データが更新されます。
データを自動更新させて表示したい場合、６項目まで選択できます。６項目選択後、[選択表示]ボタンをタッチすると⑭の画面に変わります。

10. サービス・メンテ方法（つづき）

⑩運転データ画面 #4



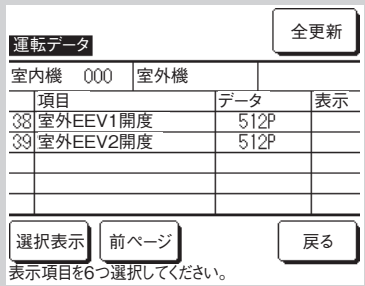
⑪運転データ画面 #5



⑫運転データ画面 #6



⑬運転データ画面 #7

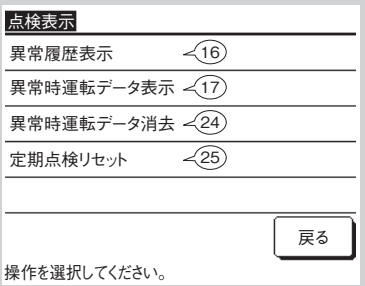


⑭運転データ個別表示画面

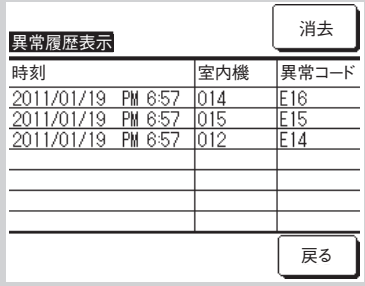


選択した６つの項目を自動更新して表示します。

⑮点検表示



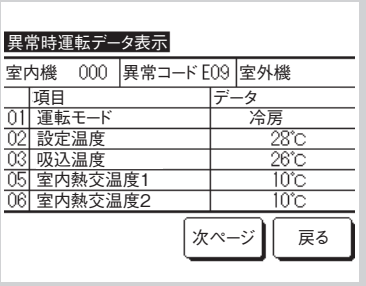
⑯異常履歴表示（例）



異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。

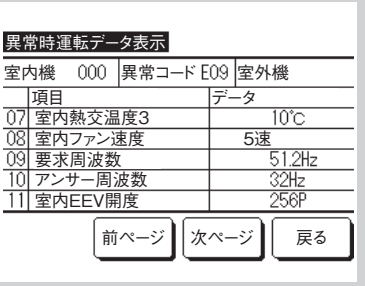
消去 ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

⑰異常時運転データ表示 #1



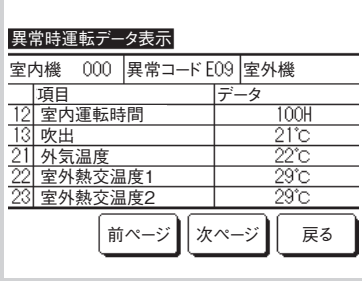
異常発生直前の運転データが表示されます。

⑱異常時運転データ表示 #2

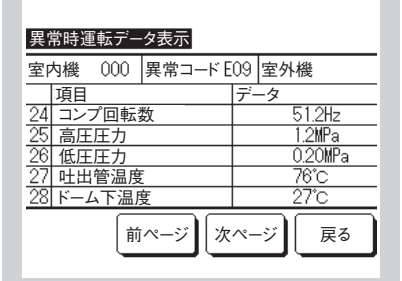


10. サービス・メンテ方法（つづき）

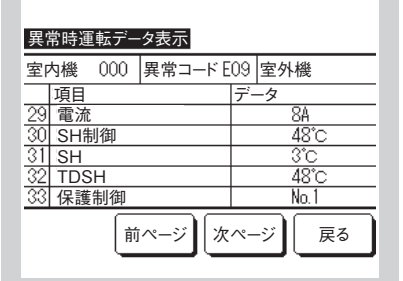
⑲異常時運転データ表示 #3



⑳異常時運転データ表示 #4

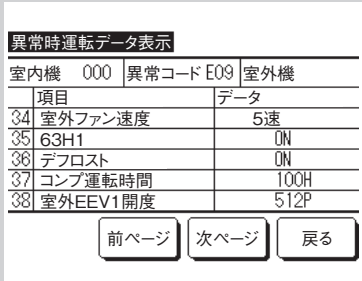


㉑異常時運転データ表示 #5

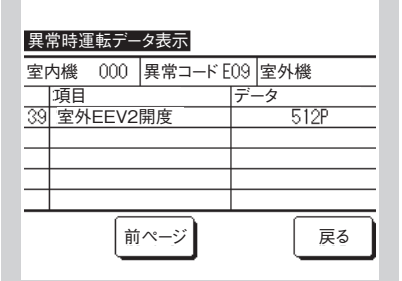


異常発生直前の運転データが表示されます。

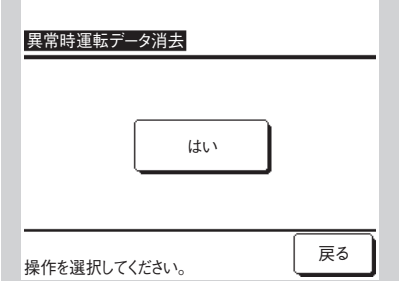
㉒異常時運転データ表示 #6



㉓異常時運転データ表示 #7

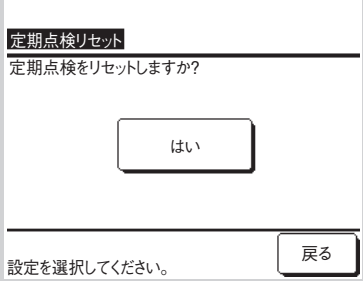


㉔異常時運転データ消去



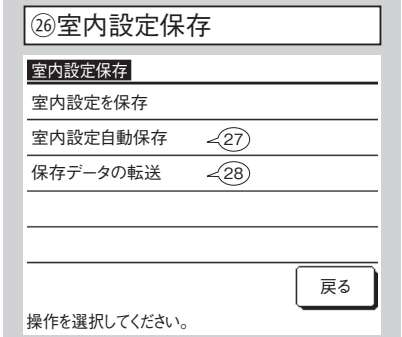
異常時運転データが消去されます。

㉕定期点検リセット



定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

㉖室内設定保存

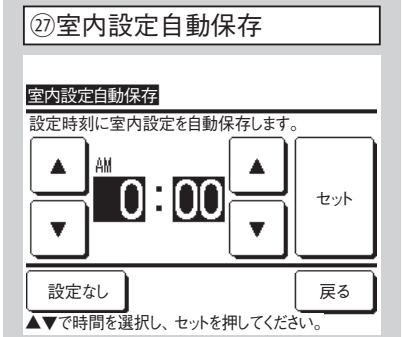


室内設定を保存 リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。

室内設定自動保存 毎日の自動保存時刻を設定します。

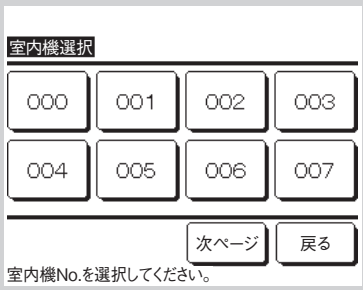
保存データの転送 リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

㉗室内設定自動保存



毎日の自動保存時刻を設定します。
設定なし を選択すると、自動保存は行いません。

㉘保存データの転送

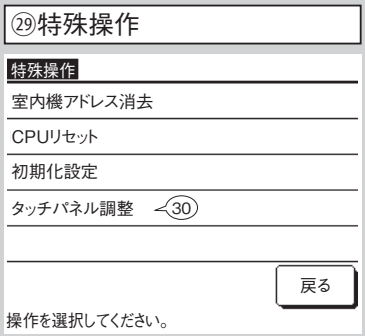


転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

お知らせ

室内ユニット基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？
リモコンに室内機設定を保存しておくと、[保存データの転送] により、保存されたデータが室内ユニットに書込まれます。

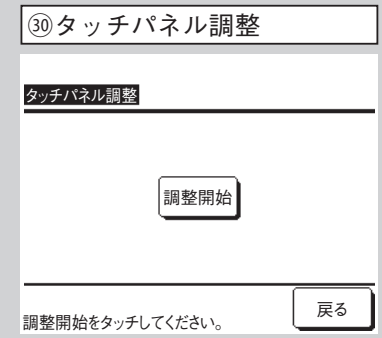
㉙特殊操作



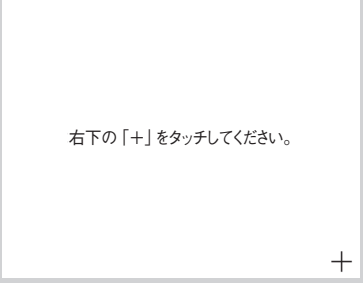
選択した画面に移ります。

室内機アドレス消去　マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。
CPU リセット　接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。
初期化設定　接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。
タッチパネル調整　表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

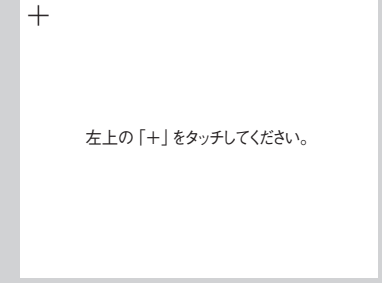
㉚タッチパネル調整



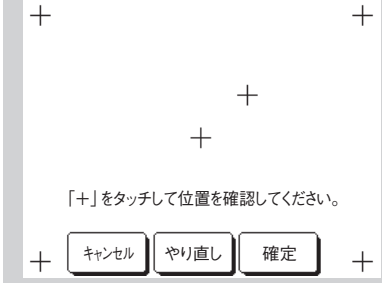
㉛タッチパネル調整画面＃1



㉜タッチパネル調整画面＃2



㉝タッチパネル調整画面＃3



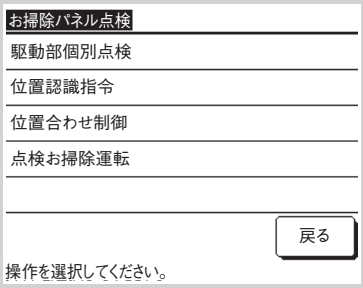
表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。
画面の指示にそって、[+] マーク中心をタッチしてください。
確定 で終了します。

㉞室内機容量表示



リモコンに接続されている室内ユニットの容量を表示します。
7 台以上接続の場合は、次ページ 以降に表示がでます。
室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

㉟お掃除パネル点検



FDT お掃除パネルを組合せる場合に操作できます。詳細は、お掃除パネル説明書を参照ください。

(b) RC-D4G リモコンの場合

(i) 取付場所の選定

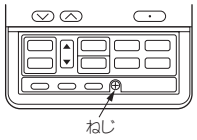
リモコンを下記の場所に設置しないでください。
(リモコンの故障や変形の原因になることがあります。)

1) 直射日光の当たる場所
2) 発熱器具の近く
3) 湿気の多い所･水の掛かる所
4) 取付面が発熱･結露する場所
5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
6) 取付面に凹凸がある所

(ii) 取付要領

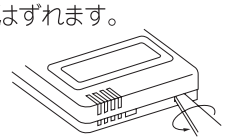
1) 露出取付の場合

a) リモコンの蓋を開け，スイッチ下部のねじを必ず外してください。

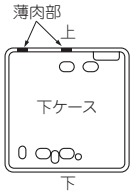


b) リモコンの上ケースをはずしてください。

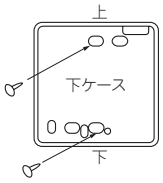
●リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじると，容易にはずれます。



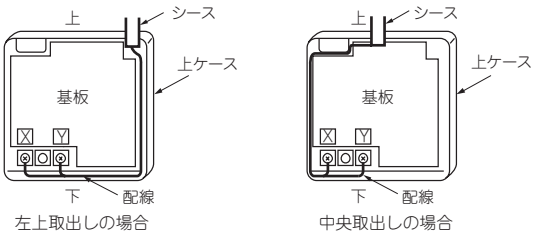
c) リモコンコードの取出方向は，上部左上または，中央から可能です。
リモコン下ケースの上方の薄肉部をニッパー･ナイフ等で切取った後，ヤスリ等でバリを取ってください。



d) リモコンの下ケースを付属の木ねじ2本で平らな壁に取付けます。

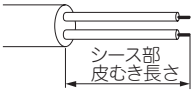


e) リモコンコードを端子台に接続してください。リモコンの端子(X,Y)と室内ユニットの端子(X,Y)とを接続してください。(X,Yの極性はありません。)
取出方向によって，配線経路は下図の通りとなります。



●リモコン内部のリモコンコードは，0.3mm²(推奨)～最大0.5mm²以下としてください。また，リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。
各配線の皮むき長さは 下記の通りです。

左上取出の場合	中央取出の場合
X配線：215mm	X配線：170mm
Y配線：195mm	Y配線：190mm

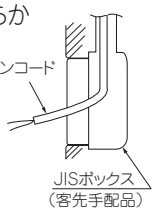


f) リモコンコードが噛みこまないように，上ケースを元通り取付，外したねじで固定してください。

g) 露出取付けの場合は，リモコンコードがたるまないようにコードクランプ等で壁面に固定します。

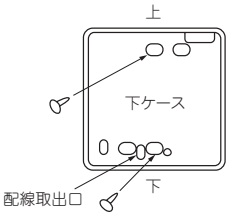
2) 埋込取付の場合

a) JISボックスとリモコンコードをあらかじめ埋込んでおきます。
［使用可能なJISボックス］
JIS C 8340 1個用スイッチボックス
2個用スイッチボックス

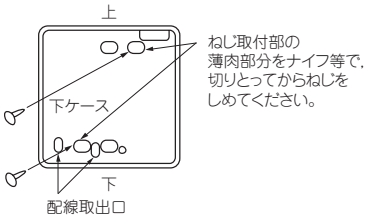


b) M4ねじ2本(推奨長さ12～16mm)を用意して，下ケースをJISボックスに取付けてください。

1個用スイッチボックスの場合

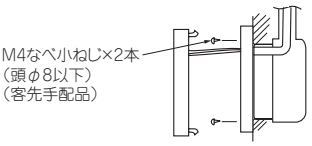


2個用スイッチボックスの場合



c) リモコンコードを端子台に接続してください。リモコンの端子(X,Y)と室内ユニットの端子(X,Y)とを接続してください。(X,Yの極性はありません。)
取出方向およびリモコン内部配線については，露出取付の項をご覧ください。

d) リモコンコードが噛みこまないように，上ケースを元通り取付，外したねじで固定してください。



リモコンコードを延長する場合の注意

最大総延長600m

●リモコンコードは0.3mm²×2心です。
延長距離が100mを超える場合は，下記サイズに変更してください。ただし，リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし，リモコン外部の近傍で配線接続により，サイズ変更してください。配線接続する際は,水分等が浸入しないような処置を行ってください。また，配線の接続は，接触不良のないように確実に行ってください。

100～200m以内……0.5mm²×2心
300m以内……0.75mm²×2心
400m以内……1.25mm²×2心
600m以内……2.0mm²×2心

(iii) 機能設定

(a) 室内ユニットの機能や用途に合わせ，リモコンより機能設定をすることができます。
リモコンより設定可能な項目は下記の通りです。
「○」印の設定内容が工場出荷時の設定です。
「※」印の項目は接続する室内ユニットおよび室外ユニットにより工場出荷時に自動設定されます。

(b) 機能設定のながれ
開始：エアコン停止状態で セット ＋ 運転切換 ボタンを同時に3秒押します。
確定： セット ボタンを押します。
戻る： リセット ボタンを押します。
選択： ▲ ▼ ボタンを押します。
終了： 運転／停止 ボタンを押します。

注(1) 設定の途中でも終了しますが，設定が完了していない場合は無効になります。

①【リモコン機能】

機能番号A	機能内容B	設定内容C	出荷時設定	
01	グリル昇降設定	昇降無効	○	
		有効50Hz地区		←50Hz地区で使用の場合。
		有効60Hz地区		←60Hz地区で使用の場合。
02	自動運転設定	自動運転有効	※	
		自動運転無効		←自動運転不可
03	温度設定	温度設定有効	○	
		温度設定禁止		←温度設定ボタンの操作禁止
04	運転切換	運転切換有効	○	
		運転切換禁止		←運転切ボタンの操作禁止
05	運転／停止	運転／停止有効	○	
		運転／停止禁止		←運転／停止ボタンの操作禁止
06	風量切換	風量切換有効	※	
		風量切換禁止		←風量調整ボタンの操作禁止
07	風向切換	風向切換有効	※	
		風向切換禁止		←風向調整ボタンの操作禁止
08	タイマー	タイマー有効	○	
		タイマー禁止		←タイマー操作禁止
09	リモコンセンサ設定	リモコンセンサ無効	○	
		リモコンセンサ有効		
		リモコンセンサ+3.0℃		←リモコンセンサ有効かつ+3.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ+2.0℃		←リモコンセンサ有効かつ+2.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ+1.0℃		←リモコンセンサ有効かつ+1.0℃温度補正する。
		リモコンセンサー1.0℃		←リモコンセンサ有効かつ−1.0℃温度補正する。
		リモコンセンサー2.0℃		←リモコンセンサ有効かつ−2.0℃温度補正する。
		リモコンセンサー3.0℃		←リモコンセンサ有効かつ−3.0℃温度補正する。
10	停電補償設定	停電補償無効	○	
		停電補償有効		
11	換気設定	換気なし	○	
		換気連動		←室内基板CNDに換気機器を接続すると,室内ユニットの運転に連動し,換気機器の運転／停止を行います。
		換気連動なし		←室内基板CNDに換気機器を接続すると,換気ボタンの操作により,換気機器が単独で運転／停止を行います。
12	温度範囲設定	表示変更有り	○	←温度設定範囲を変更した場合,設定温度表示は制御に追従し変化ます。
		表示変更無し		←温度設定範囲を変更した場合,設定温度表示は制御に追従せず，設定した温度のままとなります。
13	室内ファン	3速HI-ME-LO	※	←ファン風量が,急-強-弱の3速,またはP急-急-強-弱の4速となります。
		2速HI-LO		←ファン風量が,急-弱の2速となります。
		2速HI-ME		←ファン風量が,急-強の2速となります。
		1速		←ファン風量が1速のみで固定されます。
14	ルーバ制御設定	ルーバ4位置停止	※	←ルーバの停止位置は,4位置より選択します。
		ルーバフリー停止		←ルーバの停止位置は,任意の位置に停止します。
15	冷専／ヒーポン	ヒーポン	※	
		冷専		
16	外部入力設定	一台運転	○	←室内基板CnTに外部入力すると,その室内ユニットが単独で外部入力に従い運転します。
		全台同一運転		←室内CnTに外部入力すると,同一リモコンネットワークの全台が,外部入力に従い運転します。
17	室温表示設定	室温表示無し	○	
		室温表示有り		←通常の運転表示において,風量表示の代わりに室温を表示します。
18	暖房準備表示	表示有り	○	
		表示無し		←暖房準備表示を出さないようにします。

注(1) ルーバ制御設定を変更する場合は,②室内機能04番「ルーバ制御設定」も変更してください。

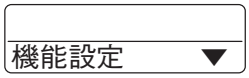
②【室内機能】

機能番号 A	機能内容 B	設定内容 C	出荷時設定	
02	高天井設定	標準	※	←機種によって,初期設定が高天井設定の機種もあります。
		高天井1		
		高天井2		
03	フィルターサイン設定	表示なし		
		設定1	○	←180時間でフィルタサインを表示します。
		設定2		←600時間でフィルタサインを表示します。
		設定3		←1000時間でフィルタサインを表示します。
		設定4		←1000時間でフィルタサインを表示し,その後24時間経過したら強制停止します。
04	ルーバ制御設定	ルーバ4位置停止	※	←ルーバの停止位置は,4位置より選択します。
		ルーバフリー停止		←ルーバの停止位置は,任意の位置で停止します。
05	外部入力切換	レベル入力	○	
		パルス入力		
06	運転許可／禁止	無効	○	
		有効		←運転許可／禁止制御を有効にします。
07	緊急停止	無効	○	
		有効		←同一室外ユニットに接続された全室内ユニットを緊急停止させる時に使用します。遠方発停端子「CnT-6」から停止信号が入った場合，全室内ユニットが緊急停止します。
08	暖房室温補正	補正なし	○	
		室温補正+1.0℃		←暖房時の設定温度を+1.0℃補正します。
		室温補正+2.0℃		←暖房時の設定温度を+2.0℃補正します。
		室温補正+3.0℃		←暖房時の設定温度を+3.0℃補正します。
09	吸込温度補正	吸込補正+2.0℃		←室内ユニットの吸込温度を+2.0℃補正します。
		吸込補正+1.5℃		←室内ユニットの吸込温度を+1.5℃補正します。
		吸込補正+1.0℃		←室内ユニットの吸込温度を+1.0℃補正します。
		補正なし	○	
		吸込補正−1.0℃		←室内ユニットの吸込温度を−1.0℃補正します。
		吸込補正−1.5℃		←室内ユニットの吸込温度を−1.5℃補正します。
		吸込補正−2.0℃		←室内ユニットの吸込温度を−2.0℃補正します。
10	暖房ファン制御	弱風	○	←暖房サーモOFF時,弱風で運転します。
		設定風量		←暖房サーモOFF時,設定風量で運転します。(電気集塵機を取付けた場合は「設定風量」に設定してください。)
		間欠		←暖房サーモOFF時,間欠運転します。
		停止		←暖房サーモOFF時,ファンは停止します。(リモコンセンサ有効時は,自動的に「停止」に設定されます。本体サーモの時は,設定しないでください。)
11	フロスト防止温度	温度　高		
		温度　低	○	
12	フロスト防止制御	ファン制御有効	○	←フロスト防止制御時に,室内ファンタップを上げます。
		ファン制御無効		
13	ドレンポンプ	標準	○	←冷房・除湿時ドレンポンプON
		暖房		←冷房・除湿+暖房時ドレンポンプON
		暖房　送風		←冷房・除湿+暖房+送風時ドレンポンプON
		送風		←冷房・除湿+送風時ドレンポンプON
14	冷房ファン運転	連動なし	○	←冷房停止または冷房サーモOFF後,ファン残留運転なし。
		0.5時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後,0.5時間ファン残留運転する。
		1時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後,1時間ファン残留運転する。
		6時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後,6時間ファン残留運転する。
15	暖房ファン運転	連動なし	○	←暖房停止または暖房サーモOFF後,ファン残留運転なし。
		0.5時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後,0.5時間ファン残留運転する。
		2時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後,2時間ファン残留運転する。
		6時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後,6時間ファン残留運転する。
16	暖房ファン間欠	連動なし	○	
		20休5送風		←暖房停止または暖房サーモOFF後,ファンは20分OFF5分弱風の間欠運転。
		5休5送風		←暖房停止または暖房サーモOFF後,ファンは5分OFF5分弱風の間欠運転。
17	外機制御	圧力制御標準	※	
		圧力制御切換		←吸気処理室内ユニットを接続すると,圧力制御切換に自動的に設定されます。

注(1)ルーバ制御設定を変更する場合は,①リモコン機能14番「ルーバ制御設定」も変更してください。

（c）機能設定の仕方

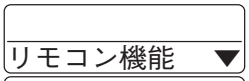
1）エアコンを停止させて，セットと運転切換ボタンを同時に長押しする。
表示が「機能設定　▼」となります。



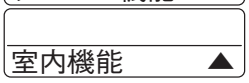
2）セットボタンを押す。

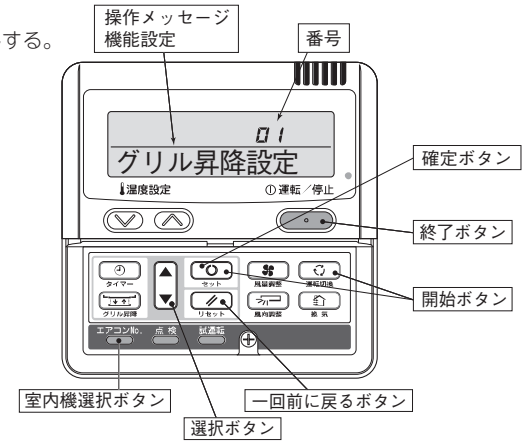
3）設定したい内容が【リモコン機能】か【室内機能】かを確認する。

4）▲または▼ボタンを押す。
【リモコン機能▼】または【室内機能▲】を選びます。



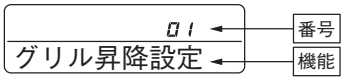
5）セットボタンを押す。





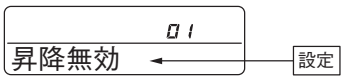
6)【リモコン機能】を選んだ場合

①「データ確認中」（約2秒間点滅表示）
↓
「01　グリル昇降設定」と表示が切換わります。

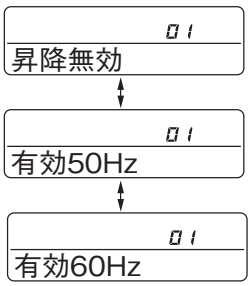


② ▲または▼ボタンを押す。
リモコン機能一覧表の「番号と機能」が順番に表示されますので，機能を選びます。

③ セットボタンを押す。
選択した機能の,現在の設定が表示されます。
（例）「昇降無効 」← 「 01　グリル昇降設定 」を選択した場合。



④ ▲または▼ボタンを押す。
設定を選びます。

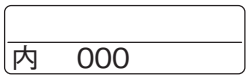


⑤ セットボタンを押す。
「設定完了」が表示され,設定が完了します。その後,「番号と機能」の表示に戻りますので，続けて設定する場合は,同じ要領で設定してください。
終了する場合は,7)へお進みください。



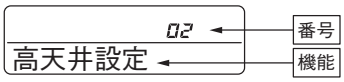
6）【室内機能】を選んだ場合

①「データ確認中」（データを読み込む間約2～23秒点滅）
↓
「01　お掃除自動」と表示が切換わります。
②へお進みください。
〈注意〉
（1）室内ユニットをリモコンに複数台接続している場合は,下記表示となります。
「内　000」（点滅）← 接続されている室内ユニットの最も若い番号を表示。

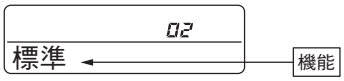


（2）▲または▼ボタンを押す。
設定したい室内ユニットの番号を選びます。
「全台▼」を選択すると,全台同一の設定ができます。
（3）セットボタンを押す。

② ▲または▼ボタンを押す。
室内機能一覧表の「番号と機能」が順番に表示されますので，機能を選びます。
（例）

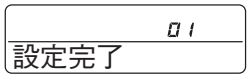


③ セットボタンを押す。
選択した機能の,現在の設定が表示されます。
（例）「標準」← 「 02　高天井設定 」を選択した場合。



④ ▲または▼ボタンを押す。設定を選びます。

⑤ セットボタンを押す。
「設定完了」が表示され,設定が完了します。その後,「番号と機能」の表示に戻りますので，続けて設定する場合は,同じ要領で設定してください。終了する場合は,7)へお進みください。



※室内ユニット複数台接続時,エアコンNo.ボタンを押すと室内ユニット選択表示(例「内　000」)に戻りますので,室内ユニットを換えて設定する場合は,同じ要領で設定してください。

7）運転／停止ボタンを押します。
設定を終了します。

·設定の途中で，運転／停止ボタンを押しても終了します。ただし,設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
·設定途中で，リセットボタンを押すと,一回前の設定画面に戻ります。
·セット内容は,コントローラ内部に記憶され停電しても保存されています。

《現在設定の確認方法》
上記操作により,「番号と機能」を選び，セットボタンを押した時に,最初に表示される「設定」が,現在設定されている内容です。
（ただし,「全台▼」を選んだ場合は,室内番号の最も若い機種の設定が表示されます。）

(d) リモコン設定温度範囲の変更

工場出荷時の設定温度範囲は，運転モードによって異なり下記のようになっています。

暖房時：18～28℃

暖房以外(冷房，送風，除湿，自動)：20～30℃

1) リモコンから，設定温度の上限および下限を設定することができます。

・上限値設定…暖房運転時に有効。20～30℃の範囲で設定可能です。

・下限値設定…暖房以外（自動，冷房，送風，除湿）時に有効。18～26℃の範囲で設定可能です。

本機能により，上限および下限を設定した場合，下記制御となります。

a) 機能設定モードの【リモコン機能】⑫温度範囲設定が〈表示変更有り〉のとき(工場出荷時設定)

〔上限値を設定すると〕

① 暖房時，リモコンから上限値より高い温度が設定された場合:
30分間設定値温度で運転し，その後自動的に上限値温度を送信します。リモコン表示もそれに付随します。

② 暖房時，上限値以下の温度が設定された場合:
設定温度を送信します。

〔下限値を設定すると〕

① 暖房以外の運転モードのとき，リモコンから下限値より低い温度が設定された場合:
30分間設定温度で運転し，その後自動的に下限値温度を送信します。リモコン表示もそれに付随します。

② 暖房以外の運転モードのとき，下限値以上の温度が設定された場合:
設定温度を送信します。

b) 機能設定モードの【リモコン機能】⑫温度範囲設定が〈表示変更無し〉のとき

〔上限値を設定すると〕

① 暖房時，リモコンから上限値より高い温度が設定された場合:
上限値を送信します。ただし，リモコン表示はそれに付随せず，設定した温度のままです。

② 暖房時，上限値以下の温度が設定された場合:
設定温度を送信します。

〔下限値を設定すると〕

① 暖房以外の運転モードのとき，リモコンから下限値より低い温度が設定された場合:
下限値を送信します。ただし，リモコン表示はそれに付随せず，設定した温度のままです。

② 暖房以外の運転モードのとき，下限値以上の温度が設定された場合:
設定温度を送信します。

2) 上限値，下限値の設定方法

a) エアコンを停止させて，[セット]と[運転切換]ボタンを同時に3秒以上押します。
表示が「機能設定▼」となります。

b) [▼]ボタンを一度押し，「温度範囲▲」表示に切換えます。

c) [セット]ボタンを押して，温度範囲設定モードに入ります。

d) [▲][▼]ボタンにより，「上限設定▼」または「下限設定▲」を選びます。

e) [セット]ボタンを押して確定します。

f)「上限設定▼」を選んだ場合（暖房時に有効となります）

① 表示:「∨∧で設定」→「上限28℃∨∧」

② 温度設定[∧][∨]ボタンにより，上限値を選びます。表示例:「上限26℃∨∧」(点滅)

③ [セット]ボタンを押して確定します。表示例:「上限26℃」(2秒間点灯)
確定した上限値を2秒間点灯後，表示は「上限設定▼」に戻ります。

g)「下限設定▲」を選んだ場合（冷房，除湿，送風時に有効となります。）

① 表示:「∨∧で設定」→「下限20℃∨∧」

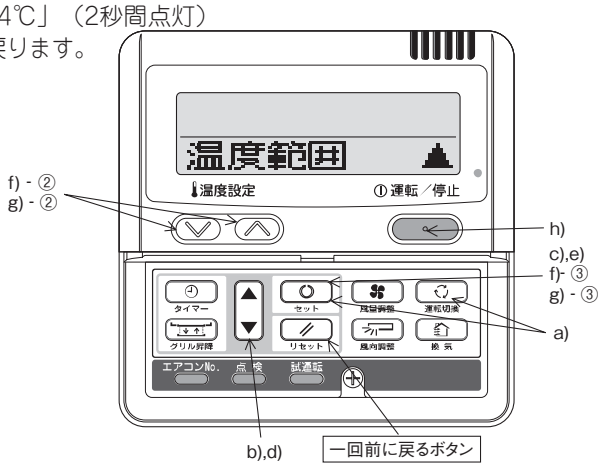
② 温度設定[∧][∨]ボタンにより，下限値を選びます。表示例:「下限24℃∨∧」(点滅)

③ [セット]ボタンを押して確定します。表示例:「下限24℃」（2秒間点灯）
確定した下限値を2秒間点灯後，表示は「下限設定▲」に戻ります。

h) [運転／停止]ボタンを押して，終了します。

·設定の途中で[運転／停止]ボタンを押しても終了します。ただし,設定が完了していない内容は無効となりますので,ご注意ください。

·設定の途中で,[リセット]ボタンを押すと,一回前の設定画面に戻ります。



(3) 電気配線工事

PSC012D086

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。

●「⚠**警告**」「⚠**注意**」の意味

⚠警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。
⚠注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗ 必ず指示に従い行う

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。

●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。

●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。

●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（[ ]は工場出荷時の設定）

スイッチNo.		制御内容
SW1		室内アドレス(10位)
SW2		室内アドレス(1位)
SW3		室外アドレス(10位)
SW4		室外アアドレス(1位)
SW5−1 (注1)	ON	旧SL通信仕様固定
	[OFF]	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW5−2		室内アドレス(100位)
SW6−1〜4		機種容量
SW7−1	ON	運転チェック・ドレンポンプ運転試
	[OFF]	通常運転

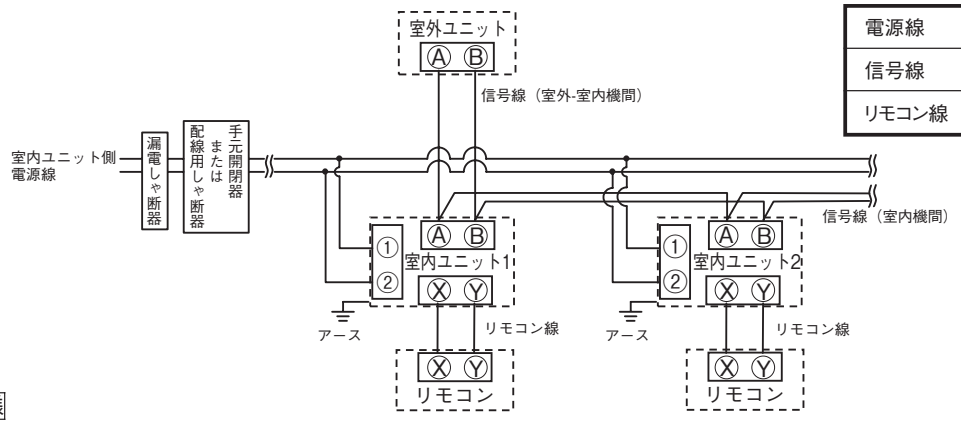
注(1) 通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。
旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
SW5-1 が OFF（工場出荷設定）の場合は，通信仕様（新 SL/ 旧 SL）を自動判別します。
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は，SW5-1 を ON にしてください。
各通信仕様の特徴，制限は室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

①電源・室内外配線の接続

●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
②電源は、室外ユニット、室内ユニット各々別電源としてください。
③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。
注：電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
④同一系統内の室内ユニットの電源は、必ず全て同時 ON、同時 OFF になるようにしてください。
●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
●電源は工事が完了するまで入れないでください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●端子台への接続は、丸型圧着端子を接続してください。
●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害は生じる恐れがあります。
●機種毎に設定された過電流および漏洩しゃ断器（感度電流 30mA）を設置してください。
●室内外の信号線は途中接続しないでください。途中接続した場合に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。（万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。）
●天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線など）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
●室内ユニットに接続する電源線は 3.5mm² まで使用可能です。5.5mm² 以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐してください。
●信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
① A-B 信号線に誤って、AC200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
②電源投入 15 分経過後リモコンからユニット No.(アドレス）が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
③焼損基板のジャンパー線 J10SL1 を切り、コネクタ CnK（黄）CnK1（白）を CnK2（黒）に差替える。
④ A-B 端子台から基板までの配線に異常があれば交換してください。
●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
●リモコン用端子台には、AC200V 電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
●ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース線に接続してください。
②電源には必ず漏洩しゃ断器を取付けて下さい。漏洩しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器（三菱電機製 NV-C シリーズまたは、その同等品）を選定してください。
③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏洩しゃ断器と直列に手元しゃ断器（開閉器＋ B 種ヒューズ）または、配線用しゃ断器が必要となります。
④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。
●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書で確認してください。

適合配線

電源線	2.0～3.5mm²
信号線	0.75～1.25mm²
リモコン線	0.3～2.0mm²



電源仕様

機種容量	漏電しゃ断器定	開閉器容量	ヒューズ	電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線
①室内ユニット電源仕様（②～④以外の機種）								
P22-P36	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm²×2	298m	0.75～1.25mm²×2	0.3mm²×2心	2.0mm²
P45,P56					275m			
P71-P90					179m			
P112-P280					123m			
②高静圧ダクト、給気処理ユニット、加湿器付外気処理ユニット								
P45-P90	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm²×2	149m	0.75～1.25mm²×2	0.3mm²×2心	2.0mm²
P112,P140					85m			
P224,P280					28m			
③床置形システムパッケージ								
P112	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm²×2	51m	0.75～1.25mm²×2	0.3mm²×2心	2.0mm²
P140,P160					34m			
P224,P280	20A 30mA 0.1sec		20A	3.5mm²×2	32m			
④全熱交換器付外気処理ユニット								
P750, P1000	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm²×2	48m	0.75～1.25mm²×2	0.3mm²×2心	2.0mm²

注（1） 配線こう長は、電圧降下２％とした場合を示します。上記の配線こう長を越える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。
（2） リモコン線の延長距離が100mを越える場合は、③リモコンの取付 に従い、配線太さ を見直してください。

冷暖フリーマルチの場合

分流コントローラの配線
●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）に付属の据付説明書をご覧ください。

②アドレス設定

アドレス設定は、（1）手動アドレス設定、（2）自動アドレス設定の２方法ができます。
自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。
設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

③リモコンの取付（別売部品）

●次の位置へ取付けないでください。
- ○直射日光の当たる所
- ○発熱器具に近い所
- ○湿気の多い所、水が飛散する所
- ○取付面が発熱・結露する所
- ○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
- ○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。

②リモコン線は、０．３mm^2×２心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は 1mm 以上のものを使用してください。（現地手配）

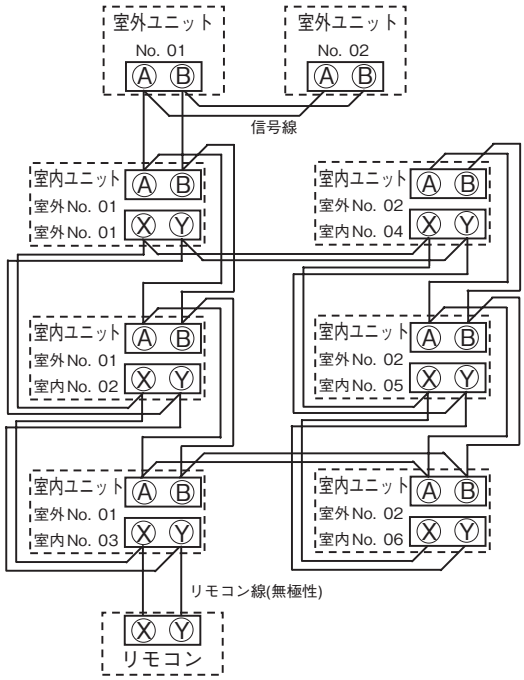
③リモコン線の総延長は６００mです。
延長距離が１００mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大０．５mm^{2}以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

１００～２００m以内・・・・・０．５mm^2×２心
３００m以内・・・・・０．７５mm^2×２心
４００m以内・・・・・１．２５mm^2×２心
６００m以内・・・・・２．０mm^2×２心

④誤動作する場合がありますので、多心ケーブルの使用は避けてください。

⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。

⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません。）



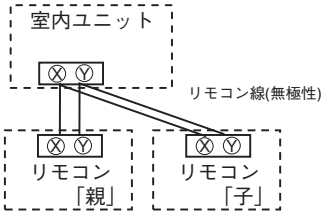
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

①１つのリモコンで複数台のユニット（最大１６台）をグループ制御できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。

②グループ制御用に各室内ユニット間を２心のリモコン線にて渡り配線してください。

③室内・室外Ｎｏ．を手動アドレス設定にてセットしてください。
- ○室内ユニット基板上のロータリースイッチＳＷ１，ＳＷ２およびディップスイッチＳＷ5-2 により、室内Ｎｏ．を重複しないように設定してください。

④右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。



複数リモコン使用時の親子設定

室内１台（または１グループ）に対して、最大２個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン２台、あるいはワイヤードリモコン＋ ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット２台のいずれかの組合せができます。

１個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

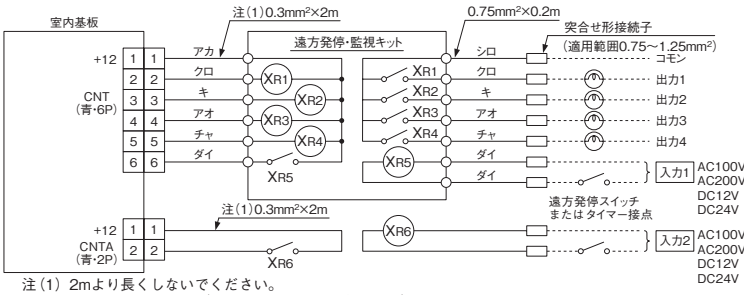
○ 注意　リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

③リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX3B)	標準リモコンから操作 (RC-D4G)
1	リモコン系統内の接続ユニットの接続台数確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを 1 台ずつ確認してください。
2	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換] を押してください。送風運転します。
3	親子リモコン設定	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ（SW1）を「子」に設定してください。
4	運転データの確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒▲▼データ選択
5	点検表示の確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒ エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒データ表示
6	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [冷房試運転] ⇒ [開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を３秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
7	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [ドレンポンプ試運転] ⇒ [運転]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼] を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット] を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。 表示 :「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

④室内基板 CnT コネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

●$X_{R1～4}$はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
●X_{R5}は、DC12,24Vまたは100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
●CnTコネクタ（現地側）メーカ、形式
コネクタ：モレックス製 5264−06
端　　子：モレックス製 5263T
別売品 (PCZ006A043) を準備しておりますのでご利用ください。
●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
●CnTAコネクタは、FDT他に搭載＜仕様書で確認願います＞（現地側）メーカ、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製　XAP02V−1−E
端　　子：日本圧着端子JST製　SXA−01T−P0.6
別売品 (PCZ006A053) を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

①	運転出力	⑧	ファン運転出力3
②	暖房出力	⑨	デフロスト , 油戻し出力
③	圧縮機 ON 出力	⑩	換気出力
④	点検（異常）出力	⑪	ヒータ出力
⑤	冷房出力	⑫	フリークーリング出力
⑥	ファン運転出力1	⑬	室内過負荷異常出力
⑦	ファン運転出力2		

入力

①	運転 / 停止	⑤	設定温度シフト
②	運転許可禁止	⑥	強制サーモ OFF
③	緊急停止	⑦	一時停止
④	冷房 / 暖房	⑧	静音モード

工場出荷時の設定

CnT-2	出力 1	運転出力	CnT-5	出力 4	点検 (異常) 出力
CnT-3	出力 2	暖房出力	CnT-6	入力 1	運転 / 停止
CnT-4	出力 3	圧縮機 ON 出力	CnTA	入力 2	運転 / 停止

●設定の方法は技術資料をご覧ください。

⑤リモコンからの操作・設定

A：RC-DX3B リモコン付属の取扱説明書を参照ください。
B：RC-DX3B リモコン付属の据付工事説明書を参照ください。
C：インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

○：RC-DX3B リモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
△：RC-DX3B リモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。
※ 1：RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。
※ 2：RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B	RC-D4G
1. リモコンネットワーク					
1	複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内ユニットを接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。		○
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作					
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4	風向		風向を設定します。おまかせ気流の有効 / 無効を設定します（FDK の場合）。※ 2	A	△
5	風量		風量を設定します。	A	○
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A	○
7	運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A	○
8	F1 スイッチ ※ 1		F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9	F2スイッチ ※ 1		F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
3. 便利機能					
1	フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲（上限位置―下限位置）を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。 ※ 2	A	△
2	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）※ 1 エアフレックスパネル組合せの場合		エアフレックスパネルを使用の場合、各運転モード、各吹出口のエアフレックス（ドラフト防止）機構：動作の有効・無効を設定します。	A	
3	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A	△
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	
4	おこのみ設定 ※ 1 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	
5	ウィークリータイマー		1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
6	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
7	換気 換気機器組合せの場合		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A	○
8	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / ※ 2 トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	A	
9	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	

⑤リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B	RC-D4G
10	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定			管理者パスワード		
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分 (10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ～ 80% (20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4	赤外線センサー制御（人感センサー制御）※1 人感センサー付パネル組合せの場合		人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
5. お手入れ					
1	フィルターサインリセット	フィルターサインの解除	フィルターサインの解除を行います。	A	
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル　グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作] の設定が必要です。	A	○
		降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
		ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	
3	お掃除パネル設定 管理者パスワード	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	A	
		清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
		清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
		ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
		ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
6. ユーザ設定					
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋ 1 時間の補正を行います。	A	
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
		運転ランプ輝度　※ 1	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示]　※ 1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定]　[言語切換設定] [ドラフト防止設定]　※ 1	A	△
		室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△

⑤リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B	RC-D4G
2	管理者設定 管理者パスワード	温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃) を設定します。	A	
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	A	
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり / なしを設定します。	A	△
		管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	A	
			管理者パスワードのリセットを行います。	B	
		スイッチ機能変更※ 1	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルターサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	A	
7. サービス設定					
1	据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
		サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B	△
		冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。		
		ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
		お掃除試運転	フィルター清掃　ブラシ清掃運転します。　お掃除パネル組合せの場合	B	
		ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
		自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
		親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ　設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B	
		赤外線センサー設定（人感センサー設定） ※ 1 人感センサー付パネルの組合せの場合	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサー検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の赤外線センサー制御を行うことができません。	B	
		グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
		吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B	
		リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B	△
		リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。	B	△
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B	
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○
		外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用範囲が設定されます。	B	○
		上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B	○
		左右ルーバ制御 ※ 2	左右ルーバの [固定位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B	
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
		停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B	
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B	

⑤リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3B	RC-D4G
3	室内設定 サービスパスワード	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
		フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
		外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を換えられます。	B	○
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を換えられます。	B	○
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を換えられます。	B	
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を換えられます。	B	
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B	△
		吸込温度補正	吸込センサー検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B	△
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
		フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
		ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン間欠	暖房停止･暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
		外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B	
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CnT-5）から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
		外部出力設定　※ 1	外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を換えられます。	B	
4	サービス・ メンテナンス サービスパスワード	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○
		次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	○
		運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
		点検表示			
		異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。	B	△
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。		
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。		
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
		特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	B	△
		室内機容量表示※1	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B	
		お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	○
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2	サービスを依頼される前に Q & A		Q &Aが表示されます。	A	
9. 点検表示					
	点検表示確認		異常発生時の表示	A	△
10. パソコン接続					
	USB 接続		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

9. マイコン運転制御機能

9.1 室内コントローラによる運転制御機能

(1) 自動運転モード（冷暖フリーマルチ LXR シリーズのみ）

リモコンで「自動」モードを選択すると，外気温度と設定温度または設定温度と吸込温度の差温に応じ自動的に冷房・暖房に切換えます。（冷房⇔暖房切換が3分以内に行われる場合は3分タイマにより3分間圧縮機は運転しません。）

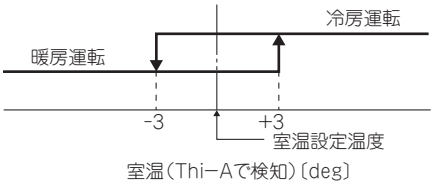
中間期等における冷/暖切換え操作を簡便にできると共に，店舗等（銀行のATMコーナー）の無人運転に対応できます。

RC-DX3Bリモコンを使用する場合，設定により(a)～(c)の自動運転が選択できます。（初期設定は(a)）。

RC-D4Gリモコンの場合，(a)のみとなります。

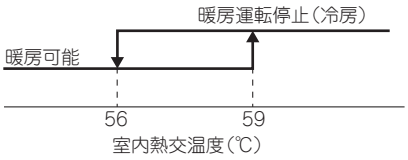
(a) 自動運転1：設定温度と吸込温度の差により，冷暖運転モードを判定します。

運転モード切換温度差はリモコン設定により変更可能です（RC-D4Gを除く）。



注(1) 自動冷房／暖房時の室温制御は，室温設定温度により行います。（DIFF：±1deg）

(2) 暖房時室内熱交温度が59℃以上になると自動的に冷房に切換えます。またこの切換後1時間以内は右記の温度にかかわらず暖房運転を行いません。



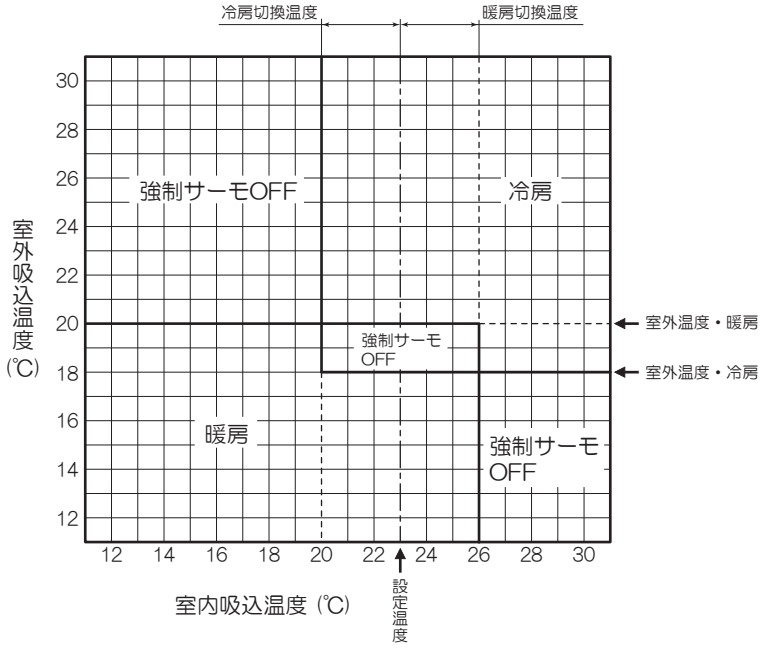
(b) 自動運転2:「設定温度＋冷房切換温度と室内吸込温度による判定」と「室外温度による判定」との条件により，冷暖運転モードを判定します。冷房切換温度，暖房切換温度，室外温度・冷房，室外温度・暖房はリモコン設定により変更可能です。

1）「設定温度−冷房切換温度＜室内吸込温度」かつ「室外温度・冷房＜室外吸込温度」⇒運転モード：冷房

2）「設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度」かつ「室外温度・暖房＞室外吸込温度」⇒運転モード：暖房

3） 上記判定条件の室外吸込温度は，10分毎にサンプリングをします。

4） 上記の冷房・暖房領域が重なる範囲の場合 ⇒ 強制サーモOFF



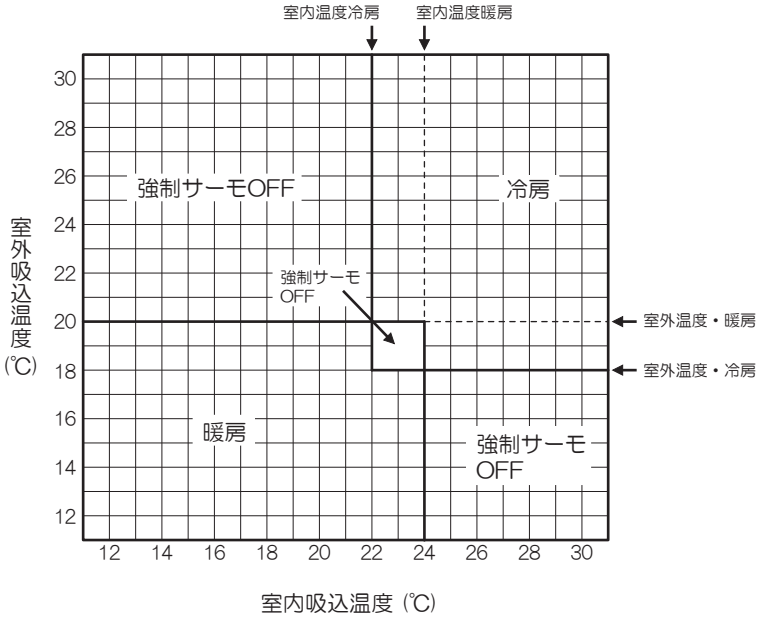
(c) 自動運転3：設定温度によらず，「室内温度・冷房または暖房と室外温度・冷房または暖房による判定により，冷暖運転モードを判定します。室内温度冷房，室内温度暖房，室外温度冷房，室外温度暖房はリモコン設定により変更可能です。

1）「室内温度・冷房＜室内吸込温度」かつ「室外温度・冷房＜室外吸込温度」の場合 ⇒ 運転モード：冷房

2）「室内温度・暖房＞室内吸込温度」かつ「室外温度・暖房＞室外吸込温度」の場合 ⇒ 運転モード：暖房

3） 上記判定条件の室外吸込温度は，10分毎にサンプリングをします。

4） 上記の冷房・暖房領域が重なる範囲の場合 ⇒ 強制サーモOFF



(2) 冷房・暖房運転時の機能品動作

動作 ＼ 機能品	冷房		送風	暖房			除湿
	サーモON	サーモOFF		サーモON	サーモOFF	ホットスタート（デフロスト）	
圧縮機	○	×	×	○	×	○	○／×
四方切換弁	×	×	×	○	○	○（×）	×
室外送風機	○	×	×	○	×	○（×）	○／×
室内送風機	○	○	○	○／×	○／×	○／×	○／×
ルーバモータ	○／×			○／×	○／×	○／×	○／×
ドレンポンプ(3)	○	×(2)	×(2)	○／×(2)			サーモON：○ サーモOFF：×(2)

注(1) ○：運転　×：停止　○／×：室温制御以外の制御により運転／停止します。
(2) ドレンモータ遅延制御中はON。
(3) ワイヤードリモコンの室内機能設定によりドレンポンプON設定の選択が可能です。

(3) 除湿運転

吸込口に設置された相対湿度センサ［HS］および吸込空気温度センサ〔Thi-A（リモコンセンサ有効時はリモコンセンサによる）〕により，室内の温湿度環境を同時に制御します。

(a) 冷房運転で運転を開始し，吸込空気温度と設定温度の差が2℃以内の場合は，室内ファンタップを1タップダウンします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。

(b) 上記成立後，吸込温度と設定温度の差が３℃以下，かつ，相対湿度が目標相対湿度より高い場合は，室内ファンタップを１タップダウンします。吸込温度と設定温度との差が３℃より大きい場合，室内ファンタップを１タップアップします。

室内ファンタップ切換え後３分間はタップを保持します。

(c) 相対湿度センサの検知湿度が目標相対湿度以下になった場合，室内ファンタップを保持します。

(d) 上記制御中にサーモOFFが成立した場合，サーモON時の室内ファンタップを保持します。

(4) タイマー運転

(a) RC-DX3Bリモコンの場合

(i) 切忘れタイマー

運転開始してから停止するまでの時間を設定します。設定時間は30～240分（10分単位）まで選択可能です。

注(1) リモコンより「切忘れタイマー」設定を有効にしてください。有効の場合，毎回タイマーが作動します。

(ii) 時間切タイマー

運転後，停止させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。

(iii) 時間入タイマー

停止後，運転させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。また，同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効／無効の設定が可能です。

(iv) 時刻入タイマー

運転開始時刻を設定します。設定時刻は5分単位で設定可能で，1回のみ／毎日の切換が可能です。また，同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効／無効の設定が可能です。

注(1) 時刻入タイマーを使用するには，時刻設定が必要です。

(v) 時刻切タイマー

運転停止時刻を設定します。設定時刻は5分単位で設定可能で，1回のみ／毎日の切換が可能です。

注(1) 時刻切タイマーを使用するには，時刻設定が必要です。

(vi) ウィークリータイマー

1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。１日最大８パターンまでの設定が可能で，祭日および臨時休業など休日設定が可能です。

注(1) ウィークリータイマーを使用するには，時刻設定が必要です。

(vii) タイマー運転の併用設定可能な組合せ

	切忘れタイマー	時間切タイマー	時間入タイマー	時刻切タイマー	時刻入タイマー	ウィークリータイマー
切忘れタイマー		×	×	○	○	○
時間切タイマー	×		×	×	×	×
時間入タイマー	×	×		×	×	×
時刻切タイマー	○	×	×		○	×
時刻入タイマー	○	×	×	○		×
ウィークリータイマー	○	×	×	×	×	

注(1) ○：可，×：不可

(b) RC-D4Gリモコンの場合

(i) 時間タイマー

現在よりエアコンOFFの時間を設定します。

「１時間後切」から「10時間後切」の10段階での選択が可能です。時間タイマー設定後は，現在時刻の経過とともに１時間単位で残り時間の表示を行います。

(ii) 時刻切タイマー

エアコンOFF時刻を10分単位で設定が可能です。

(iii) 時刻入タイマー

エアコンON時刻を10分単位で設定が可能です。また，同時に室内温度も1℃単位で設定が可能です。

(iv) ウィークリータイマー

各曜日毎に，一日最大４回タイマー運転（入タイマー，切タイマー）の設定が可能です。

(v) タイマ運転の併用設定可能な組合せ

	時間タイマー	時刻切タイマー	時刻入タイマー	ウィークリータイマー
時間タイマー		×	○	×
時刻切タイマー	×		○	×
時刻入タイマー	○	○		×
ウィークリータイマー	×	×	×	

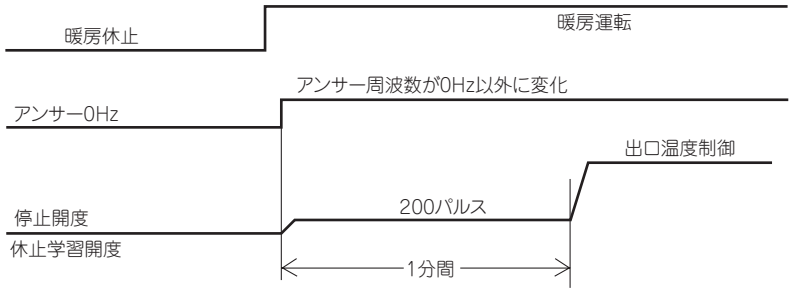
注(1) ○：可，×：不可

(2) 時刻入タイマーと時間タイマーおよび時刻切タイマーが併用設定されており、タイマー入時刻とタイマー切時刻（または切時間）が同時刻に設定された場合は、タイマー切設定が優先されます。

(5) ホットスタート（暖房時コールドドラフト防止）

(a) 開始条件

暖房運転開始時、アンサー周波数が0Hzから0Hz以外に変化した時、1分間は膨張弁開度を200パルスに固定します。



(b) 制御内容

(i) ホットスタート時の室内ファンモータ制御

1) 暖房運転開始後7分以内，サーモ状態（暖房サーモOFF時のファン制御）によりファンモードを決定します。

a) サーモOFFの場合

ⅰ）暖房サーモOFF時の室内ファン制御設定により運転します。

ⅱ）サーモOFFからサーモONに変化してもファンは室内熱交温度センサ（Thi-R1、R2の何れか高い方）が35℃以上になるまでサーモOFF時のファン制御で運転を続けます。

ⅲ）室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が35℃以上になった時設定風量で運転します。

b) サーモONの場合

ⅰ）室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が25℃以下の時ファンは運転しません。

ⅱ）室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が25℃以上になった時，暖房サーモOFF時ファン制御で運転します。

ⅲ）室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が35℃以上になった時，設定風量で運転します。

c) ワイヤードリモコン室内機能設定から「暖房ファン制御」を「設定風量」に設定している場合は，サーモON／OFFに関わらずファンは設定風量で運転します。

2) サーモON中に1度ファンモータがOFFからONとなると，室内熱交温度センサが25℃以下となっても室内ファンモータをOFFしません。

（注）デフロスト制御受信時はデフロスト時のファン制御に従います。

3) 一旦ホットスタートを終了すると室内熱交温度センサの温度が低下してもホットスタートを再開しません。

(ii) ホットスタート作動時はルーバは水平位置となります。

(iii) デフロスト終了後，連続7分間室内ファンがOFFの場合は，室内熱交温度センサ（Thi−R1，R2）の検知温度に係わらずONします。

(C) 終了条件

(i) ホットスタート制御中に下記の何れかの条件が成立した時，本制御を終了し室内ファンは設定風量で運転します。

1) 室内熱交温度センサ（Thi−R1，R2の何れかが高い方）が35℃以上のとき。

2) ホットスタート制御開始7分経過したとき。

(6) ホットキープ

デフロスト制御開始時にホットキープ制御を行います。

(a) 制御内容

(i) 室内熱交温度（Thi-R1またはR2で検知）が35℃未満となった場合，室内ファンはサーモOFF時のファン設定に従います。

(ii) ホットキープ時は，ルーバは水平位置となります。

(7) フィルターサイン

運転時間（運転／停止スイッチが ON となっている時間）が 180 時間[(1)]になるとリモコン上の「フィルター清掃」を表示します。（運転／停止に関係なく，故障時，集中制御時も表示します。）

注(1) フィルターサインの時間設定はワイヤードリモコン室内機能「フィルターサイン設定」により下表の様に設定可能です。（工場出荷時は，設定 1 に設定されています）

フィルターサイン設定	機　　能
設定１	設定時間：180 時間(工場出荷時)
設定２	設定時間：600 時間
設定３	設定時間：1,000 時間
設定４	設定時間：1,000 時間(ユニット停止)(2)

(2)　設定 4 では，設定時間経過後フィルター清掃を表示させ更に 24 時間(停止中もカウント)経過後ユニットを停止します。

(8) オートスイング制御

ご注意　RC-DX3B リモコンは，機能設定で「ドラフト防止設定」が有効の時，オートスイングを選択してもドラフト防止設定が有効なルーバはスイングせず水平位置となります。オートスイングさせる場合は「ドラフト防止設定」を解除してください。

(a) RC-DX3Bリモコンの場合

(i) ルーバ制御

1) エアコンが運転している時に，ルーバを動かすときは，リモコンのTOP画面の「風向」ボタンをタッチすると風向切換画面が表示されます。

2) ルーバをスイングさせる場合は「オートスイング」ボタンをタッチしてください。ルーバが上下に連動して動きます。
ルーバ位置を固定する場合は 1 ～ 4 ボタンをタッチしてください。ルーバが指定の位置でとまります。

3) ルーバ４位置制御機の電源投入時のルーバ動作
電源投入時，ルーバは自動的に（リモコン操作なし）1回スイングします。
これは，ルーバ位置をマイコンが確認するため，ルーバモータ（LM）の位置をマイコンに入力させるための動作です。

(ii) 暖房時のルーバ自動水平セット

ホットスタートおよび暖房サーモ時は，（コールドドラフトを防ぐため）オートスイング操作(オートスイングまたはルーバ停止)に関わらずルーバは水平位置となります。またルーバ位置の液晶は本制御に入る前の表示を継続します。

(iii) ルーバフリー停止制御

リモコンのTOP画面より「メニュー」→「サービス設定」→「リモコン設定」→「サービスパスワード」→「リモコン設定メニュー #2」順にボタンをタッチして行くと「上下ルーバ制御」画面が表示されます。この画面にてフリー停止を選択するとリモコンより停止信号があった場合ルーバモータを停止します。さらにリモコンよりオートスイング信号があった場合，停止前の位置よりオートスイングを始めます。

(b) RC-D4Gリモコンの場合

(i) ルーバ制御

1) エアコンが運転している時に，スイングルーバを動かすときは，風向調整 ボタンを押します。
「スイング」表示し，スイングルーバが上下に連続して動きます。

2) スイングルーバの位置を固定するときは，スイングルーバが動いているときに，風向調整 ボタンを一度押すと，4位の停止位置が1秒ごとに順番に表示されます。
停止させたい位置に表示がきたときに，再度 風向調整 ボタンを押します。表示が停止し，「ルーバ停止」表示を5秒間表し，スイングルーバが停止します。

3) ルーバ4位置制御機の電源投入時のルーバ動作
電源投入時，ルーバは自動的に（リモコン操作なし）1回スイングします。
これは，ルーバ位置をマイコンが確認するため，ルーバモータ（LM）の位置をマイコンに入力させるための動作です。

(ii) 暖房時のルーバ自動水平セット

ホットスタートおよび暖房サーモOFF時はオートスイングスイッチの操作（オートスイングまたはルーバ停止）に関わらずルーバは水平位置となります。（コールドドラフトを防ぐため）またルーバ位置表示のLCDは本制御に入る前の表示を継続します。

(iii) ルーバフリー停止制御

ワイヤードリモコン室内機能「ルーバ制御設定」でルーバフリー停止を選択した場合，リモコンより停止信号があった場合ルーバモータを停止します。さらにリモコンよりオートスイング信号があった場合，停止前の位置よりオートスイングを始めます。

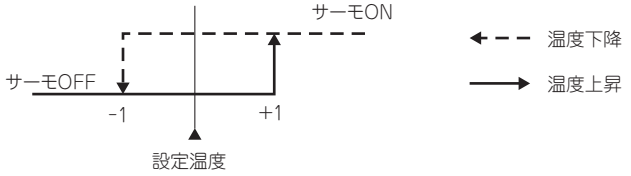
注(1)　ワイヤードリモコン室内機能「ルーバ制御設定」を切換えた場合は，リモコン機能「ルーバ制御設定」も同様に切換えてください。

(9) サーモ動作

(a) 冷房

(i) 室温制御（ファジー制御）によりサーモを動作させます。

(ii) 設定温度に対し，サーモONとOFFは次の通りです。

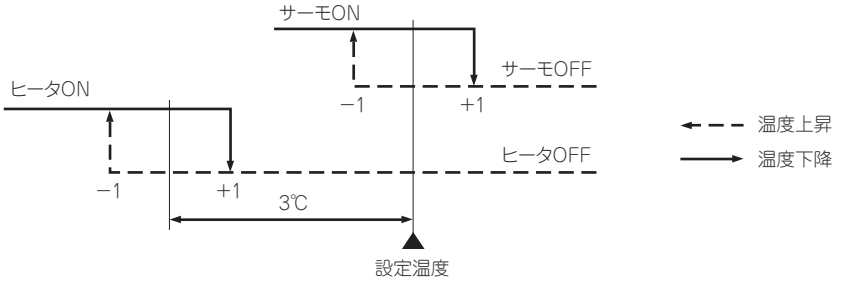


(iii) 冷房運転開始時（暖房から冷房も含む）室温が－1＜設定温度＜＋1の間はサーモONとします。

(b) 暖房

(i) 室温制御（ファジー制御）によりサーモを動作させます。

(ii) 設定温度に対し，サーモONとOFFは次の通りです。



(iii) 暖房運転開始時（冷房から暖房も含む）室温が－1＜設定温度＜＋1の間はサーモONとします。

(c) 暖房サーモOFF中のファン制御

(i) 暖房サーモOFF時のファン制御は下記がワイヤードリモコンの室内機能設定から選択が可能です。

① 弱風（工場出荷時），② 設定風量，③ 間欠，④ 停止

(ii)「弱風（工場出荷時）を選択した場合下記のタップで運転します。

・DCモータの場合：ULoタップ

(iii)「設定風量」を選択した場合、サーモOFF時も設定風量で運転します。

(iv)「間欠」を選択した場合，下記の制御を行います。

1) 暖房運転中にサーモOFFした室内ユニットは，室内ファンをOFFします。

2) 室内ファンOFFを5分間固定とし，5分後に室内ファンULo運転を2分間行い，ここでルーバは水平制御とします。

3) 室内ファンULo運転2分後に1）項へ移行します。

4) サーモONであれば，ホットスタート制御へ移行します。

5) 暖房サーモOFFとなった場合，リモコンに表示する温度は室内ファンが停止となった時点とし，以後，ファンがULo→停止のタイミングでのみ更新します。
リモコンでは運転データ表示操作により温度表示を行い，ファンOFF中も値を更新します。

6) 暖房サーモOFF中にデフロストに入った場合，またはデフロスト中にサーモOFFした場合の室内ファンはOFFとします。（ホットスタート制御を優先する）ただし，吸込温度の更新は7分毎とします。

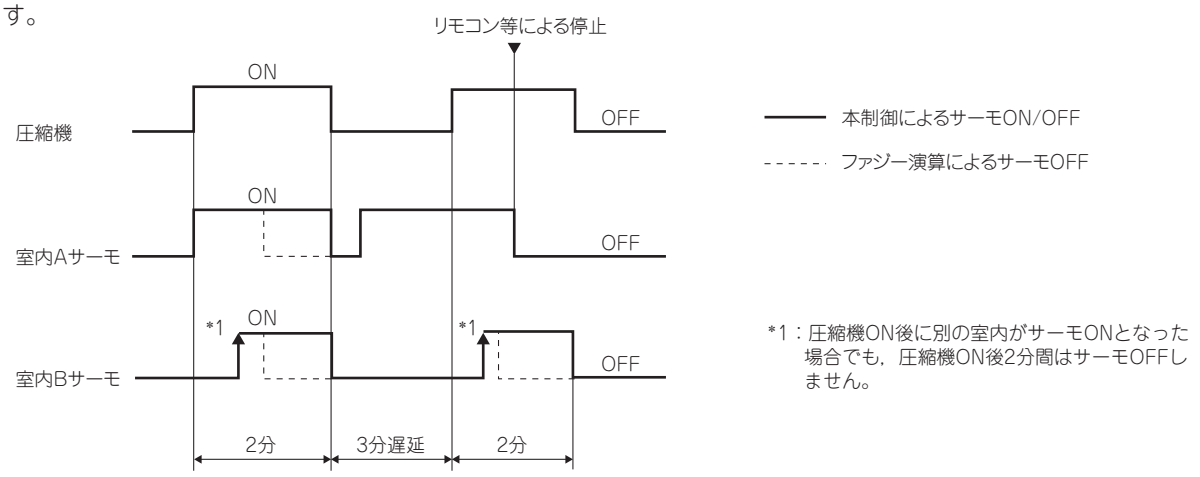
7) 暖房サーモONとなった場合，または他の運転モード（含む停止）に切換えた場合は，その時点で本制御を中止し，それから運転状態に復帰します。

注(1) 本項のサーモOFF中とは暖房運転で要求周波数＝0Hzとなった時点から要求周波数≠0，かつアンサーバック周波数≠0となるまでの間をいいます。従って室外ユニットの制御による圧縮機OFF，または要求周波数≠0でアンサーバック周波数＝0の場合は本制御せず室内ファンはホットスタートによります。

(v)「停止」を選択した場合，サーモOFFした室内ユニットのファンをOFFします。
また、リモコンセンサ有効の場合もサーモOFFした室内ユニットのファンをOFFします。

⑽ 圧縮機インチング防止制御

(a) 室内ユニットは一旦サーモONとなった場合は，⑽項でサーモOFFとなっても圧縮機ON後2分間 (*1) は，サーモOFFしません。圧縮機ON後2分以内にサーモOFFとなる場合は，その機種に定められた0Hz以外の最低要求周波数を出力します。



(b) 室内ユニットは一旦サーモONとなった場合は，⑽項でサーモOFFとなってもサーモON後2分間は，サーモOFFしません。サーモON後2分以内にサーモOFFとなる場合は，その機種に定められた0Hz以外の最低要求周波数を出力します。

(c) サーモON中に油戻し制御を開始したユニットは油戻し制御中にサーモOFF条件になってもサーモOFFしません。

⑾ ドレンポンプ制御

(a) 冷房運転，自動の冷房および除湿運転にてインバータ周波数が0Hz以外の場合に作動します。

(b) ドレンポンプがONし1）項によりOFFの領域となってから，5分間ドレンポンプONを継続し，その後停止します。また異常停止の場合も5分間遅延を継続します。

(c) 圧縮機ON→OFF時にドレンポンプを5分間遅延運転させます。

(d) 上記以外の状態（暖房，送風，停止，冷房サーモOFF）でもドレン検知によりドレンポンプ制御を行います。

(e) 油戻し制御の1）項の冷房時の膨張弁開とする制御において，そのユニットのドレンポンプを油戻し制御時間＋5分遅延の間ONします。

(f) ワイヤードリモコン室内機能設定により下記設定が可能です。

(i) 標準：冷房時ドレンポンプON（出荷時）

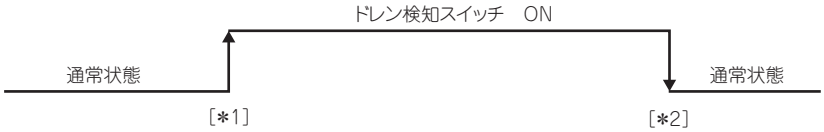
(ii) 暖房：(i)＋暖房時ドレンポンプON

(iii) 暖房　送風：(i)＋暖房時、送風時ドレンポンプON

(iv) 送風：(i)＋送風時ドレンポンプON

⑿ ドレン異常検知

(a) フロートスイッチ（FS）とタイマによりドレン検知スイッチをON-OFFします。



[＊1]ドレン検知可能区間においてフロートスイッチ「開」を3秒間連続検知した時、ドレン検知スイッチを「ON」にします。

[＊2] フロートスイッチ「閉」を10秒間連続検知した時、ドレン検知スイッチを「OFF」にします。

(i) 電源ON後30秒以降常時検知します。

(ii) ドレンポンプOFF後10秒間はドレン異常検出を行ないません。

(iii) ドレン検知スイッチ「ON」により、ドレンポンプを強制ONにします。

(iv) ドレン検知スイッチ「OFF」により、ドレンポンプ強制ONを解除します。

(b) 室内ユニットは、各運転状態によりA制御またはB制御を行ないます。

	室内ユニットの運転モード				
	停止(1)	冷房	除湿	送風(2)	暖房
圧縮機ON中		A 制 御			
圧縮機OFF中	B 制 御				

注(1) 冷房，除湿，送風，暖房からの停止，異常停止を含む
(2) 運転モード不一致による「送風」運転を含む

(i) A制御

1) フロートスイッチがドレン異常を検知すると異常停止（E9 表示）します。異常検知後，ドレンモータは ON を継続します。

2) フロートスイッチがドレン異常を検知している間は運転します。

(ii) B制御

フロートスイッチがドレン異常を検知するとドレンモータを5分間ONしドレンモータOFF後10秒の時点でフロートスイッチをチェックし正常ならば通常の停止，異常ならばE9を表示しドレンモータをONします。（ドレン検知中はONのまま。）

⑬ 運転チェック／ドレンポンプ試運転モード

(a) 室内基板上のディップスイッチ（SW7－1）をON状態で電源を投入することにより運転チェック／ドレンポンプ試運転モードに入ります。なお，電源投入後の切換は無効（禁止）です。

(b) ディップスイッチ（SW7－1）がONで電源投入後60秒以内にリモコン通信が確定した場合は，運転チェックモードに入ります。また，リモコン通信が確定しない場合は，ドレンポンプ試運転モードに入ります。

注(1) ドレンポンプ試運転モードを選択する場合は，室内基板上のリモコン用コネクタ（CnB）を抜きリモコン通信を断ってください。

(c) 運転チェックモード

室外ユニットとの通信は行われず，リモコン操作により各運転モードを行います。

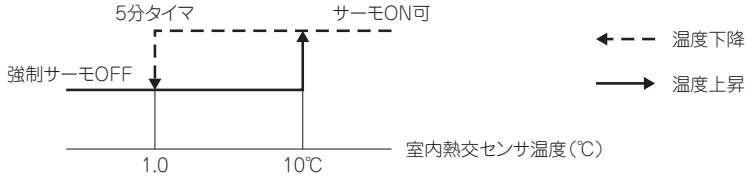
(d) ドレンポンプ試運転モード

ドレンポンプ試運転確定後ドレンポンプのみ運転を行い，運転中は，室内ユニットのマイコンによる保護機能は無効となります。

⑭ 室内熱交アンチフロスト（凍結防止制御）

サーモOFF制御

(a) 「冷房」「除湿」運転中，熱交センサ（Thi-R1, 2）の検知温度により，強制サーモOFFを行います。



(b) サーモON後4分間は，凍結防止保護の強制サーモOFF制御を動作させません。サーモON4分経過時点で，室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2）の検知温度が，強制サーモOFF温度（1.0℃）以上の場合は，サーモON可の状態から検知を開始します。

(c) サーモONから4分経過後，室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか）が5分連続して強制サーモOFF温度（1.0℃）以下となると強制サーモOFFさせます。

また，室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2）の温度が10℃以上になるとサーモONさせます。

(d) 室外ユニットへ『アンチフロスト』信号を送ります。

(e) ワイヤードリモコン室内機能設定フロスト防止温度により強制サーモOFF温度の切換ができます。

温度　低：1.0℃（工場出荷時）

温度　高：2.5℃

相対湿度が50％RH以下を連続3分間検知した場合，強制サーモOFF温度は下記となります。

温度　低：-0.5℃（工場出荷時）

温度　高： 1.0℃

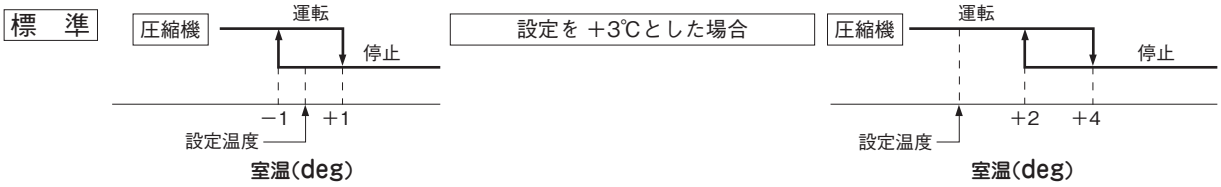
⑮ ファンモータ異常

(a) ファンモータ運転後，30秒間運続して回転数が200min^{-1}未満を60分以内に4回検知した時は異常停止「E16」をします。

(b) ファンモータが回転指令出力後，2分間連続して要求回転数-50min^{-1}に達しないことを検出すると，ファンモータ異常として異常停止「E20」します。

⑯ 暖房時室温検知温度補正

標準仕様では，サーモの設定温度で圧縮機をON ／ OFFしていますが天井に暖気がこもり易い据付状況で早目にサーモOFFしてしまう場合，ワイヤードリモコン室内機能「暖房室温補正」により設定の変更が可能です。設定温度+3，+2，+1℃のいずれかの温度で圧縮機およびヒータをON ／ OFFさせ，暖房フィーリング向上させることができます。ただし設定温度の上限を30℃とします。



⑰ 吸込温度補正

吸込温度センサの検知温度とユニット据付後の計測温度との誤差が生じて，補正が必要となった場合に補正する機能です。

(a) ワイヤードリモコン室内機能「吸込温度補正」により 0.5℃単位で変更が可能です。
・＋ 1.0℃，＋ 1.5℃，＋ 2.0℃，　　・− 1.0℃，− 1.5℃，− 2.0℃，

(b) 補正後の温度をリモコンや室外ユニットに送信し，補正後の温度で制御を行います。

注(1) 検知温度補正は室内ユニットセンサのみ有効です。

⑱ 風速設定

高天井に設置された室内ユニットで風量が不足する場合にファンタップを変更することにより風量のアップが可能です。ワイヤードリモコン室内機能の「風速設定」によりファンタップが変更できます。

		室内風量設定			
		P急 − 急 − 強 − 弱	急 − 強 − 弱	急 − 弱	急 − 強
高天井設定(風速設定)	標準	P-Hi1 - Hi - Me - Lo	Hi - Me - Lo	Hi - Lo	Hi - Me
	高天井1(設定1)	P-Hi2 - P-Hi1 - Hi - Me	P-Hi1 - Hi - Me	P-Hi1 - Me	P-Hi1 - Hi
	高天井2(設定2)	P-Hi2 - Hi - Me - Lo	Hi - Me - Lo	Hi - Lo	Hi - Me

注(1) 出荷時標準に設定されています。
(2) ホットスタートおよび暖房サーモOFF時等は室内ファンを各設定の低速タップで運転します。

⑲ 温度センサ（吸込・室内熱交）断線・短絡検知

(a) 断線検知

吸込温度センサが断線を連続5秒間検知した場合は異常停止（E7）します。熱交温度センサが，圧縮機ON2分後20秒間に断線を連続5秒間検知した場合は異常停止（E6）します。

(b) 短絡検知

熱交温度センサが，冷房運転で圧縮機ON2分後20秒間に短絡を連続5秒間検知した場合は異常停止（E6）します。

⑳ 外部入力（遠方表示）／遠方操作

外部入出力端子CnTおよび入力端子CnTAにより，運転状態の出力およびエアコンの発停入力をすることができます。

(a) 外部制御（遠方表示）用出力（オプションの遠方発停監視キットが利用できます。）

(i) 出荷状態の出力

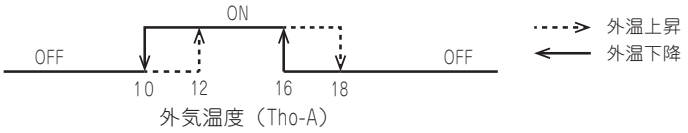
1) 室内制御基板上に下記の出力用コネクタ（CnT）を持っています。遠方発停監視キットを接続して各々の無電圧接点を取出してください。
2) 出荷状態では，以下の４つの出力が割り当てられています。
・運転出力（CnT1-2）：運転中，リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
・暖房出力（CnT1-3）：暖房運転中，かつサーモ ON 時リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
・サーモ ON 出力（CnT1-4）：圧縮機が運転中，リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
・異常出力（CnT1-5）：異常発生時，リレー駆動用出力DC12Vを出力します。

(ii) 出力コネクタの変更

1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，出力コネクタの変更および(iii)項の出荷状態以外の出力に変更することができます。ワイヤードリモコンRC-DX3Bでの設定は可能ですが，ワイヤードリモコンRC-DX2およびRC-D4Gでは設定ができません。
2) 設定は，ワイヤードリモコンの室内機能「外部出力設定 」で出力先を選択してください。ワイヤードリモコンでの設定名とコネクタは以下のようになります。
①外部出力１：CnT1-2 ②外部出力2：CnT1-3 ③外部出力3：CnT1-4 ④外部出力4：CnT1-5

(iii) 出荷状態以外の出力

1） 冷房出力：冷房モード中（自動の冷房運転，デフロスト，暖房油戻しを含む）に出力します。
2） ファン運転出力1：室内ファンの速度タップによらず，ファン運転中に出力します。
3） ファン運転出力2：室内ファンが，Hiタップ以上で運転中に出力します。
4） ファン運転出力3：室内ファンが，Hiタップ未満で運転中に出力します。
5） デフロスト，油戻し出力：室外ユニットからのデフロスト信号または，暖房油戻し信号を受信中に出力します。
6） 換気出力：ワイヤードリモコンからの換気指令により出力します。
7） ヒータ出力：9項の(b)条件により出力します。
8） フリークーリング出力
運転モードが冷房または送風の場合，外気温度により出力します。（外気導入による温度調整用）



9） 室内過負荷アラーム出力
運転開始30分以降で，設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上となった場合，出力します。

(b) 遠方操作用入力（CnT1-6 または CnTA1-2）

（i）リモコンによる設定方法

1） ワイヤードリモコンの室内機能設定により，運転/停止モードおよび入力方式を設定します。出荷状態で，外部入出力1，2の設定は運転/停止，外部入力1，2の方式はレベル入力となっています。

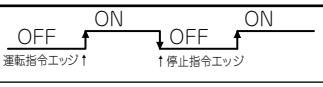
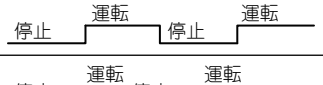
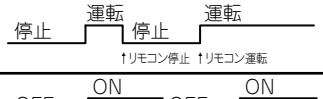
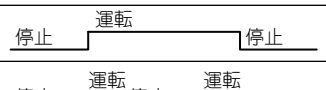
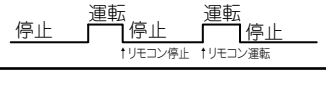
	入力端子	室内機能設定	
		RC-DX3B（ワイヤードリモコン）	RC -D4G（ワイヤードリモコン）
モード設定	CnT	外部入力１設定：運転/停止	運転許可/禁止:無効
	CnTA	外部入力２設定：運転/停止	設定項目はありませんが、出荷状態のままで使用可能です。
入力方式	CnT	外部入力１方式：“レベル入力“または”パルス入力“	外部入力切換え：“レベル入力“または”パルス入力“
	CnTA	外部入力２方式：“レベル入力“または”パルス入力“	設定項目はありませんが、出荷状態のままでレベル入力です。

(ii) 外部入力による動作

1） 運転・停止の切換え

a） レベル入力の場合
外部入力ON（CnT1-6：閉またはCnTA1-2は閉）の場合は運転となります。
外部入力OFF（CnT1-6：開またはCnTA1-2は開）の場合は停止となります。

b） パルス入力の場合
外部入力（CnT1-6またはCnTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで運転と運転停止を反転します。

外部入力機能切換	外部入力方式	動作	
運転/停止	①レベル	外部端子入力（CnT または CnTA）	
		運転/停止	
		運転/停止（競合）	
	②パルス	外部端子入力（CnT または CnTA）	
		運転/停止	
		運転/停止（競合）	

(iii) 注意事項

1） ワイヤードリモコンは必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

2） エアコンの操作が「センターモード」となっている時は，CnT または CnTA による遠方操作は無効となります。

3） コネクタの部品番号（別売品，配線長さ 500mm）

コネクタ	部品番号
CnT	PCZ006A043
CnTA	PCZ006A053

4） ワイヤードリモコンRC-DX3Bの機能設定「外部入力設定：全台」に設定することにより，1台の室内ユニットへの入力により，同じワイヤードリモコンに接続された複数の室内ユニットを同時に運転/停止します。
「外部入力設定：個別」の場合（出荷時設定），入力を入れる室内ユニットのみ運転/停止します。

(21) 運転許可・禁止（コインタイマー用制御）

リモコンで設定を変更することで，(19)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT，CnTAの機能切換えを行い，外部信号の入力によりエアコンの操作可能・操作不可を制御することができます。
市販のコインタイマーの信号等によりエアコン使用可能・使用不可を制御することが出来ます。

(i) リモコンによる設定方法

1） ワイヤードリモコンの室内機能設定により，運転許可・禁止モードおよび入力方式を設定します。

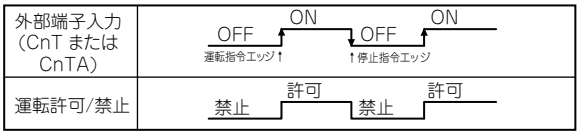
	入力端子	室内機能設定	
		RC-DX3B（ワイヤードリモコン）	RC -D4G（ワイヤードリモコン）
モード設定	CnT	外部入力１設定：許可/禁止	運転許可/禁止:有効
	CnTA	外部入力２設定：許可/禁止	設定できません。
入力方式	CnT	外部入力１方式：“レベル入力 “または ” パルス入力 “	外部入力切換え：“レベル入力 “または ” パルス入力 “
	CnTA	外部入力２方式：“レベル入力 “または ” パルス入力 “	設定できません。

(ii) 外部入力による動作

1） 運転許可・禁止の切換

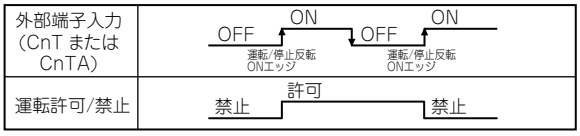
a） レベル入力の場合

外部入力ON（CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉）の場合は，運転許可となります。
外部入力OFF（CnT1-6：開またはCnTA1-2:開）の場合は，運転禁止となります。



b） パルス入力の場合

外部入力（CnT1-6またはCnTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで運転許可と運転禁止を反転します。



2） 運転許可の場合の動作

a） エアコンは，リモコンからの操作が可能です。

b） 「センター」モード設定時は，センターからのみ操作可能がとなります。

3） 運転禁止時の場合の動作

a） エアコンは，リモコンからの操作ができません。

b） エアコン運転中に運転禁止となった場合は，エアコンは停止します。

(iii) 注意事項

1） ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

㉒ 冷房・暖房外部入力機能切換

リモコンで設定変更することで，(20)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT，CnTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを冷房/暖房に切換えることができます。

ⓐ リモコンによる設定方法

（i）ワイヤードリモコンの室内機能設定により，冷房/暖房モードおよび入力方式を設定します。
RC-DX3Bのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Bワイヤードリモコン）
モード設定	CnT	外部入力１設定：冷房/暖房
	CnTA	外部入力２設定：冷房/暖房
入力方式	CnT	外部入力１方式："レベル入力"または"パルス入力"
	CnTA	外部入力２方式："レベル入力"または"パルス入力"

ⓑ 外部入力による動作

（i）冷房/暖房の切換

1） レベル入力の場合

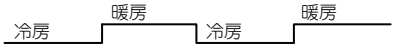
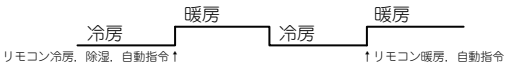
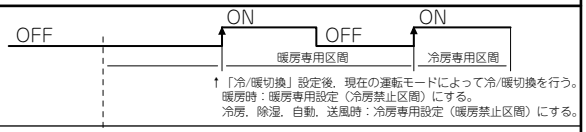
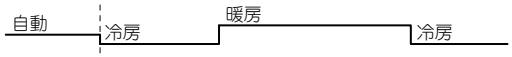
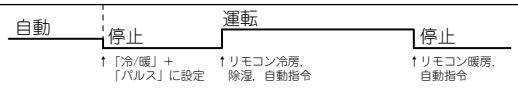
a） 外部入力ON（CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉）の場合は暖房となります。

b） 外部入力OFF（CnT1-6：開またはCnTA1-2:開）の場合は冷房となります。

2） パルス入力の場合

外部入力（CnT1-6またはCnTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで冷房と暖房を反転します。

ⓒ 外部入力により冷房 / 暖房の切換を受けた場合は，リモコンに運転モードを送信します。

<table>
<tr><th>外部入力機能切換</th><th>外部入力方式</th><th colspan="2">動　　作</th></tr>
<tr><td rowspan="5">冷房/暖房切換</td><td rowspan="3">⑤レベル</td><td>外部端子入力
(CnT または
CnTA)</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>冷房/暖房</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>冷房/暖房
（競合）</td><td> 
</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑥パルス</td><td>外部端子入力
(CnT または
CnTA)</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>冷房/暖房</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>冷房/暖房
（競合）</td><td> 
</td></tr>
</table>

ⓓ 注意事項

（i） ワイヤードリモコンは必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと本制御は行えません。

㉓ 設定温度シフト入力

リモコンで設定変更することで，(20)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT，CnTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを設定温度シフト入力に切換えることができます。

ⓐ リモコンによる設定方法

（i）ワイヤードリモコンの室内機能設定により，設定温度シフト入力モードおよび入力方式を設定します。
RC-DX3Bのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Bワイヤードリモコン）
モード設定	CnT	外部入力１設定：制御が有効
	CnTA	外部入力２設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力１方式："レベル入力"または"パルス入力"
	CnTA	外部入力２方式："レベル入力"または"パルス入力"

(b) 外部入力による動作

(i) 設定温度シフト入力の切換

1) レベル入力の場合

a) 外部入力ON（CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉）の場合は制御が有効となります。

b) 外部入力OFF（CnT1-6：開またはCnTA1-2:開）の場合は制御が無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力（CnT1-6またはCnTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで制御の有効／無効を反転します。

(ii) 注意事項

1) ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

(24) 強制サーモ OFF 入力

リモコンで設定変更することで，(20)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT，CnTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを強制サーモOFF入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，強制サーモOFF入力モードおよび入力方式を設定します。
RC-DX3Bのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Bワイヤードリモコン）
モード設定	CnT	外部入力１設定：制御が有効
	CnTA	外部入力２設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力１方式："レベル入力"または"パルス入力"
	CnTA	外部入力２方式："レベル入力"または"パルス入力"

(b) 外部入力による動作

(i) 強制サーモOFF入力の切換

1) レベル入力の場合

a) 外部入力ON（CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉）の場合は制御が有効となります。

b) 外部入力OFF（CnT1-6：開またはCnTA1-2:開）の場合は制御が無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力（CnT1-6またはCnTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで制御の有効／無効を反転します。

(ii) 注意事項

1) ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

(25) 一時停止入力

リモコンで設定変更することで，(20)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT，CnTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを一時停止入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，一時停止入力モードおよび入力方式を設定します。
RC-DX3Bのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Bワイヤードリモコン）
モード設定	CnT	外部入力１設定：制御が有効
	CnTA	外部入力２設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力１方式："レベル入力"または"パルス入力"
	CnTA	外部入力２方式："レベル入力"または"パルス入力"

(b) 外部入力による動作

(i) 一時停止入力の切換

1) レベル入力の場合

a) 外部入力ON（CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉）の場合は制御が有効となります。

b) 外部入力OFF（CnT1-6：開またはCnTA1-2:開）の場合は制御が無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力（CnT1-6またはCnTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで制御の有効／無効を反転します。

(ii) 注意事項

1) ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

⑵⑹ 静音モード入力

リモコンで設定変更することで，(20)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT，CnTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを一時停止入力に切換えることができます。

⒜ リモコンによる設定方法

（i）ワイヤードリモコンの室内機能設定により，静音モードおよび入力方式を設定します。
RC-DX3Bのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Bワイヤードリモコン）
モード設定	CnT	外部入力１設定：制御が有効
	CnTA	外部入力２設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力１方式："レベル入力"または"パルス入力"
	CnTA	外部入力２方式："レベル入力"または"パルス入力"

⒝ 外部入力による動作

（i）静音モード入力の切換

1） レベル入力の場合
a） 外部入力ON（CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉）の場合は制御が有効となります。
b） 外部入力OFF（CnT1-6：開またはCnTA1-2:開）の場合は制御が無効となります。
2） パルス入力の場合
外部入力（CnT1-6またはCnTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで制御の有効／無効を反転します。

（ii） 注意事項

1） ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

⑵⑺ 緊急停止信号処理

リモコンで設定変更することで、(20) 項の遠方制御 / 遠方操作用端子 CnT、CnTA の機能切替えを行い、外部信号の入力により、室外ユニットを緊急停止させます。

⒜ リモコンによる設定方法

ワイヤードリモコンの室内機能設定により、緊急停止モードを設定します。

	入力端子	室内機能設定	
		RC-DX3B	RC-D4G
モード設定	CnT	外部入力 1 設定：緊急停止	緊急停止：有効
	CnTA	外部入力 2 設定：緊急停止	設定できません

⒝ 緊急停止信号による動作

外部入力 OFF(CnT1-6 または CnTA1-2：開) の場合、緊急停止します。
入力を入れた室内ユニットは停止し、接続している室外機は [E-63] を発報して緊急停止します。

⑵⑻ 外部入力機能と優先順位

⒜ CnTとCnTAの組合せ優先順位

■CnTとCnTAの組合せ優先順位

		CnTA						
		①運転停止レベル	②運転停止パルス	③運転許可/禁止レベル	④運転許可/禁止パルス	⑤冷暖切換レベル	⑥冷暖切換パルス	⑦緊急停止
CnT	①運転停止レベル	CnT①	CnT①	CnT①+CnTA③	CnT①	CnT①／CnTA⑤	CnT①／CnTA⑥	CnT①<CnTA⑦
	②運転停止パルス	CnT②	CnT②	CnT②+CnTA③	CnT②	CnT②／CnTA⑤	CnT②／CnTA⑥	CnT②<CnTA⑦
	③運転許可/禁止レベル	CnT③>CnTA①	CnT③>CnTA②	CnT③+CnTA③	CnT③	CnT③／CnTA⑤	CnT③／CnTA⑥	CnT③<CnTA⑦
	④運転許可/禁止パルス	CnT④	CnT④	CnT④+CnTA③※	CnT④	CnT④／CnTA⑤	CnT④／CnTA⑥	CnT④<CnTA⑦
	⑤冷暖切換レベル	CnT⑤／CnTA①	CnT⑤／CnTA②	CnT⑤／CnTA③	CnT⑤／CnTA④	CnT⑤	CnT⑤	CnT⑤／CnTA⑦
	⑥冷暖切換パルス	CnT⑥／CnTA①	CnT⑥／CnTA②	CnT⑥／CnTA③	CnT⑥／CnTA④	CnT⑥	CnT⑥	CnT⑥／CnTA⑦
	⑦緊急停止	CnT⑦>CnTA①	CnT⑦>CnTA②	CnT⑦>CnTA③	CnT⑦>CnTA④	CnT⑦／CnTA⑤	CnT⑦／CnTA⑥	CnT⑦+CnTA⑦

注(1) ※部のCnTAによる運転禁止設定中は，以下の運転指令を受付けます。
・リモコンからの個別運転指令,室外からの試運転指令およびオプションからの運転指令

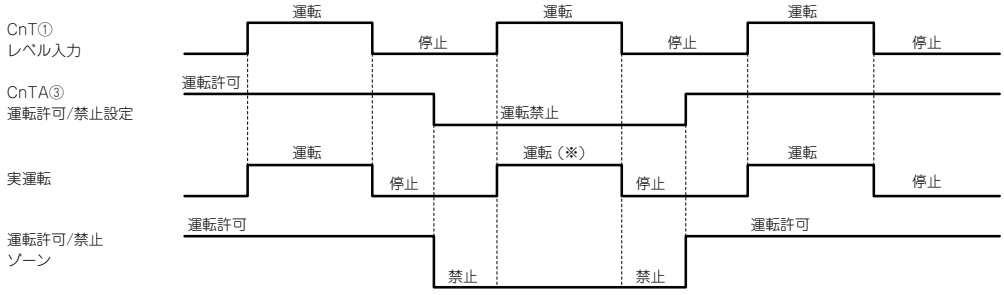
参考:上記記号および組合せ記号の説明

1. CnT"番号"の場合，CnT"番号"採用しCnTAを無効とする。
2. CnTA"番号"の場合，CnTA"番号"採用しCnTを無効とする。
3. CnT"番号"／CnTA"番号"の場合，CnT"番号"とCnTA"番号"は共に独立した機能とする。
4. CnT"番号"+CnTA"番号"の場合，CnT"番号"とCnTA"番号"は競合機能
5. CnT"番号">CnTA"番号"の場合，CnT"番号"はCnTA"番号"より機能の優先順位が高い。
6. CnT"番号"<CnTA"番号"の場合，CnTA"番号"はCnT"番号"より機能の優先順位が高い。

（上記"番号"の部分には,①～⑥の番号が入ります）

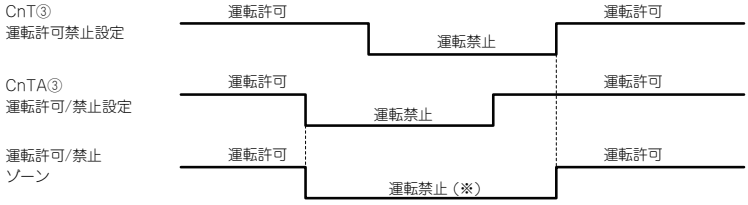
(b) CnTとCnTAでの優先順位例

(i) CnT①運転停止レベル＞CnTA③運転許可／禁止レベルの場合



(※) CnTレベル入力をCnTA運転禁止よりも優先する。

(ii) CnT③運転許可／禁止レベル ＋ CnTA③運転許可／禁止レベルの場合



(※) 運転禁止ゾーンはCnT運転禁止ゾーンとCnTA運転禁止ゾーンのOR判定とする。

(29) 複数台制御 ―― 1リモコンによる16台グループ制御

(a) 機　能

1個のリモコンスイッチで複数台のユニット（室内ユニット・最大16台）をグループ制御できます。リモコンスイッチでセットした「運転モード」でグループの全ユニットは号機No.(1)順に順次運転・停止させることができます。

各ユニットのサーモ，保護機能は独立して機能します。

注(1) 号機No.は室内制御基板上のロータリースイッチSW1，SW2，ディップスイッチSW5-2で設定します。

(b) リモコンへの表示

(i) **センタまたはリモート別，暖房準備：**運転中のユニットでリモートモードの（リモートモードが無い時は，センタモード）最若号機ユニットの表示

(ii) **点検表示，フィルタサイン：**いづれか初発のユニット対応で表示

(c) 接続ユニットの確認

(i) RC－DX3Bリモコンの場合

リモコンのTOP画面より「メニュー」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード」入力→「エアコンNo.表示」の順にボタンをタッチして行くと接続室内ユニットが表示されます。

(ii) RC－D4Gリモコンの場合

リモコンの エアコンNo. ボタンを押すと，室内ユニットアドレスが表示されます。その後▲ ▼ボタンを押すと最若号機から順に表示されます。

(d) 異常時

(i) グループの一部ユニットに異常が発生した場合（保護装置作動）当該ユニットは異常停止しますが，他の正常なユニットはそのまま運転を継続します。

(ii) 配線要領

各ユニットの室内・外接続線は各ユニット毎に通常と同じ配線をしてください。グループ制御用にリモコンの端子台（X，Y）を使用し各室内ユニット間に渡り配線をしてください。

リモコン信号用配線は電源電線または他の電気機械器具電線（AC100V以上）とは分離して配線してください。

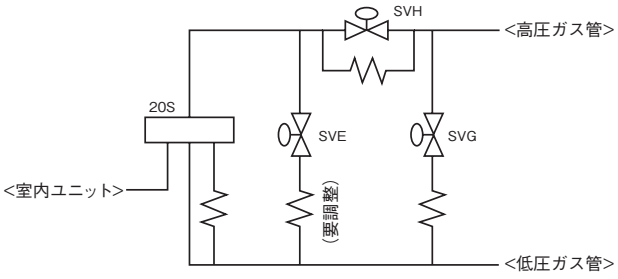
⑶⓪ 分流コントローラ制御（冷暖フリーマルチLXRシリーズのみ）

(a) 新分流コントローラによる新制御（新スーパーリンク制御）
CnT2による制御（冷暖切換時に圧縮機を止めない）
CnT出力は，XR2：暖房出力，XR3：圧縮機ONサーモ出力

(b) 新分流コントローラによる旧制御（旧スーパーリンク制御）
CnT2による制御（冷暖切換時に圧縮機を止める）

(c) CnT2入出力にて冷暖切換時の分流コントローラの制御
① 20S制御（CnT2−2：XB1）
② SVH制御（CnT2−3：XB2）
③ SVG制御（CnT2−4：XB3）
④ SVE制御（CnT2−5：XB4）
・XB1 ～ XB4出力組合せ表〔(Ⅰ)～(Ⅴ)の状態で冷暖フリーマルチ用分流コントローラを制御します〕

運転状態	XB1	XB2	XB3	XB4	モード
冷房（全停止、デフロスト）	×	×	×	×	(Ⅰ)
暖房	○	○	×	×	(Ⅱ)
油戻し	×	○	○	×	(Ⅲ)
均圧 1（冷→暖ほか）	○	×	×	×	(Ⅳ)
均圧 2（暖→冷）	○	×	×	○	(Ⅴ)



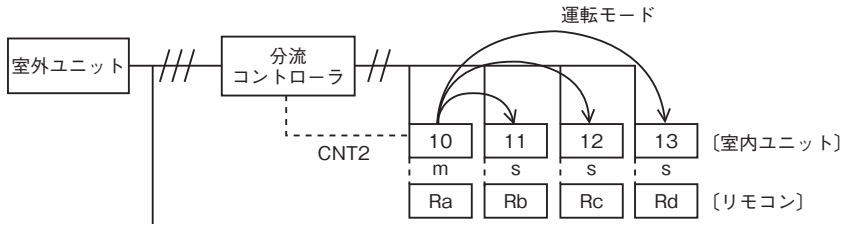
⑶① 冷暖フリーマルチにおける室内ユニット複数台制御（LXRシリーズのみ）

(a) 分流コントローラを直接制御する室内ユニットを親ユニットとします。
同一分流コントローラに接続されている他室内ユニットを子ユニットとします。
リモコンより室内ユニットに対し「親」か「子」を設定する。

(b) リモコンやオプションコントローラ等の外部操作による運転モードの変更は親ユニットのみ可とします。
子ユニットの運転モードの変更は禁止します。

(c) 子ユニットの運転モードは常に親ユニットと同一にします。
ただし，自動については親ユニットが決定した冷/暖どちらかのモードとします。

(d) 運転モード以外については親子ユニット個別に設定可とします。



(ⅰ) リモコンRaより室内ユニット10に「親」設定
(ⅱ) リモコンRb ～ Rdより各室内ユニット11 ～ 13に「子」設定
(ⅲ) リモコンRaより室内ユニット10の運転モードを冷房に設定
⇒室内ユニット10は「子」室内ユニットの運転モードを冷房に指令。
停止「子」室内ユニットの運転モードも変更します。
集中制御機器より室内ユニット10の運転モード変更指令があった場合も同様に「子」室内ユニットへ運転モード指令を実施します。
(ⅳ) 「子」室内ユニット11、12、13へリモコンRd、Rc、Rdもしくは集中制御機器より運転モード変更指令があっても運転モードは変更しません。

㉜ ハイパワー運転〔適用形式：RC-DX3Bリモコンのみ〕

最大能力で，最長15分間運転します。

㉝ 省エネ運転〔適用形式：RC-DX3Bリモコンのみ〕

設定温度を冷房28℃，暖房22℃，自動25℃で固定して運転します。
ワイヤードリモコンの機能設定「冷房/暖房ファン制御：設定風量」で、サーモOFFする場合、室内ファンをULoで運転します。

㉞ ピークカットタイマー〔適用形式：RC-DX3Bリモコンのみ〕

最大能力を制限することで消費電力を削限します。

㉟ ウォームアップ制御〔適用形式：RC-DX3Bリモコンのみ〕

運転開始設定時間にお部屋が設定温度近くになるように，マイコンが運転開始時間を予測して，5 ～ 60分前から運転を開始します。

㊱ 赤外線センサ制御

赤外線センサにより人の有無および活動量をセンサで判定し，下記制御を行います。設定は，RC-DX3Bリモコンの TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「据付設定」→「サービスパスワード」→「据付設定メニュー」→「赤外線センサー設定」の順に選択し，有効・無効の設定をしてください。

ⓐ パワーコントロール制御

赤外線センサにより人の活動量および人の有無を検知し，設定温度を補正します。

ⓑ オートオフ制御

1時間不在の場合は，運転を停止して運転待機状態となります。待機状態が12時間継続した場合は，運転を停止します。

9.2 リモコン機能

(1) RC-DX3B リモコンの場合

(a) リモコンの運転モード選択

(i) TOP画面上より「運転モード」ボタンをタッチしてください。

(ii) 「運転モード」選択画面が表示されますので，ご希望の運転モードをタッチしてください。

(iii) 運転モード選択後，TOP画面に戻ります。



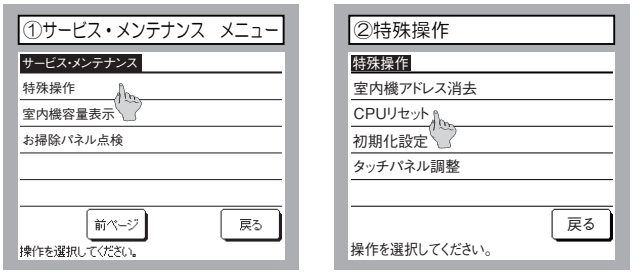
注(1) 室内ユニット-室外ユニットの組合せにより，選択できない運転モードは表示されません。
(2) 自動を選択すると，室温と外温に応じて，冷房・暖房自動切換運転を行います。

(b) CPUリセット

下記手順にてリモコンよりCPUをリセットしてください。

(i) TOP画面の「メニュー」より「サービス設定」→「サービス･メンテナンス」を選択し，サービスパスワードを入力します。

(ii) 「サービス･メンテナンス メニュー」より「特殊操作」→「CPUリセット」の順に選択すると接続している室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット(停電復帰状態)されます。

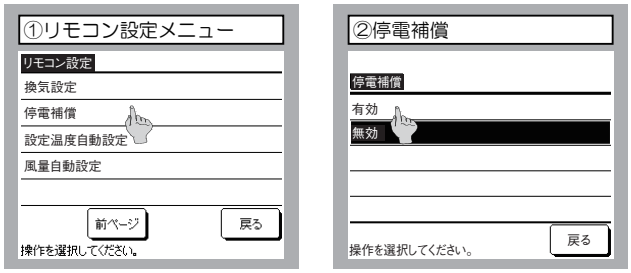


(c) 停電補償機能

下記手順にてリモコンより停電補償機能を有効設定してください。

(i) TOP画面上の「メニュー」より「サービス設定」→「リモコン設定」を選択し，サービスパスワードを入力します。

(ii) 「リモコン設定 メニュー」より「停電補償」を選択し「有効」に設定してください。運転中に停電した場合は，停電復旧(電源投入後の制御終了)後に，停電前の状態に戻ります。



●常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後，記憶内容により運転を再開します。ただしタイマーモードはキャンセルされますが，ウィークリータイマー，ピークカットタイマーおよび室外静音タイマーについては下記内容となります。

・時計機能が有効の場合：設定された内容により機能します。

・時計機能が無効の場合：時計機能を再設定し，リモコンの機能設定によりウィークリータイマー，ピークカットタイマーおよび室外静音タイマーの設定を「有効」にすると記憶された内容で機能します。

●停電補償で記憶される内容は以下のとおりです。

注(1) ⑥，⑦項は停電補償有効・無効にかかわらず記憶されます。

① 停電時　運転中／停止中
時刻切タイマーモード，時間タイマーモードで運転中は，停止中を記憶します。

② 運転モード

③ 風量モード

④ 室温設定

⑤ ルーバのオートスイング／停止
ただし停止位置(4位置)はキャンセルされます。

⑥ 「お掃除パネル設定」「管理者設定」「据付設定」「室内設定」により設定された内容は，室内ユニットが記憶します。

⑦ ウィークリータイマー，ピークカットタイマー，室外静音タイマー

⑧ リモコン設定

(d) 注意喚起表示

下記(ⅰ)～(ⅲ)が表示される場合，以下のとおり確認，処置してください。

(ⅰ) 室内機確認注意喚起



●リモコンと室内ユニット間の通信が確立できない場合に表示します。
システム（室内ユニット，室外ユニット，リモコン）として正しく接続されているか，室外ユニットの電源が接続されているかを確認してください。

(ⅱ) タイマー時刻設定警告



●時刻未設定でタイマー設定をしたときに表示します。
時刻設定を行ってください。時刻設定を行わないとタイマー設定が出来ません。

(ⅲ) 誤接続



●リモコンに空調機以外のものが接続されたとき本表示を行います。
リモコンの接続先を確認してください。

(e) 設定および表示項目

RC-DX3Bリモコンの場合

●接続する機種により設定できる項目が異なります。

PJZ000Z332

設定および表示項目			詳細内容
1.リモコンネットワーク			
1	複数室内機制御		リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内ユニットを接続制御できます。室内機側にアドレスを設定します。
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスリモコン)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。
2.TOP画面・SW操作			
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。
3	設定温度		室温を0.5℃単位で設定します。
4	風向		風向を設定します。おまかせ気流の有効/無効を設定します(FDKの場合)。
5	風量		風量を設定します。
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。
7	運転／停止SW		運転を開始します。／停止します。
8	F1スイッチ		F1スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。
9	F2スイッチ		F2スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。
10	言語切換		リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語/日本語 ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/オランダ語/ トルコ語/ポルトガル語/ロシア語/ポーランド語/中国語
3.便利機能			
1	フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲(上限位置−下限位置)を設定します。 FDKの場合は左限位置−右限位置も設定します。
2	エアフレックス(風よけ)設定 エアフレックスパネル組合せの場合		・ 詳細設定:各運転モード、各吹出口のエアフレックス(風よけ)機構動作の有効・無効を設定します。 ・ ON/OFF切換:詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックスON/OFF(作動中/停止中)を切換えます。
3	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・ 1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ・ 運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・ 1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 1回のみ／毎日の切換が可能です。 ・ 運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 1回のみ／毎日の切換が可能です。
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。
4	おこのみ設定 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定1、おこのみ設定2のそれぞれに設定が可能です。
5	ウィークリータイマー		1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・ 1日最大8パターンまで設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・ 運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
6	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温/低温にならないように温度を保ちます。 ・ 外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ・ 設定温度、風量の設定が可能です。
7	換気 換気機器組合せの場合		換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・ 換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。
8	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・ 選択できる言語は下記です。 英語/日本語 ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/オランダ語/ トルコ語/ポルトガル語/ロシア語/ポーランド語/中国語
9	室外静音設定		室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・ 室外静音運転の開始・停止を設定します。
10	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・ 室内ユニット−室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。
11	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・ 室内ユニット−室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

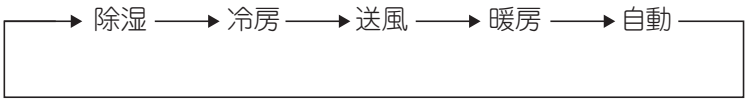
設定および表示項目			詳細内容
4.省エネ設定			管理者パスワード
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・ 設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ・ 設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・ 1日最大4パターンまで設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 能力制限率は0,40～80%(20%単位)から選択可能です。 ・ 祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・ 暖房モード/冷房モード他、各々設定可能です。 ・ 設定時間は20～120分(10分単位)まで設定可能です。 ・ 設定時刻は10分単位で設定可能です。
4	人感センサー制御 人感センサー付パネル組合せの場合		人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートセーブの有効／無効を設定します。
5.お手入れ			
1	フィルターサイン リセット	フィルターサインの解除	フィルターサインの解除を行います。
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。
2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル　グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の 設定が必要です。
		降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・ 0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ・ 設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ・ 接続室内ユニット毎に設定できます。
		ダスト回収リセット お掃除パネル組合 せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。
3	お掃除パネル設定	お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。
		清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。
	管理者パスワード	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。
		ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。
		ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。
6.ユーザ設定			
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・ 80時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計 は動き続けます。
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12H／24H、AM/PM位置、を設定します。
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋1時間の補正を行います。
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。
		運転ランプ輝度	運転ランプの輝度の調整を行います。
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・ 操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ・ 操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定] [言語切換設定] [ドラフト防止設定]
		室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・ 静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。

設定および表示項目				詳細内容
2	管理者設定	温度設定刻み切換		設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。
		設定温度表示切換		設定温度の表示の仕方を切り換えます。
	管理者パスワード	リモコン表示設定		リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり/なしを設定します。
		管理者パスワード変更		管理者パスワードの変更を行います。
				管理者パスワードのリセットを行います。
		スイッチ機能変更		F1、F2スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 「エアフレックスON/OFF」 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]
7.サービス設定				
1	据付設定	据付日登録		据付日を登録した場合、点検表示を行います。
	サービスパスワード	サービス情報入力		リモコンに連絡先を登録することができます。 ・ 連絡先を半角26文字相当以内で登録できます。 ・ 連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。
		試運転		試運転の開始／停止を制御できます。
			冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。
			ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。
			お掃除試運転	フィルタ清掃　ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合
		ダクト機静圧補正		機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・ 接続室内ユニット毎に個別に設定できます。
		自動アドレス変更		個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。
		親室内機アドレス設定		個別発停マルチシリーズ　設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。
		バックアップ制御		1台のリモコンに室内ユニット2台（2グループ）が接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。
		人感センサー設定 人感センサー付パネルの組合せの場合		リモコンに接続された室内機の人感センサー検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の赤外線センサー制御を行うことができません。
		グリル昇降操作		ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合
2	リモコン設定	リモコン親子設定		リモコン親子設定の変更ができます。
	サービスパスワード	吸込センサー制御		1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・ 個別／親機／平均の選択が可能です。
		リモコンセンサー		リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。
		リモコンセンサー補正		リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。
		運転モード選択		各運転モード毎に有効／無効を設定できます。
		設定温度単位		設定温度の単位を設定します。 ・ ℃／℉の選択が可能です。
		ファン速度		ファン速度の選択が可能です。
		外部入力設定		1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。
		上下ルーバ制御		上下ルーバの[4位置停止]／[フリー停止]の切換ができます。
		左右ルーバ制御		左右ルーバの[固定位置停止]／[フリー停止]の切換ができます。
		換気設定		換気ユニット組合せ制御が設定できます。
		停電補償		停電復帰した場合の制御内容を設定できます。
		設定温度自動設定		設定温度自動の有効／無効を選択できます。
		風量自動設定		風量自動の有効／無効を選択できます。
3	室内設定	風速設定		室内ユニットの風量タップを設定します。
	サービスパスワード	フィルターサイン		フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。
		外部入力1設定		外部入力1の制御内容を換えられます。
		外部入力1方式切換		外部入力1の信号方式を換えられます。
		外部入力2設定		外部入力2の制御内容を換えられます。
		外部入力2方式切換		外部入力2の信号方式を換えられます。
		暖房室温補正		暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で補正できます。
		吸込温度補正		吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。

設定および表示項目				詳細内容
3	室内設定 サービスパスワード	冷房ファン制御		冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
		暖房ファン制御		暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
		フロスト防止温度		冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。
		フロスト防止制御		冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。
		ドレンポンプ運転		冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。
		冷房ファン残留運転		冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
		暖房ファン残留運転		暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
		暖房ファン間欠		暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。
		送風サーモ運転		送風時のサーキュレータ運転を設定できます。
		外調機設定		マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。
		運転モード自動設定		運転モード自動判定方法を3種類から選択できます。
		サーモ判定切換		サーモ判定を室外温度で補正することができます。
		風量自動切換		風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。
		室内過負荷アラーム		運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CNT-5)から過負荷アラーム信号を送信します。
		外部出力設定		外部出力1～4に割り当てる機能を換えられます。
4	サービス・メンテナンス サービスパスワード	エアコンNo. 表示		リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。
		次回点検日		次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。
		運転データ表示		室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。
		点検表示		
			異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。
			異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。
			異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。
			定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。
		室内設定保存		接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。
		特殊操作		[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。
		室内機容量表示		リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。
		お掃除パネル点検		お掃除パネルの詳細点検操作ができます。
8.困ったときは・・・				
1	連絡先表示			登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。
2	サービスを依頼される前にQ＆A			Q＆Aが表示されます。
9.点検表示				
	点検表示確認			異常発生時の表示
10.パソコン接続				
	USB接続			ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。

⑵ RC-D4G リモコンの場合

⑻ リモコンの運転モードスイッチ切換順



⑼ CPU リセット

リモコンの 点検 グリル昇降 ボタンを同時に押した場合に機能します。電源リセットと動作は同じです。

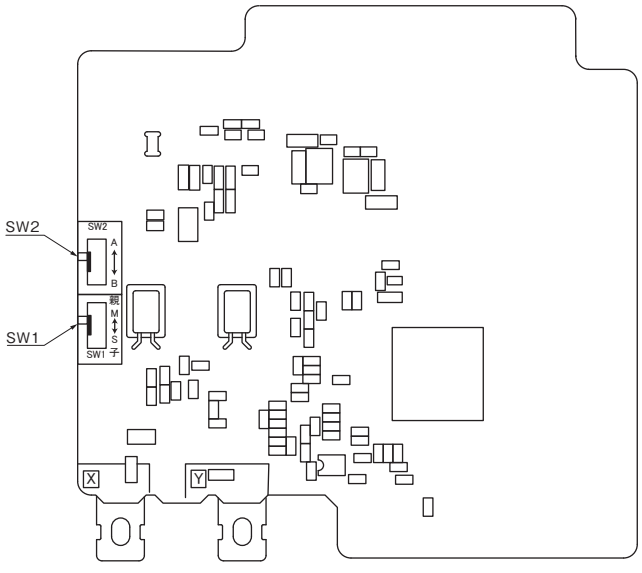
⑽ 停電補償機能

- リモコン機能設定により「停電補償有効」の設定をすると有効となります。
- 常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後，記憶内容により運転を再開します。ただしオートスイング停止位置，タイマーモードはキャンセルされますがウィークリータイマー設定は全曜日とも休日設定で復帰します。
  復電後，時刻合わせを行い，各曜日の休日設定を解除することにより，ウィークリータイマーの設定が有効となります。
- 停電補償で記憶される内容は以下のとおりです。

注⑴ ⑥，⑦，⑧項は停電補償有効･無効にかかわらず記憶され，静音モード設定は停電補償有効･無効にかかわらずキャンセルされます。

① 停電時　運転中／停止中
時刻切タイマーモード，時間タイマーモードで運転中は，停止中を記憶します。（復電時タイマーモードはキャンセルされますが，ウィークリータイマー設定は全曜日が休日設定となります。）
② 運転モード
③ 風量モード
④ 室温設定
⑤ ルーバのオートスイング／停止
ただし停止位置（4 位置）はキャンセルされます。
⑥ リモコン機能設定により設定された「リモコン機能項目」（「室内機能項目」は室内ユニットが記憶します。）
⑦ 温度設定制御で設定した上限値，下限値。
⑧ 時間タイマー，ウィークリータイマー設定（その他のタイマー設定は記憶しません。）

リモコン基板の部品配置



■制御切換スイッチ（SW1）

スイッチ	設定	機能内容
SW1	親	親リモコン
	子	子リモコン

注⑴ SW2 は，通常使用しませんので，切換えないでください。

10. 電装品故障診断要領

10.1 故障診断の基本

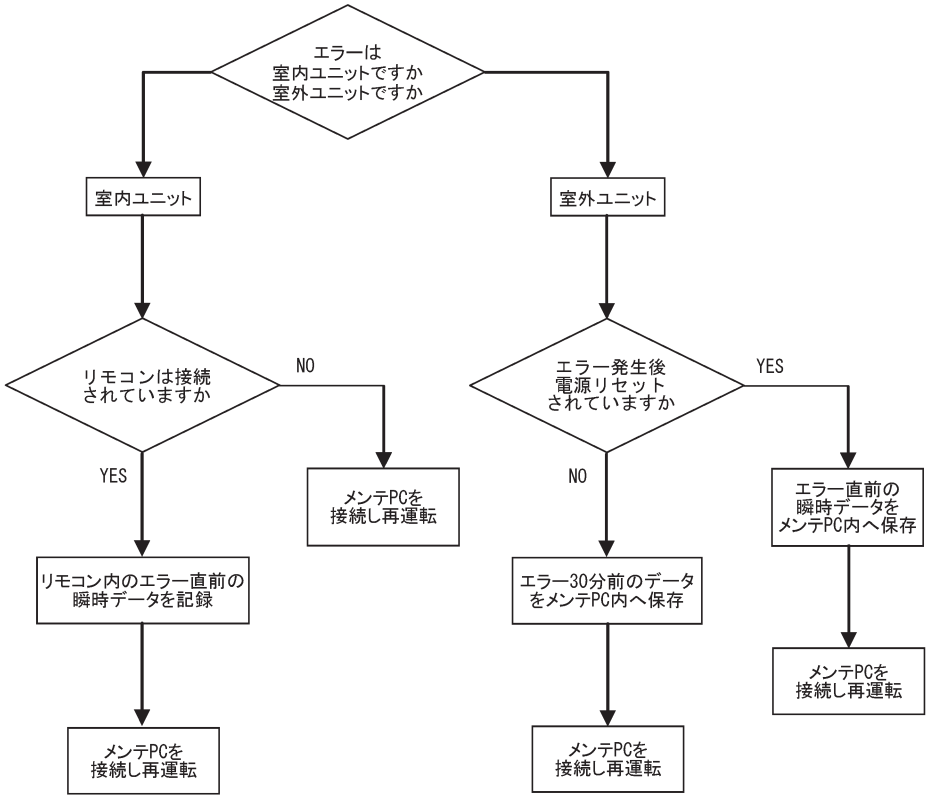
故障診断の基本はメンテ PC を接続してデータを確認／分析／記録することです。

現地に着いたら必ずメンテ PC を接続して作業してください。

エラーデータの分析方法（基本的な進め方）

- エラーは運転中に発生したのか停止時に発生したのか
- 室外ユニット／室内ユニットの設置条件によるものか（冷媒量，配管長，ショートサーキット，フィルタのつまり等）
- 設置上の初歩的なミスはないか（アドレスミスや配管と配線のテレコ等）
- ハード面（部品）の故障かどうか（SV 本体，コイル，キャピラリ，逆止弁，センサ等）
- 要注意部品かどうか

  圧縮機，インバータ基板，室外 DC ファンモータ
- 電装品部品の故障かどうか



10.2 故障診断の内容

(1) 点検表示一覧

リモコン表示	7 セグメント表示	内容	分類	記載ページ
なし	−	運転するが，冷えない	システム異常	89
なし	−	運転するが，暖まらない	システム異常	90
なし	−	漏電ブレーカ作動	システム異常	91
なし	−	音・振動が非常に大きい（その 1）	現地設置不良	92
なし	−	音・振動が非常に大きい（その 2）	ユニット異常	93
なし	−	音・振動が非常に大きい（その 3）	ユニット異常	94
なし	−	ルーバモータが回らない	ルーバモータ異常	95
なし	−	電源系統異常（室内基板への電源供給）	配線接続不良	96
なし	−	電源系統異常（リモコンへの電源供給）	配線不良	97
なし	−	内機確認中	通信不良	98~103
無表示	−	〔無表示〕	通信不良	104
E1	−	リモコン通信回路不良	通信異常	105
E2	−	室内アドレス重複	アドレス設定不良	106
E3	−	室外・信号系統異常	アドレスペアリング設定不良	107
E5	−	運転中に通信異常	通信異常	108
E6	−	室内熱交温度センサ不良	センサ断線	109
E7	−	室内吸込温度センサ不良	センサ断線	110
E9	−	ドレン不良	システム異常	111
E10	−	1 リモコン複数台制御時接続台数オーバ（17 台以上）	通信異常	112
E11	−	室内ユニットアドレス設定不良	アドレス設定不良	113
E12	−	室内ユニットでのアドレス設定不良	アドレス設定不良	114
E16	−	室内ファンモータ異常	室内ファンモータ異常	115
E18	−	親子室内アドレス設定不良	システム異常	116
E19	−	運転チェックモード異常	設定不良	117
E20	−	室内ファンモータ回転数異常	室内ファンモータ異常	118
E28	−	リモコン温度センサ断線	センサ断線	119
E63	E63	緊急停止	現地設定不良	120

(2) 故障診断

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 運転するが，冷えない
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1．対象機種

全機種

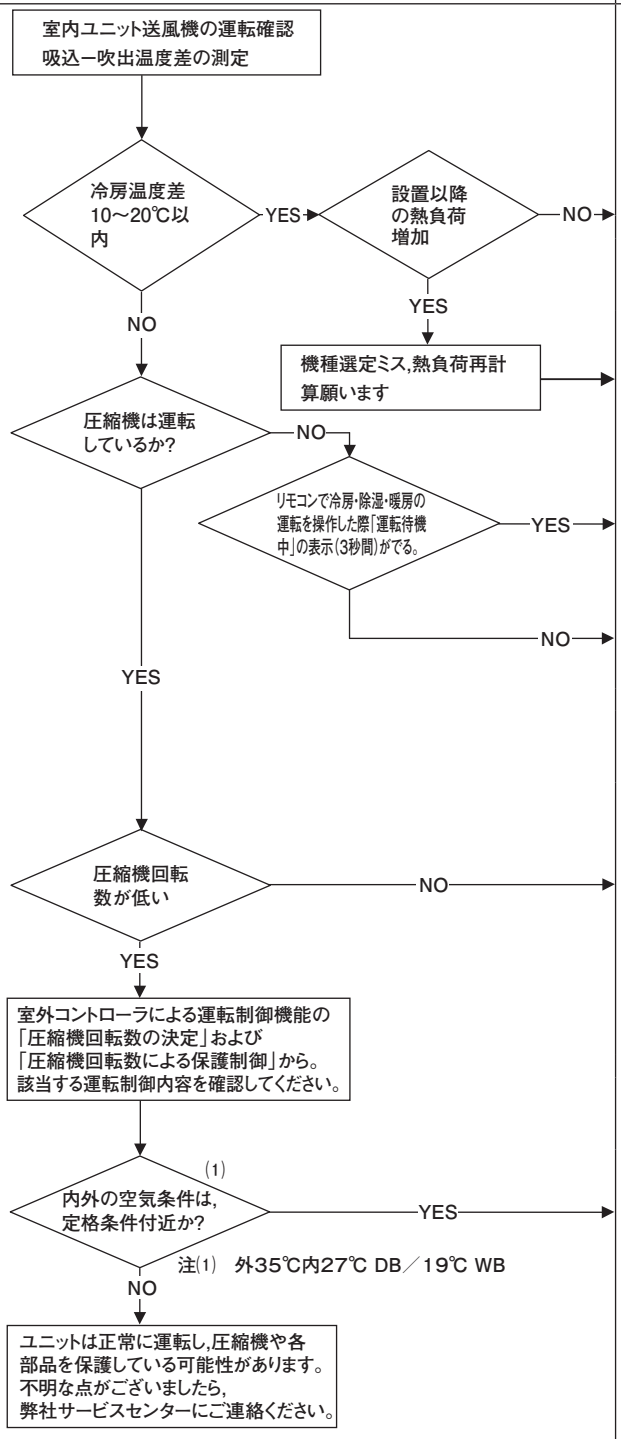
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・圧縮機の圧縮不良
・膨張弁動作不良

5．故障診断と処置



診　断	処　置
	正常です。 (本ユニットは，電源リセット後再スタートする場合圧縮機ドーム温度検知によりソフトスタートします。)
	増設の検討が必要です。
	圧縮機の冷凍機油保護制御が作動しています。 制御内容は，マイコン制御機能の圧縮機始動制御をご覧ください。
	異常検出制御により圧縮機を停止させている可能性があります。 マイコン制御機能の圧縮機回転数による異常停止制御の内容をご確認ください。
	下記点検を行う ・軽度フィルタの詰り ・軽度熱交換器の汚れ ・軽度ショートサーキット ・軽度冷媒量過不足 ・圧縮機圧縮不良 該当する運転制御より原因と思われる箇所の点検を行う。
	下記は参考にしてください。 ・重度のフィルタ詰り ・重度の熱交換器の汚れ ・重度のショートサーキット ・重度の冷媒量過不足 ・圧縮機保護始動中 ・室内ユニットファンタップ ・サイレントモードの有効設定

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

運転するが，暖まらない

1．対象機種

全機種

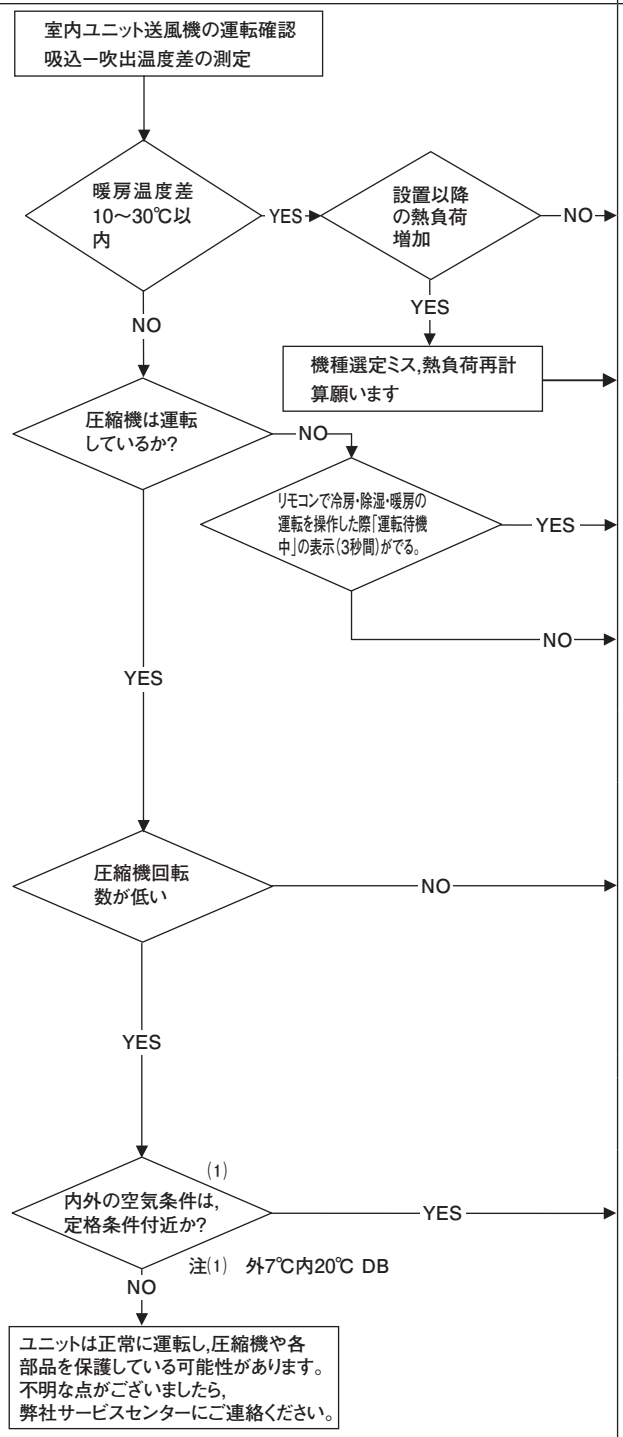
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・四方切換弁動作不良
・圧縮機の圧縮不良
・膨張弁動作不良

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	消灯

内容

漏電ブレーカ作動

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・圧縮機不良
・ノイズ

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
圧縮機の絶縁抵抗,巻線抵抗OK? → NO	圧縮機交換※
各ハーネス類は絶縁が確保されているか? 板金などの噛込みはないか? → NO	絶縁抵抗確保

YES → 室外アース線／漏電しゃ断器チェック

室外アース線／漏電しゃ断器チェック

①アース線は，室外ユニットのアースねじ部から配電盤のアース端子まで，単独の線で工事してください。(他のアース線との接続はしないでください。)
②漏電しゃ断器自体の誤作動を防止するため，高調波対応品であるか確認してください。

※圧縮機の絶縁抵抗について
●据付直後，　もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合，圧縮機に冷媒が溜まることにより，絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく，漏電ブレーカが作動する場合は，以下の事項を確認ください。
①電源を投入し，6時間程度経過後，絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより，圧縮機に通電加熱を行い，圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており，漏電ブレーカの誤動作を防止するため，高調波対応品を使用してください。

注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい（その 1）
	室内	ー	ー	
	室外	ー	ー	

1. 対象機種

全機種

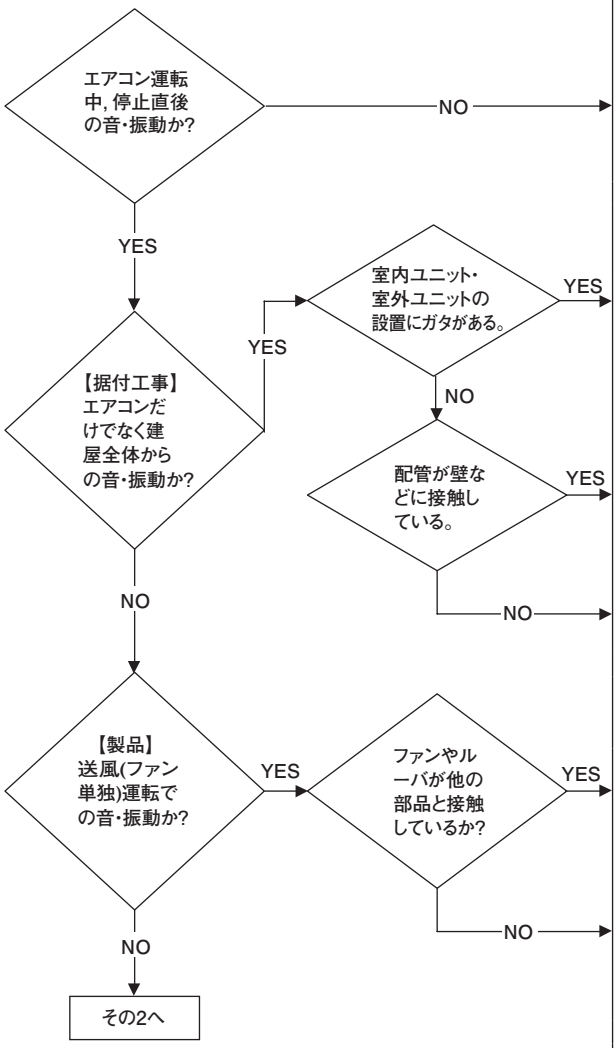
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	停止後充分時間経過して音・振動が大きい場合エアコンが原因ではないと考えられます。 設置状態をよく見て設置状態を修正したりゴムなどのクッション材を入れるなどしてガタをなくしてください。 配管を壁などの面に固定したり，壁穴に通す場合ゴムなどのクッション材を配管の周囲に巻いて配管の振動が伝達されないようにしてください。 天井面，壁面，床面など強度不足の可能性が考えられます。設置場所の見直し，または強度 UP のための補強を立ててください。 ユニットの傾き設置，ファンやルーバ，モータの取付異常を確認して接触原因を特定したあと修正してください。 熱交やフィルタに目詰りがある場合は清掃してください。 また，ファンやモータの回転に伴ってブーン，リーン，ウオンウオンといった音色の音・振動を発生する場合がありますが異常ではありません。 （耐え難い大きさの場合は弊社に相談してください。）

注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい（その2）
	室内	ー	ー	
	室外	ー	ー	

1. 対象機種

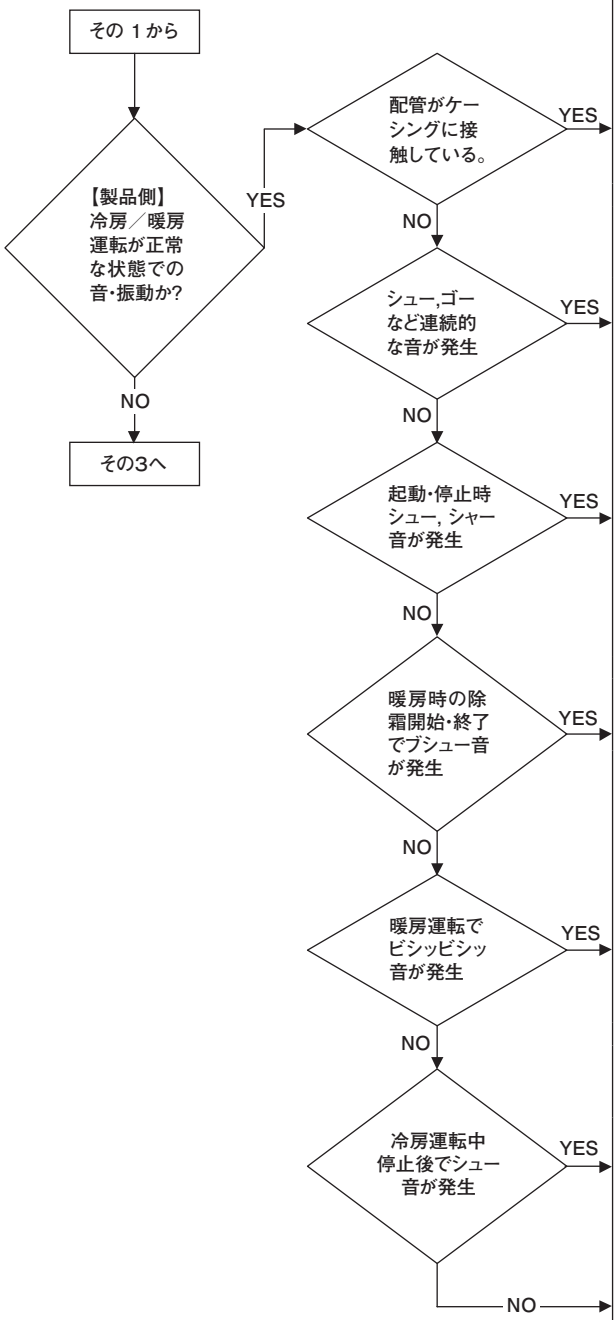
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	ケーシングに接触しないように配管引き回しを修正します。 エアコン内部の配管中をガス冷媒や液冷媒が流れることで発生する音・振動です。特に冷房中や暖房時の除霜中は発生しやすく異常ではありません。 冷媒が流れ始めたり流れが止まることで発生する音・振動です。異常ではありません。 暖房時の除霜開始・終了では四方弁の切替によって冷媒の流れ方向を反転させています。この際，配管内に大きな圧力変化が起きるためブシューといった音色の音が発生します。また，上記のシャー，シュー音も発生します。異常ではありません。 暖房運転開始・停止後や除霜中において，急激な温度変化により樹脂部品が収縮・膨張することで発生する音です。異常ではありません。 室内ユニットドレン水を排出するドレンポンプの運転音です。冷房運転停止後も 20 分間運転します。異常ではありません。 減圧 (膨張弁)，キャピラリ部など発生源と考えられる部位に防音用ダンパシーラントを貼付けてください。

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	ー	ー
室外	ー	ー

内容
音・振動が非常に大きい（その3）

1. 対象機種

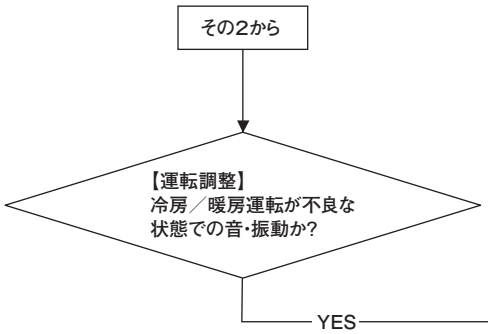
全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	冷房／暖房運転で温度が適正でない不良な状態の場合，以下の懸念があります。 ・冷媒の過多充填 ・冷媒の不足充填 ・空気，窒素などの混入 このため，冷媒回収，真空乾燥，冷媒再充填を実施してください。 ※音・振動はさまざまなことが原因となって発生するため，上記の内容に当てはまらない場合があると思われます。 その場合，以下の点を確認・メモした後弊社に相談願います。 ・室内／室外ユニット ・冷房／暖房／送風 ・起動／停止／運転中 ・運転状態（室内外温度，圧力） ・発生時間 ・圧縮機回転数，熱交センサ温度，電子膨張弁開度等のリモコンによる運転データ ・音色 ・その他気付き事項

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

ルーバモータが回らない

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ルーバモータ不良
・ルーバモータ配線断線
・室内ユニット基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
▲室内ユニット側で点検してください。 1分以上経過してから操作してください。 電源投入時ルーバが動作するか? NO → ルーバモータ配線は断線しているか? YES → 配線修理 ルーバモータ配線は断線しているか? NO → ルーバモータはロックしているか? NO → 室内ユニット基板交換 ルーバモータはロックしているか? YES → ルーバモータ交換 電源投入時ルーバが動作するか? YES → リモコンでルーバモータは動作するか? YES → 正常 リモコンでルーバモータは動作するか? NO → ルーバモータ交換（ルーバモータを交換しても異常が出る場合には, 室内ユニット基板を交換してください。）	

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内基板への電源供給）

1．対象機種

全機種

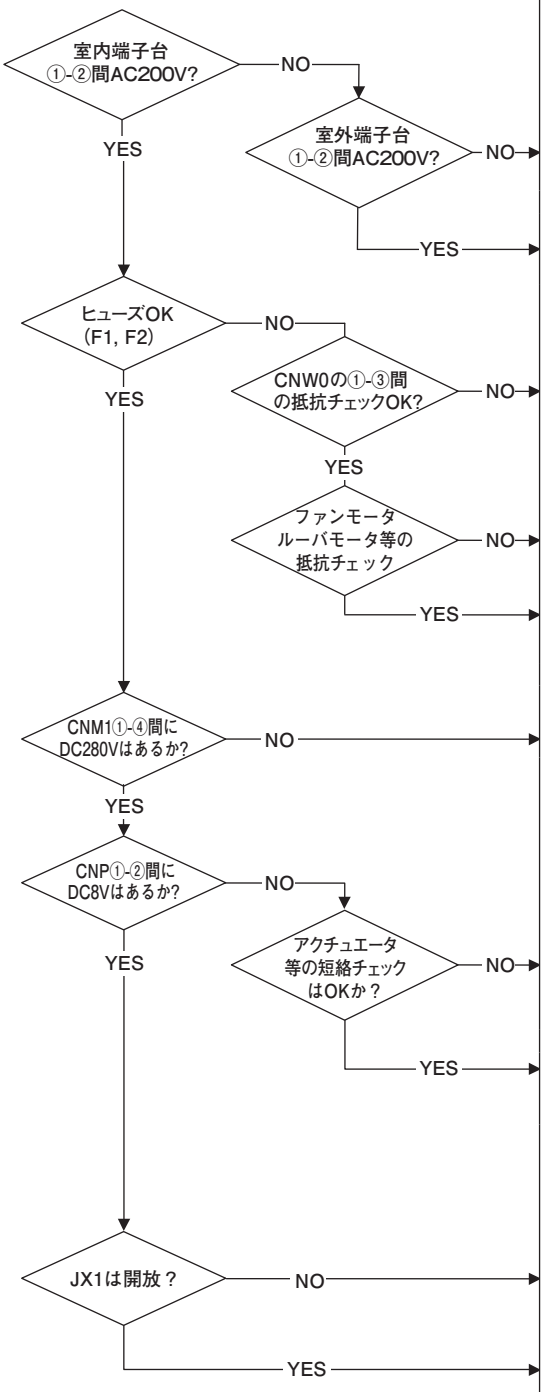
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・渡り配線，誤接続 or 断線
・ヒューズの断線
・トランスの故障
・室内ユニット基板故障
・ハーネス断線

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	連続点滅
室外	消灯	連続点滅

内容

電源系統異常
（リモコンへの電源供給）

1．対象機種

全機種

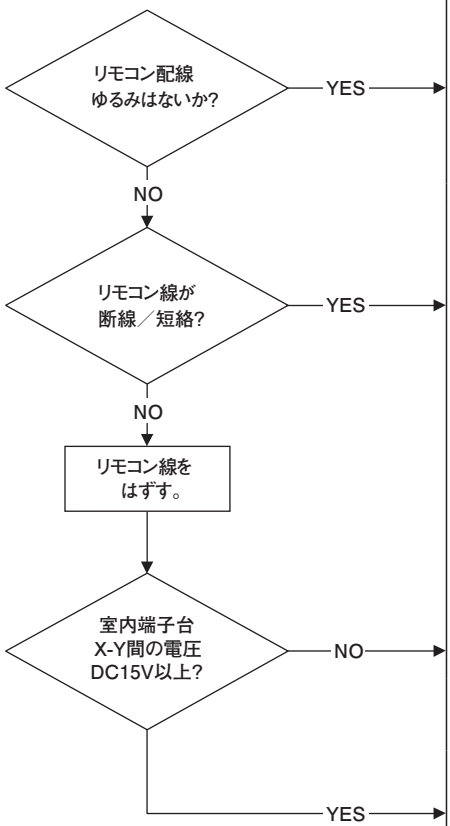
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・リモコン線断線／短絡
・リモコン不良
・ノイズ誤動作
・室内ユニット基板故障
・ハーネス断線

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 内機確認中
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	連続点滅	

1. 対象機種

全機種
（電源投入後２分待ってもリコモンLCD「内機確認中」表示のままの場合）

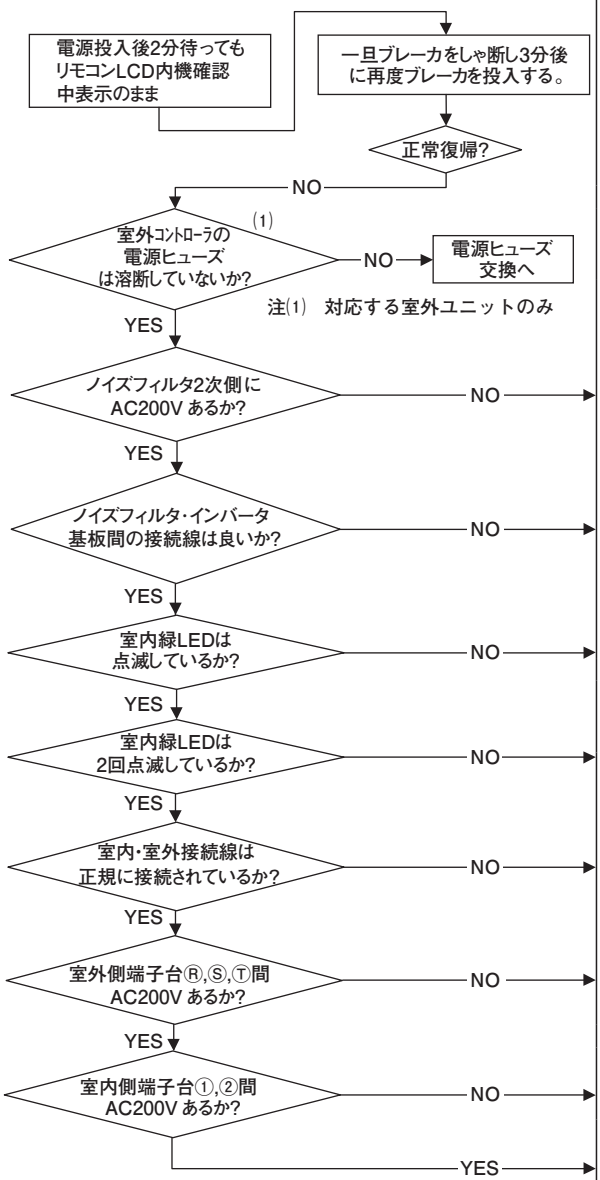
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・室内ユニット基板故障
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板故障

5. 故障診断と処置



注記：通信中に異常が発生した場合は故障記号 E5 を表示します。（室外赤 LED2 回点滅）点検要領は上記と同一です。（ただし，接続関連は除く）また，E5 発生後電源リセットした場合，異常が継続しておればリモコン LCD「内機確認中」表示になります。短時間（1 分以内）にブレーカ電源投入を繰り返すと内機確認中表示することがあります。この場合，ブレーカを OFF して 3 分お待ちください。

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 内機確認中
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	連続点滅	

1. 対象機種

全機種
(ヒューズ溶断の場合,
電源ヒューズ交換前の
インバータ点検方法)

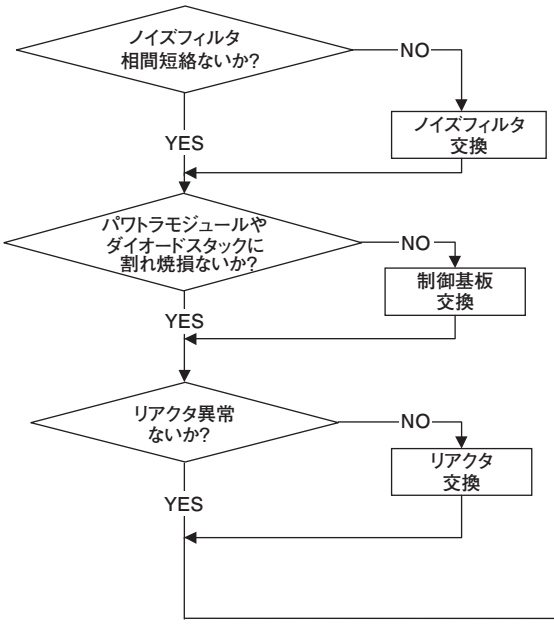
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・室内ユニット基板故障
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板故障

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	ヒューズ交換

注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 内機確認中
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	連続点滅	

1. 対象機種

全機種
（電源投入後リモコン無表示の場合）

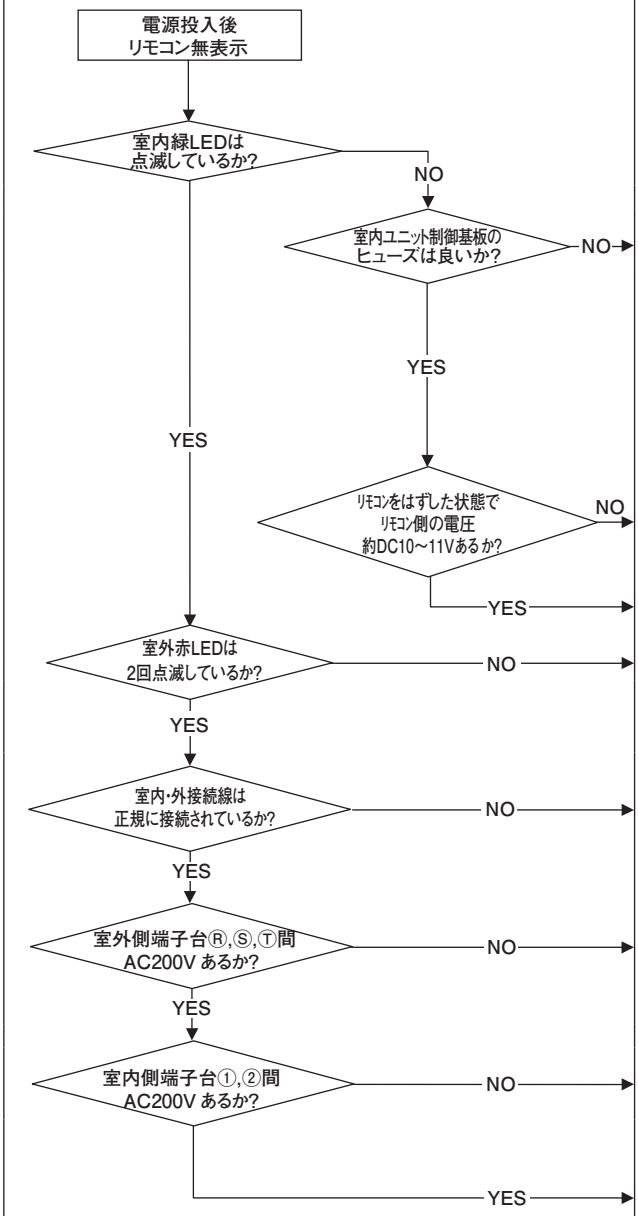
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・室内ユニット基板故障
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板故障

5. 故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 内機確認中
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	連続点滅	

1. 対象機種

全機種
（電源投入後２分待ってもリモコンLCD「内機確認中」表示のままの場合）

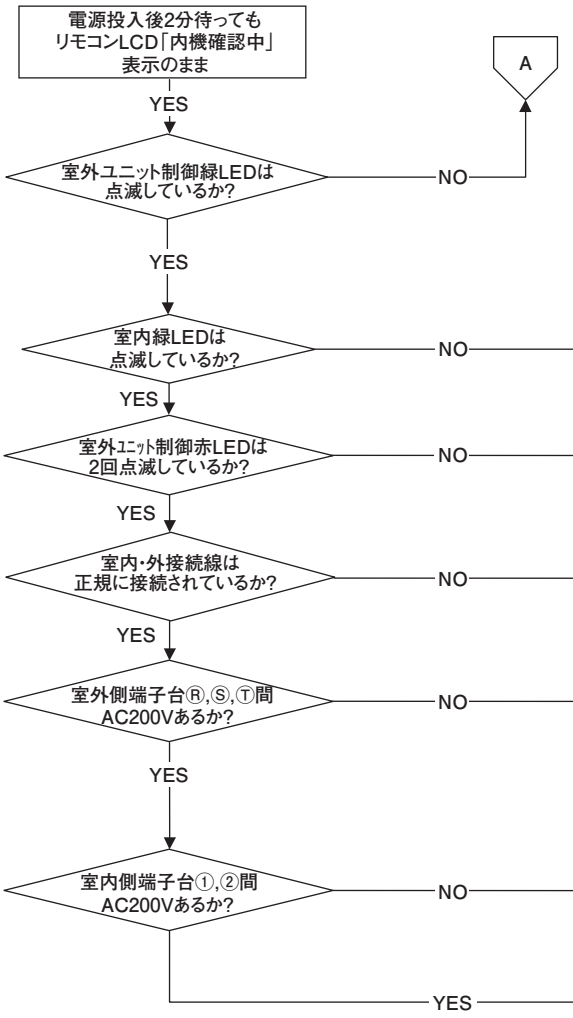
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・室内ユニット基板故障
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板故障

5. 故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 内機確認中
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

1. 対象機種

全機種
（室外ユニット制御基板LEDが消灯している場合の診断）

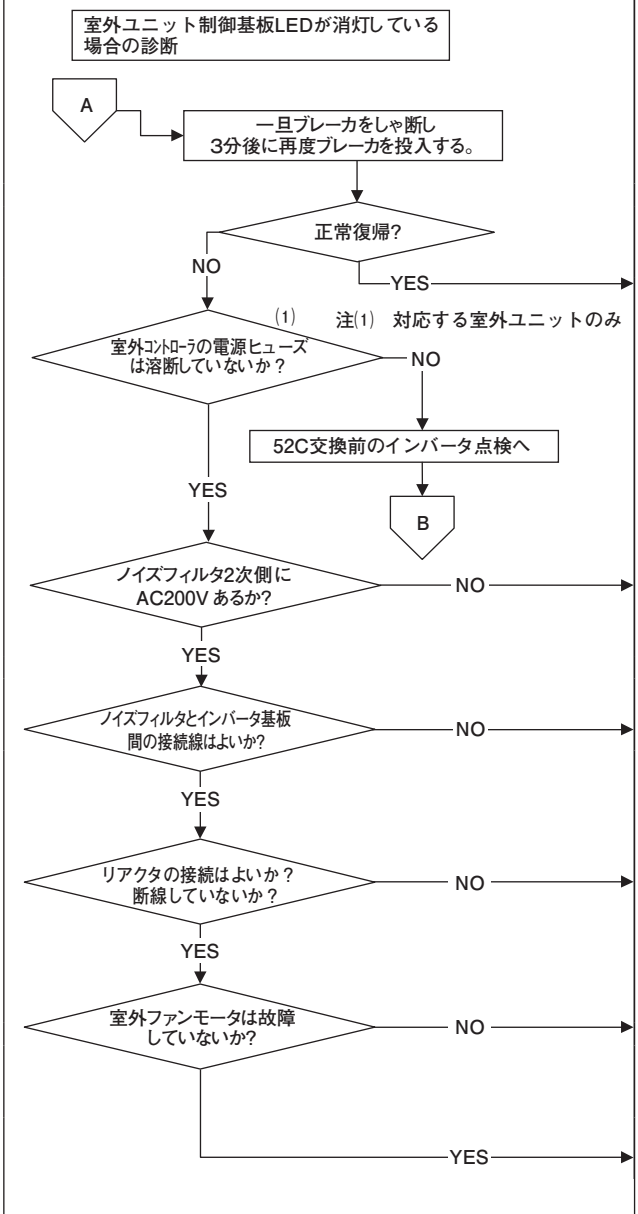
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・室内ユニット基板故障
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板故障

5. 故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容 内機確認中
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

1. 対象機種

全機種
(ヒューズ溶断の場合,
電源ヒューズ交換前の
インバータ点検方法)

2. 異常検出方法

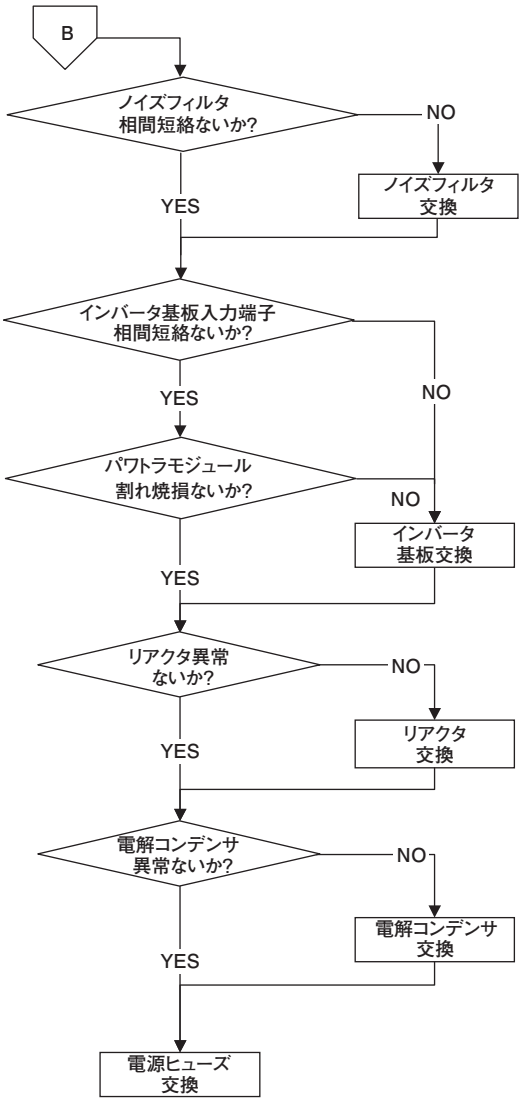
3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・室内ユニット基板故障
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板故障

5. 故障診断と処置

診　断	処　置



注記：

表示
リモコン:無表示

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	消灯

内容

〔無表示〕

1. 対象機種

全機種
（電源投入後リモコン無表示の場合）

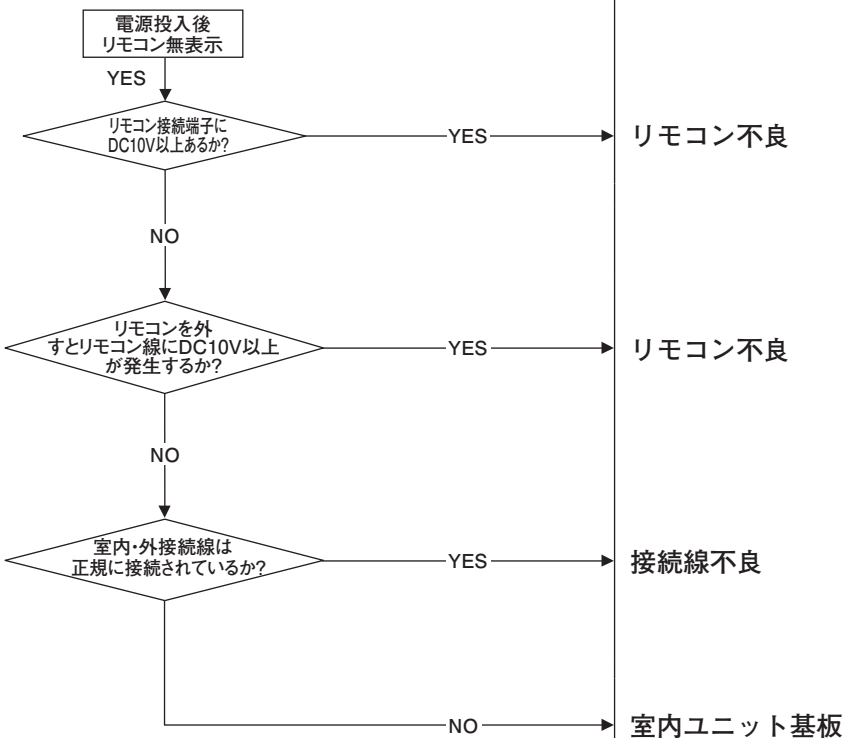
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・室内ユニット基板故障
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板故障

5. 故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E1	LED	緑	赤	内容 リモコン通信回路不良
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

リモコンー室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合(リモコンでのみ検出)

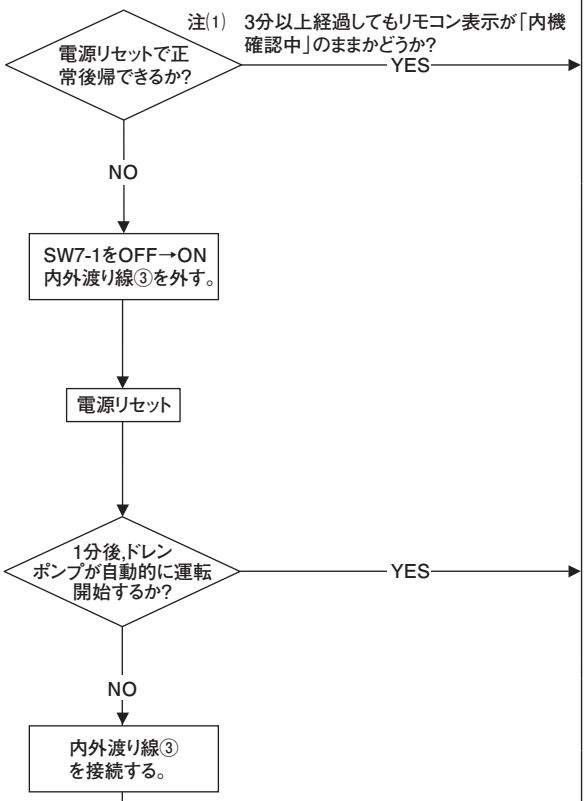
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・リモコンー室内ユニット間通信回路不良
・ノイズ

5. 故障診断と処置



注記：室内側ではリモコンと 180 秒間正常に通信できない場合，室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

表示
リモコン:E2
7セグメント:－

LED	緑	赤
室内	連続点滅	連続点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内アドレス重複

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

同一系統内で室内ユニットが**129台以上接続**
室内アドレス重複

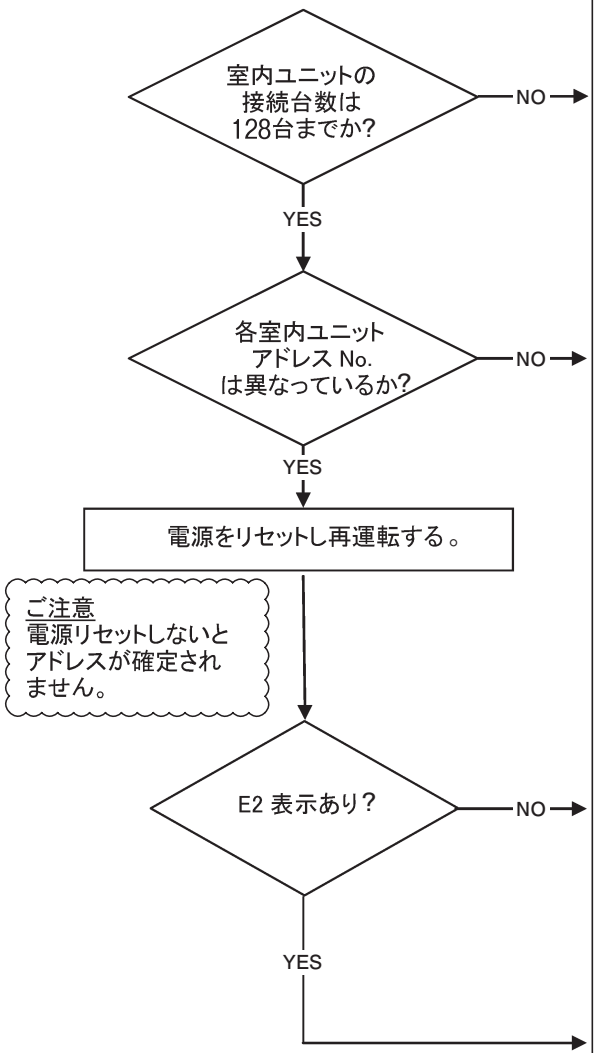
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

①室内接続台数制限オーバ
②室内アドレスNo.重複
③室内ユニット基板不良

5. 故障診断と処置



注記:

表示 リモコン:E3/5 7セグメント:−	LED	緑	赤	内容
	室内	連続点滅	連続点滅	室外・信号系統異常
	室外	連続点滅	消灯	

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

同一系統内に室外ユニットがない

3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外ユニットの電源未投入
・室内・外のペアリング不適合
・室内ユニット基板不良
・室外ユニット基板不良
・現地配線未接続

5．故障診断と処置

診　断	処　置
E3は室内外の通信が一度も成立しない時に発生する通信エラーです。一旦室内外の通信が成立すればE5となります。共に，現地通信用配線を確認してください。	
電源リセットし再運転する。	
E3/E5発生 YES	ノイズによる一過性の誤動作，ノイズ源あれば修正
NO	
スーパリンク回路の保護ヒューズ切れ YES	予備回路に変更
NO	
室内基板LED OKか? NO	室内ユニット基板交換
YES	
室外ユニット電源確認OKか? NO	修正
YES	
室内に設定した室外アドレスはOKか? NO	修正
YES	
スーパリンク信号線接続はOKか? NO	修正
YES	
	室外ユニット基板交換

注記：

表示 リモコン:E5	LED	緑	赤	内容
	室内	連続点滅	下記参照	運転中に通信異常
	室外	連続点滅	2回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内－室外が2分以上正常に通信ができない場合

3. 異常発生条件

運転中に同上を検知

4. 予想原因

・号機設定ミス
・リモコン配線断線
・リモコン配線接続不良
・室内ユニット基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
室内赤LEDが2回点滅の場合	
注(1)　室外端子台での接続不良(外れ,緩み)を点検 室外ユニット側で信号線の接続OK?	
NO	信号線修理
YES 注(2)　室内～室外ユニット間信号線の接続不良または断線を点検。 室内～外ユニット間信号線の接続OK?	
NO	信号線修理
YES 電源リセット	
リモコンLCDは正常に戻ったか?	
NO	「内機確認中」表示の診断へ
YES	ユニットは正常です。(一過性ノイズ等による誤作動)
室内赤LEDが消灯	
電源リセット	
NO	
リモコンLCDは正常に戻ったか?	
NO	室外ユニット基板不良(ネットワーク通信回路不良)→交換
YES	ユニットは正常です。(一過性ノイズ等による誤作動)

注記：ポンプダウンスイッチを押すと，室内ユニットとの通信をキャンセルするため，リモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが異常ではありません。

表示 リモコン:E6	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	1回点滅
	室外	連続点滅	消灯

内容

室内熱交温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内熱交温度センサ
(Thi-R1, R2, R3)
の異常低温および異常高温(抵抗)を検知

3. 異常発生条件

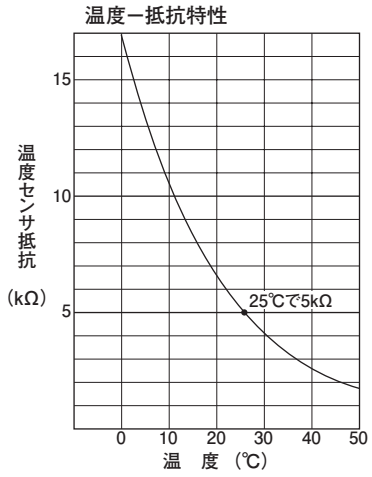
・温度センサが,圧縮機ON2分後の20秒間に断線を連続5秒間検知
・冷房運転で圧縮機ON2分20秒間に短絡を連続5秒間検知

4. 予想原因

・室内熱交センサコネクタ不良
・室内熱交センサ不良
・室内ユニット基板故障

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
室内熱交温度センサコネクタの接続はOKか? NO	修正→コネクタ接続
室内熱交温度センサの特性はOKか? NO	室内熱交温度センサ不良→交換
YES	室内ユニット基板不良→交換 (室内熱交温度センサ入力回路不良)



注記：

表示 リモコン:E7	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	1回点滅
	室外	連続点滅	消灯

内容

室内吸込温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内吸込温度センサ(Thi-A)の異常低温および異常高温（抵抗）を検知

3. 異常発生条件

・温度センサが断線を連続5秒間検知

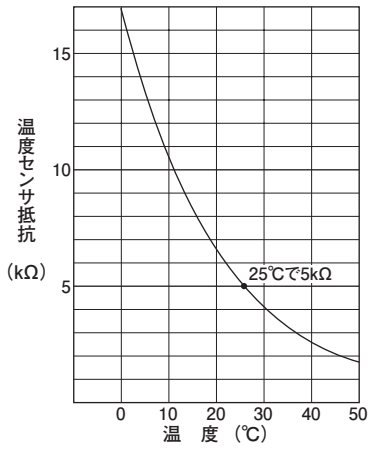
4. 予想原因

・吸込温度センサコネクタ不良
・吸込温度センサ不良
・室内ユニット基板故障

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
吸込温度センサコネクタの接続はOKか? → NO	修正→コネクタ接続
YES → 吸込温度センサの特性はOKか? → NO	吸込温度センサ不良→交換
YES	室内ユニット基板不良→交換（吸込温度センサ入力回路不良）

温度ー抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E9	LED	緑	赤	内容
	室内	連続点滅	1回点滅	ドレン不良
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

フロートスイッチ作動

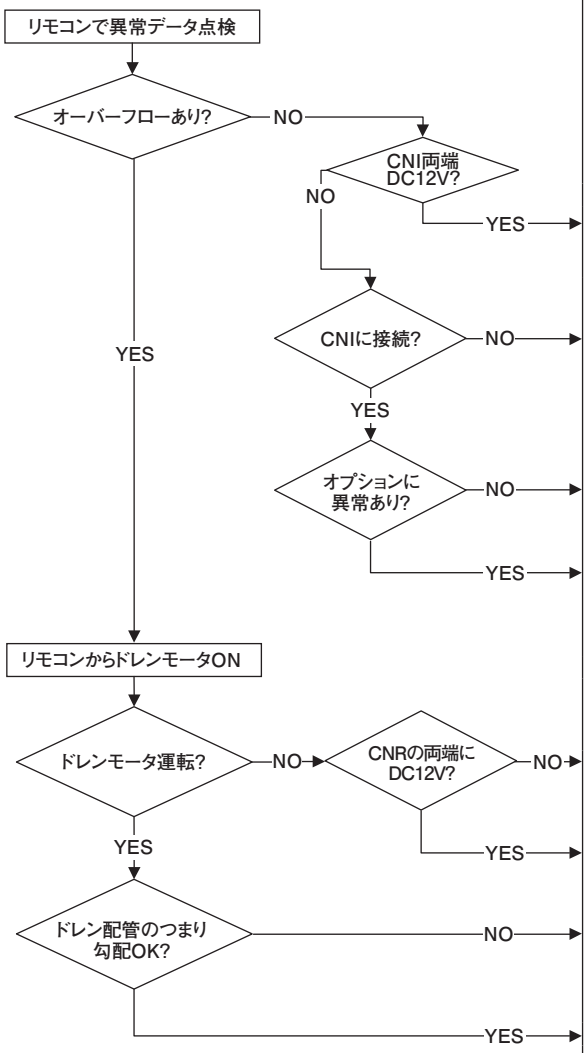
3. 異常発生条件

フロートスイッチ開を3秒間連続検知したとき，またはフロートスイッチの未接続時・断線時。

4. 予想原因

・室内ユニット基板不良
・フロートスイッチ設定ミス
・オプション設定ミス
・ドレン配管ミス
・ドレンモータ不良
・モータ配線ドレンモータ不良

5. 故障診断と処置



注記：電源投入時に発生した場合は，フロートスイッチの断線・接点不良が考えられます。点検修正（交換）してください。

表示 リモコン:E10	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	消灯

内容 **1リモコン複数台制御時 接続台数オーバー（17台以上）**

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

1リモコンで室内ユニット17台以上を検知したとき

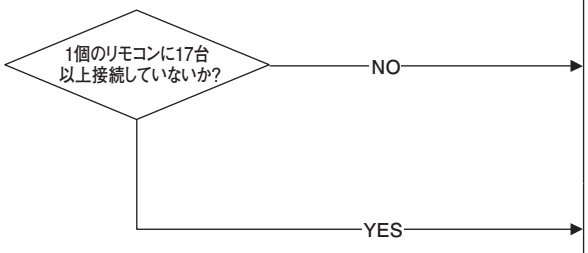
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・接続台数オーバー
・リモコン不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	リモコン不良→交換 16台以下に変更

注記：

表示
リモコン:E11
7セグメント:−

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容
室内ユニットアドレス設定不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

複数室内ユニットを1リモコンで結線し, リモコンでアドレス設定した場合

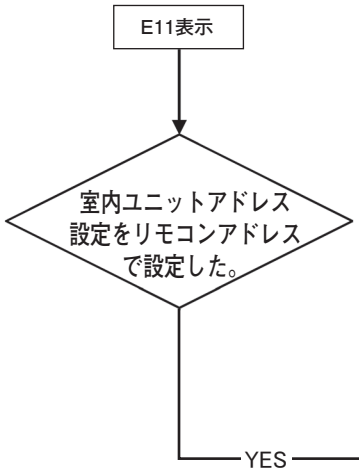
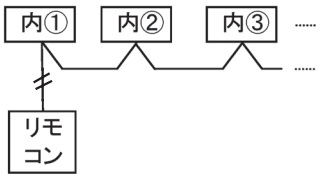
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

アドレス設定方法のまちがい
1リモコンで複数の室内ユニットを制御する場合、リモコンアドレス設定はできない。手動または自動アドレス設定のみ（冷媒系統を信号線がまたがない場合のみ）

5. 故障診断と処置

診 断	処 置
	リモコン交換
下図リモコンの結線で、リモコンアドレス設定するとE11 発生。 	室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1, 2およびディップスイッチSW5-2でアドレス設定を行う。

注記:

表示
リモコン:E12
7セグメント:−

LED	緑	赤
室内	連続点滅	連続点滅
室外	連続点滅	消灯

内容
室内ユニットでのアドレス設定不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内ユニットでのアドレス設定時に自動と手動が混在。

3. 異常発生条件

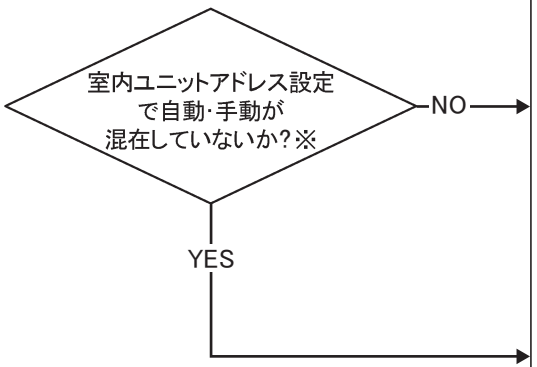
同上

4. 予想原因

室内ユニットでのアドレス設定ミス

5. 故障診断と処置

診 断	処 置



※アドレス設定方法一覧（ ）内は旧SL用の数値

	新SL対応機			新SL未対応機		
	室内ユニットアドレス設定		室外ユニットアドレス設定	室内ユニットアドレス設定		室外ユニットアドレス設定
	室内No.スイッチ	室外No.スイッチ	室外No.スイッチ	室内No.スイッチ	室外No.スイッチ	室外No.スイッチ
手動アドレス（旧SL/新SL）	000~127「47」(1)	00~31「47」	00~31「47」	00~47	00~47	00~47
1冷媒系統自動アドレス（旧SL/新SL）	000	49	49	49	49	49
複数冷媒系統自動アドレス（新SLのみ）	000	49	00~31	不可	不可	不可

注記:

表示 リモコン:E16	LED	緑	赤	内容 **室内ファンモータ異常**
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内ファンモータ回転数

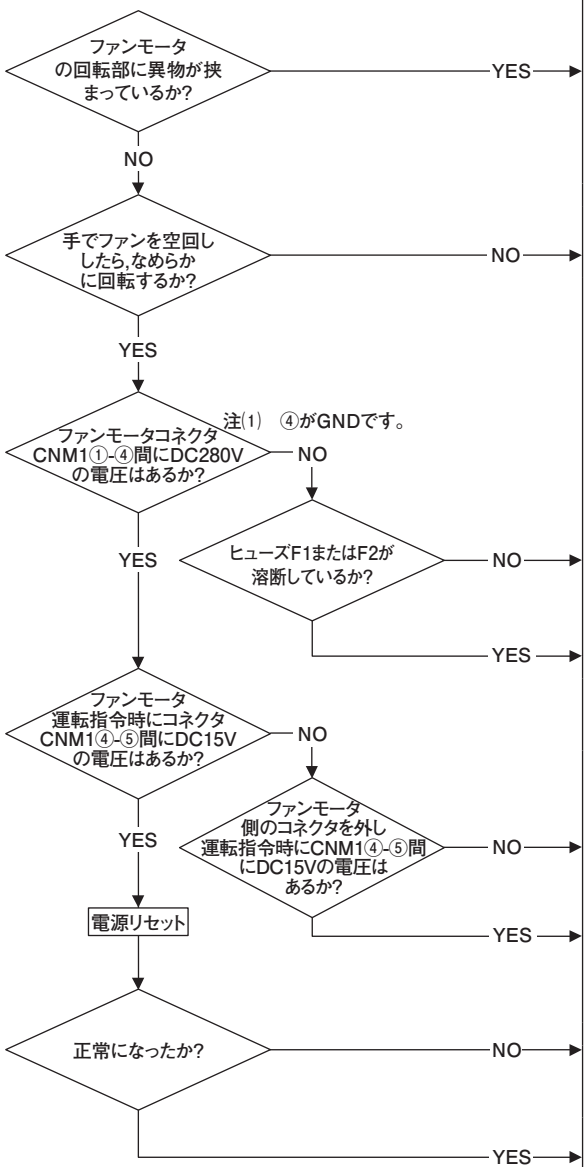
3. 異常発生条件

室内ファンモータの実回転が 30 秒連続して 200min^{-1} 以下になると圧縮機，室内ファンモータを停止します。2 秒遅延後自動復帰しますが 60 分以内に 4 回作動した場合は，異常停止します。

4. 予想原因

・室内ユニット基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5. 故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E18	LED	緑	赤	内容 親子室内アドレス設定不良
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

冷暖フリーマルチシリーズのみ
（分流コントローラを共有し，室内ユニット同士を同一モードで運転する場合

2. 異常検出方法

(1) 設定した親室内ユニットアドレスが、同一のSL信号線のネットワーク上に存在しない場合。
(2) 子室内ユニットアドレスとして設定したアドレスを親室内ユニットアドレスとして重複して設定した場合。

3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

- 親室内ユニットアドレスの設定ミス
- 親室内ユニットの電源が入っていない。
- 親子室内ユニット間にSL信号線がつながっていない。
- 子室内ユニットまたは親室内ユニットまたは両方の基板が故障。

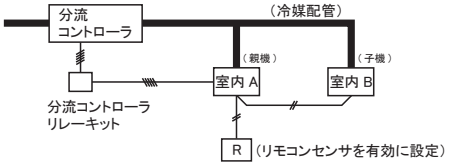
5. 故障診断と処置

診　断	処　置
設定した親室内ユニットアドレスはSL信号線のネットワーク上に存在しますか? NO	正しい親室内ユニットアドレスに設定し直してください。
設定した親室内ユニットアドレスは子室内ユニットに設定されていませんか? YES	正しい子室内ユニットアドレスに設定し直してください。
親室内ユニットに電源は入っていますか? NO	親室内ユニットに電源を入れてください。
親子室内ユニット間はSL信号線でつながっていますか? NO	SL信号線をつないでください。
YES	室内ユニット基板の故障 →基板交換 （先ず最初に子室内ユニットの基板を交換してください。 復旧しなければ、親室内ユニットの基板を交換してください。）

●分流コントローラ下流の室内ユニット接続例

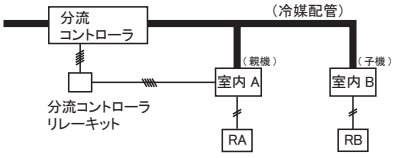
①リモコン1台による複数室内ユニット制御

（1台のリモコンにより全ての室内ユニットの運転 / 停止・冷房 / 暖房モードおよび設定温度等を同一に制御）



②室内ユニット親機および子機それぞれにリモコンを接続

（冷房 / 暖房モードは親機室内ユニットで設定し，冷房 / 暖房モード以外は個別に設定可能）



注記：

表示 リモコン:E19	LED	緑	赤	内容 運転チェックモード異常
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

E19 発生

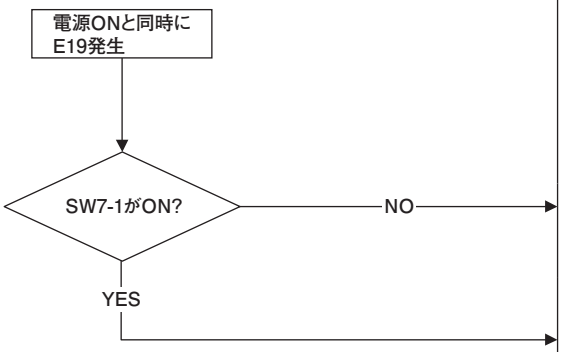
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・ディップスイッチ SW7-1 設定ミス(ディップスイッチ SW7-1の戻し忘れ)
・室内ユニット基板不良(ディップスイッチ SW7-1 不良)

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	室内ユニット基板不良 →交換(スイッチ不良) SW7-1をOFFし電源をリセット

注記：

表示 リモコン:E20	LED	緑	赤	内容 室内ファンモータ回転数異常
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内ファンモータ回転数

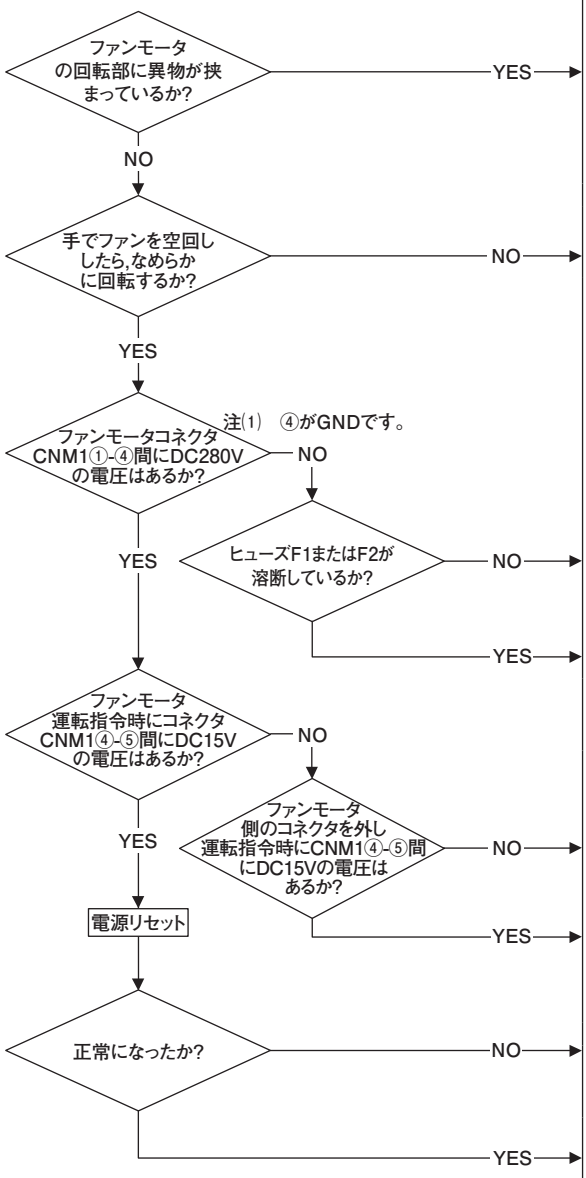
3. 異常発生条件

ファンモータ回転数指令が出力された後，2分経過しても実回転数〔要求回転数 −50 min^{-1}〕に達しないときはファンモータ異常を検出し停止します。

4. 予想原因

・室内ユニット基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5. 故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E28	LED	緑	赤	内容 リモコン温度センサ断線
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

リモコン温度センサ (Thc) の異常低温 (抵抗) を検知

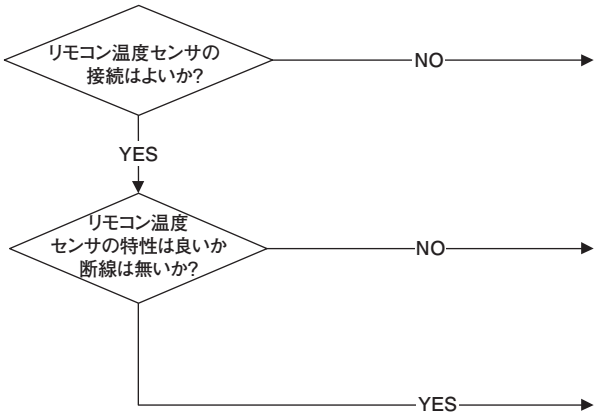
3. 異常発生条件

温度センサが -50℃以下を連続 5 秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3 分遅延後に圧縮機を再起動させ，1 回目の検知から 60 分以内に再検知した場合。

4. 予想原因

・リモコン温度センサ接続不良
・リモコン温度センサ不良
・リモコン基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	修正 リモコン温度センサ不良→交換 リモコン基板不良→交換 (リモコン温度センサ入力回路不良)

リモコン温度センサ抵抗温度特性（Thc）

温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)
0	65	14	33	30	16	46	8.5
1	62	16	30	32	15	48	7.8
2	59	18	27	34	14	50	7.3
4	53	20	25	36	13	52	6.7
6	48	22	23	38	12	54	6.3
8	44	24	21	40	11	56	5.8
10	40	26	19	42	9.9	58	5.4
12	36	28	18	44	9.2	60	5.0

注記：リモコンセンサ無効→有効切り替えの 10 秒間以降は，断線しても E28 は表示しません。同時に使用するセンサをリモコン→室内吸込温度センサに変更します。リモコンセンサを有効にしても点検表示の吸込温度表示は室内吸込温度センサの値となります。

表示 リモコン:E63 7セグメント:E63	LED	緑	赤	内容
	室内	連続点滅	消灯	緊急停止
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内ユニット基板CnT端子への接点入力

3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

緊急停止要因の発生

5. 故障診断と処置

診 断	処 置
停止 30 分前データをメンテ PC に保存する。	運転状態の確認，記録 運転中か電源投入時かを確認する。
リモコンに緊急停止「有効」となっているか？ NO	リモコン基板交換
YES	
室内基板 CnT に接点信号が入っているか? NO	室内ユニット基板交換
YES	
	緊急停止発生原因を調査する （設備業者と打合せする時，停止30分前のデータがあるほうがよい。）

注記：緊急停止を検知した室内ユニットが指令し，全停止となる。

10.3 室内ユニット基板交換要領

お願い **ワイヤードリモコン使用機種は制御基板交換後，電源を投入した後に「リモコンによる機能設定」を参照し室内ユニットの機能や用途に合せて設定を行ってください。**

安全上のご注意

- 交換工事は，この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は，安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。
  表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った作業を行った時に，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った作業を行った時に，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 基板交換完了後，試運転を行い異常がないことを確認してください。

⚠ 警 告

- 交換作業は，販売店または専門業者に依頼する。
  ご自分で作業をされ不備があると，感電や火災の原因になります。
- 作業は，この交換要領書に従って確実に行う。
  作業に不備があると，感電や火災の原因になります。
- 元電源を切った後，交換工事をする。（電源を切って1分以上経過後に実施してください。）
  通電状態での基板交換は，感電・故障・動作不良の原因になります。ファンモータ他の接続機器破壊の原因になります。
- 配線は確実に接続し，端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
  接続や固定が不完全な場合は，発熱・火災の原因になります。
- 基板交換の作業終了後，電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認する。
  交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。

⚠ 注 意

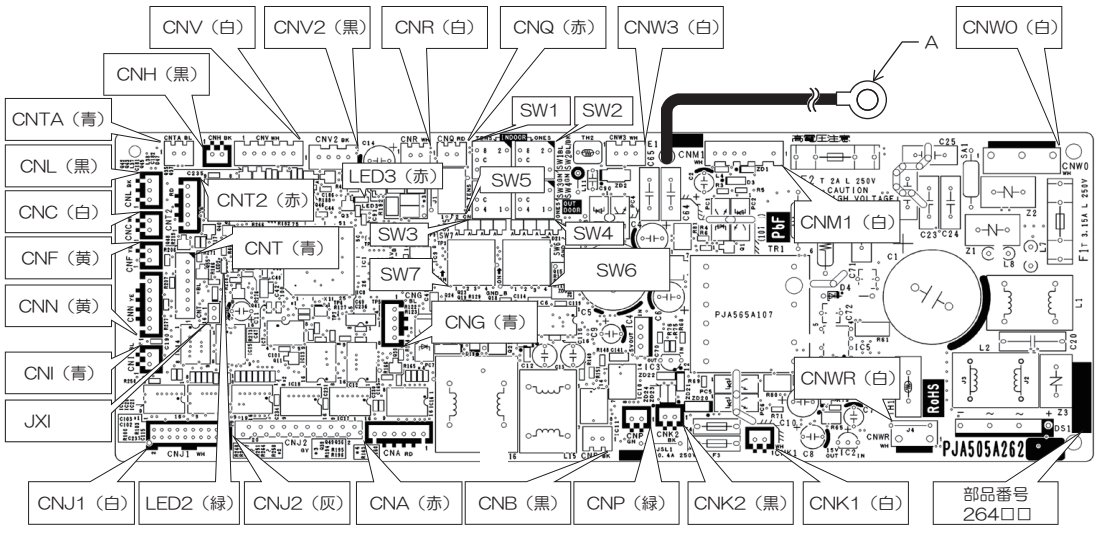
- 基板にコネクタを接続する際は，基板が変形しないように接続する。破損・故障の原因になります。
- コネクタは，確実に挿入しストッパを掛ける。火災・動作不良の原因になります。
- 配線は，かみ込んだり，つっぱらないように結束する。断線・変形して不具合・感電の原因になることがあります。

本品は、共通基板です。本要領書にて設定を行って基板交換してください。

1. 基板を交換してください。

① 基板に接続されているE1配線(黄／緑)のねじ止め部のねじ(矢視Ａ)を外してください。
② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後、基板を交換してください。
③ 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。
④ スイッチ設定は、交換する基板と同一設定としてください。
⑤ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。
⑥ ①項で外した配線を元の場所にねじ止めしてください(矢視Ａ)。

2. 基板
基板の種類により部品実装が異なります。



PSC012D050B⚠

■制御切替スイッチ（交換する基板と設定を同一にしてください。）

1．アドレス設定・仕様切換スイッチ設定をしてください。
交換する基板と同一設定としてください。

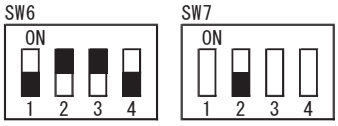
項目	スイッチ	制御内容内容	
アドレス	SW1,2（青）	室内アドレス　00～99	
	SW5-2	OFF	室内アドレス　100未満
		ON	室内アドレス　100以上
	SW3,4（緑）	室外アドレス	

項目	スイッチ	制御内容内容	
新旧	SW5-1	OFF	新旧SL通信自動判定
		ON	旧SL通信に固定
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック/ドレンポンプ試運転

2．容量切換スイッチ(SW6,7)により容量を設定してください。
交換する基板と同一になります。

機種	SW6				SW7
設定	-1	-2	-3	-4	-2
P22	―	―	―	―	―
P28	○	―	―	―	―
P36	―	○	―	―	―
P45	―	―	○	―	―
P56	―	○	○	―	―

○：ON　　―：OFF



（P56の場合）

11 別売品

ワイヤレスリモコン（RCN-D5）・ワイヤレス受信部（LA-TC-5W）　PJF012D505

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠ **警告**　誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠ **注意**　誤った取扱をしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。

❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
感電、故障や動作不良の原因になります。

⃠ **●改造は絶対にしない。**
感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。

⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●基板のケースを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く あるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部
LA-TC-5W

① 受信部		1	⑤ ブラケット取付用ねじ		1
② 基板		1	⑥ 配線（通信用）		1
③ 基板取付用サポート		2	⑦ 配線（受信用）		1
④ ブラケット（板金）		1	⑧ 据付説明書		1

ワイヤレスリモコン（別売品）
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

基板の設定

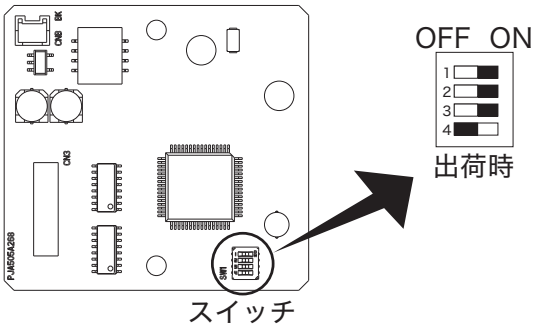
付属品の基板上のスイッチの設定は
右記の通りです。
なお、出荷時の設定は [ ] で囲まれた
設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON：通常] OFF：切換
SW1-2	受信部の親子切換	[ON：親] OFF：子
SW1-3	ブザー音	[ON：有効] OFF：無効
SW1-4	停電補償	ON：有効 [OFF：無効]

② 取付前の準備の続き

現地設定の変更方法

1. 付属品の基板上のスイッチを変更してください。



複数リモコン使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個まで
ワイヤレスリモコン（受信部）・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は、いずれか一方を、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

2. SW1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更 してください。
   設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

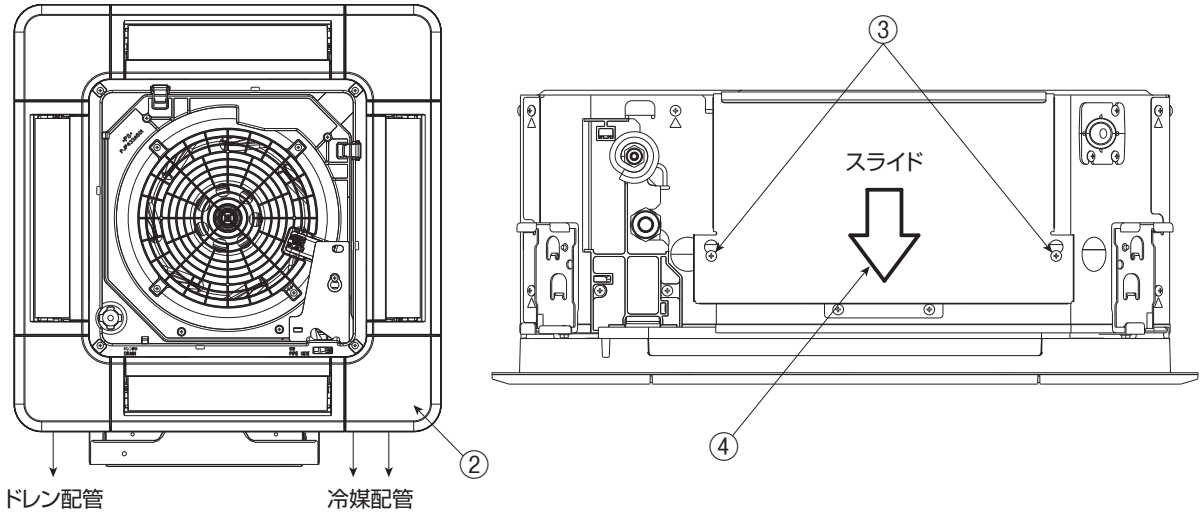
※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

③ 受信部の取付

本ワイヤレスキットの受信部は、対応パネルのコーナリッドと交換することにより取付可能です。

取付前の準備

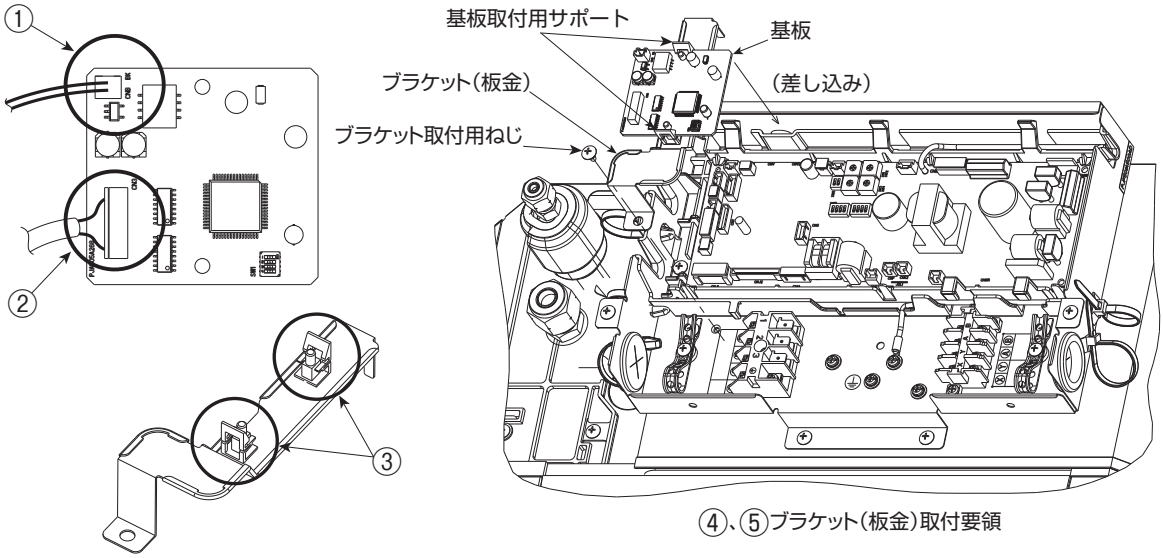
① パネル据付説明書に従って、吸込グリルを取外してください。
② 冷媒配管側のコーナリッドを取外してください。
③ ユニット本体の制御箱の蓋のねじ（2 本）を緩めてください。
④ 制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて、取外してください。



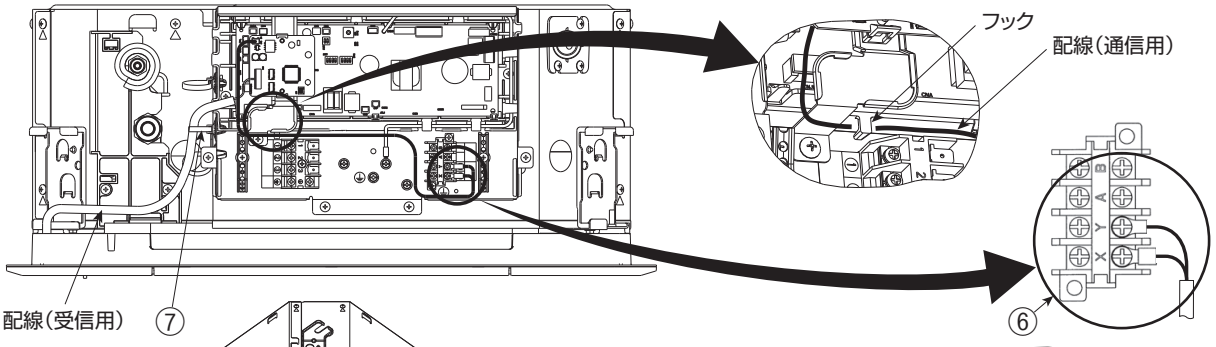
③ 受信部の取付の続き

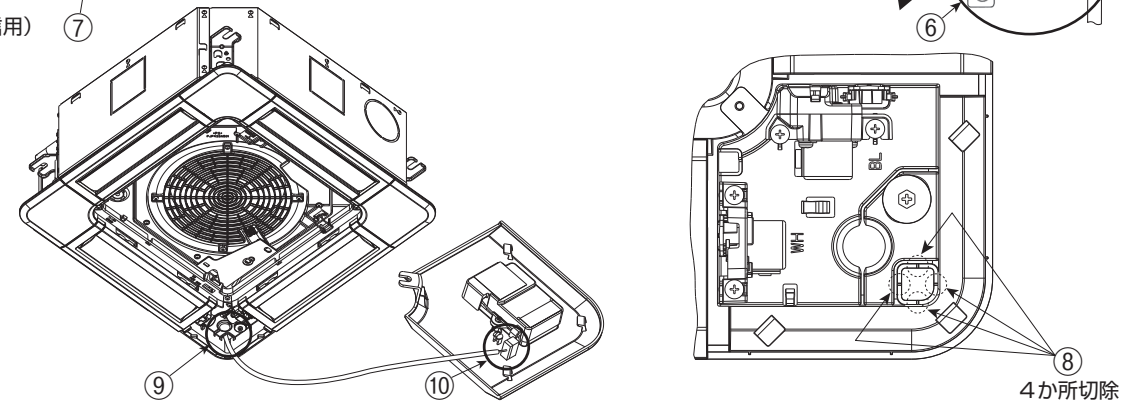
受信部の取付

① 配線（通信用）のコネクタを基板の CNB に接続してください。
② 配線（受信用）のコネクタを基板の CN3 に接続してください。
③ ブラケット（板金）に基板取付用サポートを取付けてください。
④ 基板取付用サポートに基板を取付けてください。
⑤ 図のようにブラケット（板金）を制御箱片側に差込み、もう片側をねじで締付けてください。
⑥ 配線（通信用）の丸端子を制御箱内の端子台（X、Y）に接続してください。配線に極性はありません。
⑦ 図のように配線をバンドで固定してください。
⑧ 図に示すパネルのハーフブランク（4か所）を切除してください。
⑨ 配線（受信用）をパネル開口部に通してください。
⑩ 配線（受信用）と受信部のコネクタを接続してください。
⑪ 受信部をパネル据付説明書に従って、パネルに取付けてください。
⑫ 配線を噛込まないように制御箱の蓋を取付け、ねじ（2 本）で締付けてください。



④、⑤ブラケット(板金)取付要領



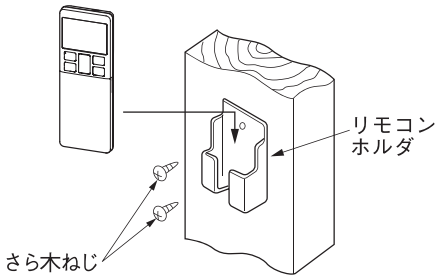


④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

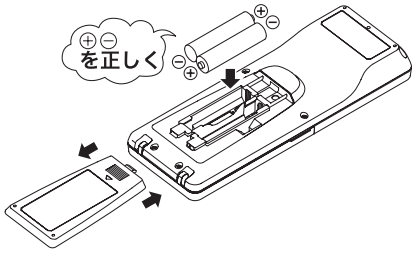
リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

※ホルダ取付時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取付けないでください。



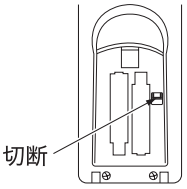
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換線をニッパー等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



リモコンの設定変更

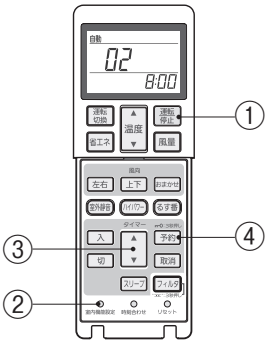
自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。



室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
   ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
   ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
   ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
   ④ 予約ボタンを押す。
   リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
   LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンの続き

2. 設定内容
機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定：標準
	01	風速設定：設定 1
	02	風速設定：設定 2
運転切換	00	暖房室温補正：無効
	01	暖房室温補正：＋ 1℃
	02	暖房室温補正：＋ 2℃
	03	暖房室温補正：＋ 3℃
フィルタ	00	フィルターサイン表示：なし
	01	フィルターサイン表示：180 時間
	02	フィルターサイン表示：600 時間
	03	フィルターサイン表示：1000 時間
	04	フィルターサイン表示：1000 時間後運転停止
上下	00	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：無効
	01	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：有効
室外静音	00	赤外線センサー設定（人感センサー設定）：無効
	01	赤外線センサー設定（人感センサー設定）：有効
ハイパワー	00	赤外線センサー制御（人感センサー制御）：無効
	01	赤外線センサー制御（人感センサー制御）：パワーコントロールのみ
	02	赤外線センサー制御（人感センサー制御）：オートオフのみ
	03	赤外線センサー制御（人感センサー制御）：パワーコントロール＋オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転：無効
	01	冷房ファン残留運転：0.5 時間
	02	冷房ファン残留運転：2 時間
	03	冷房ファン残留運転：6 時間
切	00	暖房ファン残留運転：無効
	01	暖房ファン残留運転：0.5 時間
	02	暖房ファン残留運転：2 時間
	03	暖房ファン残留運転：6 時間
るす番	00	リモコン信号受信部 LED：輝度明
	01	リモコン信号受信部 LED：輝度暗
	02	リモコン信号受信部 LED：消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長：0.1 m
	0.2	グリル自動昇降降下長：0.2 m
	・	・
	・	・
	2.0	グリル自動昇降降下長：2.0 m
	・	・
	・	・
	3.9	グリル自動昇降降下長：3.9 m
	4.0	グリル自動昇降降下長：4.0 m
運転 / 停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

⑤ 受信部

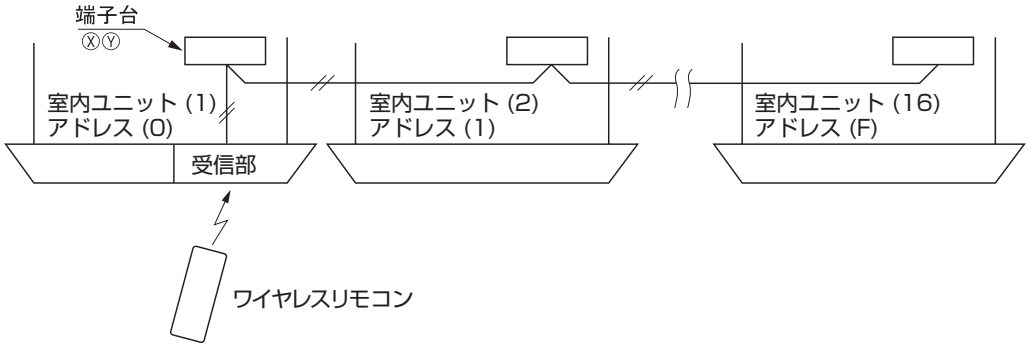
1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

1. 1 つのリモコンで複数台のユニット（最大 16 台）を
   グループ制御できます。
   同一モード、同一室温設定で運転します。
2. グループ制御用に各室内ユニット間を
   2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大 600m）	
標準	0.3 mm^2 × 100m 以内
	0.5 mm^2 × 200m 以内
	0.75mm^2 × 300m 以内
	1.25mm^2 × 400m 以内
	2.0 mm^2 × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に
設定してください。

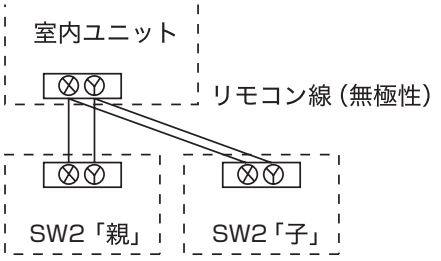


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット 1 台（または 1 グループ）に対して最大 2 個までのリモコンを接続できます。



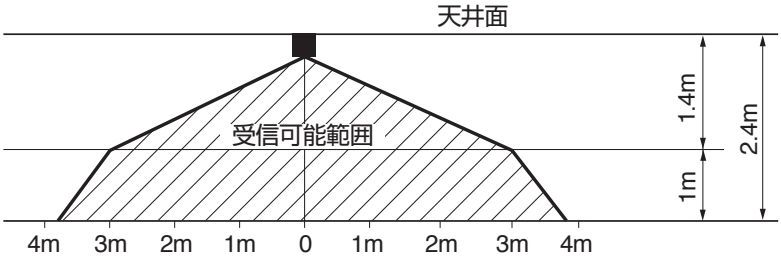
スイッチ	設定	機能内容
SW2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

ワイヤレスリモコンの操作距離

1. 標準的な受信距離

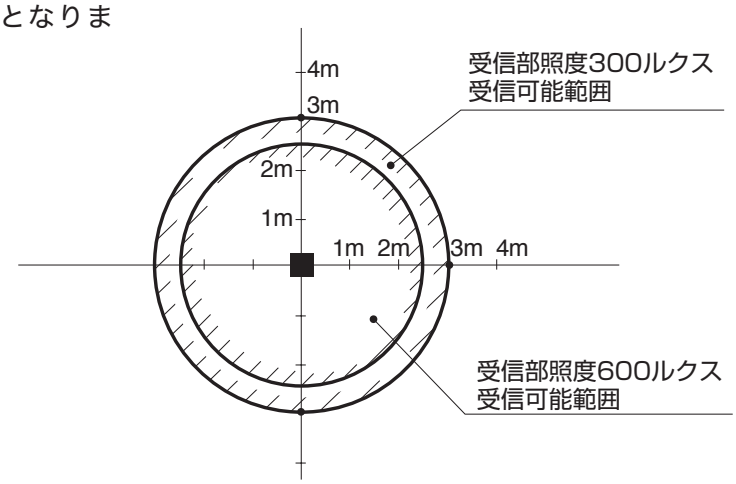
［条件］受信部照明度 300 ルクス

（一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）



⑤ 受信部の続き

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
［条件］天井高さ 2.4m、床面より 1m の高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係を右図に示します。 照度が 2 倍になると受信距離は 2 ／ 3 となります。

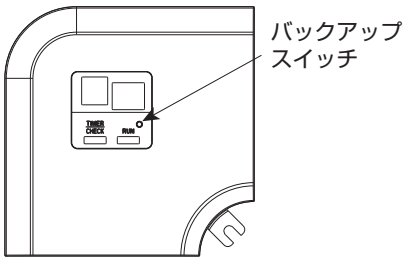


3. 複数台近接設置の注意
［条件］受信部照明度 300 ルクス
（一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）
［複数台近接設置］リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5m です。

バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。
操作は手で直接操作してください。

1. 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
2. 運転中にバックアップスイッチを押すことにより「停止」します。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

2 桁表示の見方

受信部は 2 桁表示（7 セグメント）を装備しています。

1. 表示は電源投入後 1 時間表示します。
2. リモコンから「停止」送信または、バックアップスイッチ「停止」操作後 3.5 秒間表示します。
3. 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
4. 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。

三菱重工サーマルシステムズ株式会社　〒108-8215　東京都港区港南2-16-5
三菱重工冷熱株式会社　〒108-0023　東京都港区芝浦2-11-5

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。